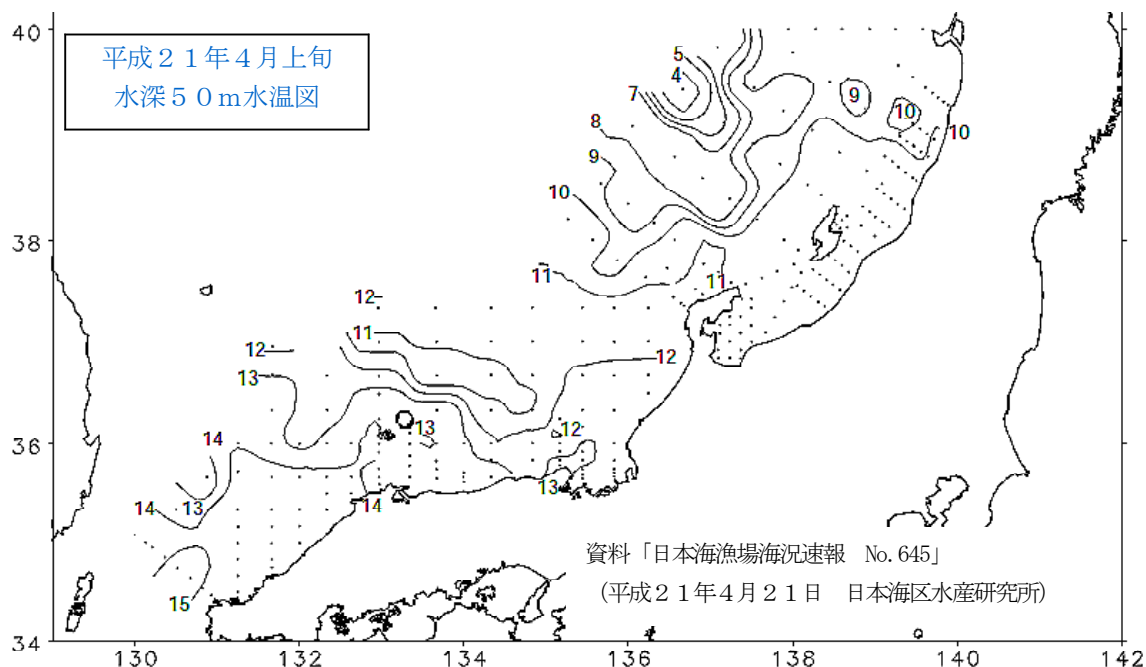


石川県水産総合センター漁海況情報 第154号

電話：0768-62-1324 http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.htm

1 水温の状況 - 4月定線観測結果 -

- (1) 本県周辺の水深50m水温は10～12℃台を示し、加賀沖では“かなり高め”（1～2℃高め）、能登半島外浦沖では“やや高め”から“かなり高め”（0～1℃高め）、富山湾では“やや高め”（0～1℃高め）の水温分布を示しています。
- (2) 表面水温は11～13℃台を示し、加賀沖では“かなり高め”（1～2℃高め）、能登半島外浦沖では“やや高め”から“かなり高め”（0～1℃高め）、富山湾では“平年並み”の水温分布を示しています。
- (3) 加賀沖では、先月に引き続き暖水域が岸寄りに分布しています。
- (4) 佐渡島沖の冷水域から禄剛埼までの距離は平年並みとなっています。



「平成21年度第1回日本海海況予報（平成21年4月9日）」の概要

日本海沿岸の道府県水産研究機関と水産総合研究センター日本海区水産研究所が検討しとりまとめた日本海海況予報が以下のとおり発表されました。

今後の見通し（2009年4月～6月）

- (1) 隠岐諸島北方、上越沖の暖水域は、ほぼ停滞する。能登半島西方、佐渡島北西及び佐渡島北方の暖水域は、北東に移動する。
- (2) 島根沖の冷水域の張り出しは、弱い。山陰・若狭沖及び佐渡島沖の冷水域の張り出しは、平年並み。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、“やや高め”で経過する。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部及び北部とも“やや高め”で経過する。



## 2 漁獲の動向 — 3月の漁獲量から —

### 【定置網】

主要10港合計は**2,561トン**で、**平年（過去10カ年平均）をやや上回る漁獲量**でした。最も多く漁獲されたのはカタクチイワシの2,176トンで、平年をかなり上回りました。宇出津港・七尾地区で好漁となり、3月としては過去10年間で最も多い漁獲量となりました。スルメイカは122トン、マイワシは65トン、マサバは43トンで、いずれも平年をやや下回りました。

### 【底びき網】

主要10港合計は**609トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。最も多く漁獲されたのはハタハタの166トンで、平年をやや下回りました。蛸島港では前年をかなり上回りましたが、橋立港・金沢港・富来港では、先月に続き前年をかなり下回りました。アカガレイは135トン、ニギスは77トン、ホタルイカは29トンで、いずれも平年並みでした。アマエビは20トンで平年をやや下回りました。

### 【まき網】

主要10港合計は**607トン**で、水揚げ隻数が少なかったこともあり、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。最も多く漁獲されたのはマアジの507トンで、平年をやや下回りました。マサバは74トンで平年をかなり下回りました。

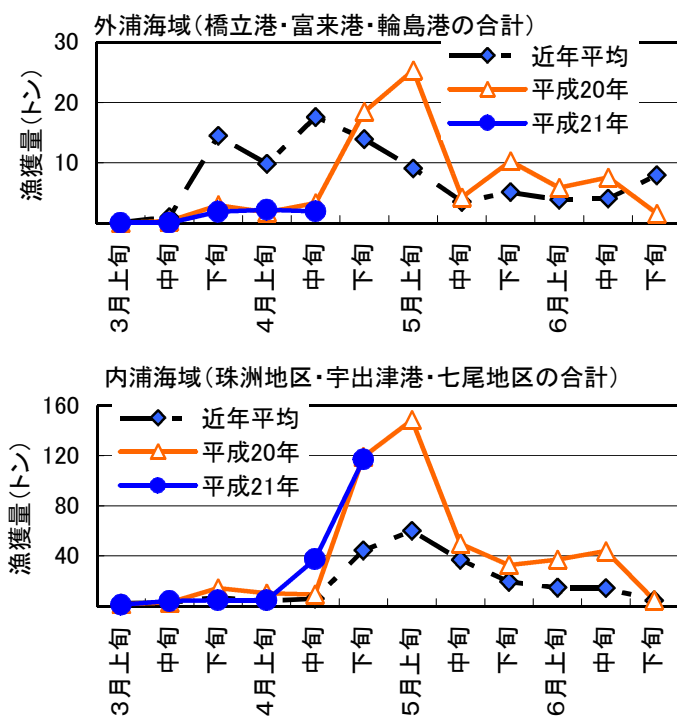
### 【刺網】

主要10港合計は**160トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。最も多く漁獲されたのはフクラギの54トンで、平年をかなり下回りました。ウスメバル（やなぎばちめ）は9トンで平年をかなり下回りました。マガレイ（くちぼそがれい）は7トンで平年をやや上回りました。

### 【釣り】

釣りの主要10港合計は**15トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。最も多く漁獲されたのはウスメバル（やなぎばちめ）の4トンで、平年をやや下回りました。フクラギは1トンで平年をやや上回りました。

### ■ サワラ・サゴシの水揚げ状況（春漁期） ■



#### ○外浦海域

石川県外浦海域では、サワラの盛漁期を迎えています。主要港における3月から4月中旬までの漁獲量は5.9トン（速報値）で、近年平均（過去5カ年平均）の14%と低調に推移しています。

昨年（平成20年）は4月下旬以降にまとまった水揚げがみられましたが、本年も昨年につきサワラの来遊時期が遅れています。

#### ○内浦海域

内浦海域の主要港における3月から4月中旬までの漁獲量は51トンで、近年平均の240%と好調に推移しています。4月下旬以降も1.5～2.0kgサイズ主体に、好漁であった昨年をさらに上回る水準の水揚げが続いています。

過去の漁獲量の推移を見ると、内浦海域では日本海北部の春期水温が高い年に好漁となる傾向があります。日本海北部の50m深水温は4月以降やや高めで経過すると予測（日本海海況予報）されており、今後も近年平均を上回る水揚げが続くと思われます。

スルメイカ釣り漁業の見通し（5～7月）については、4月28日（火）発行の「第1回日本海スルメイカ漁況予報」でお知らせします。

# 漁獲量統計 (橋立港、金沢港、富来港、輪島港、蛸島港、鶴飼港、松波港、宇出津港、七尾地区)

## 定置網漁業

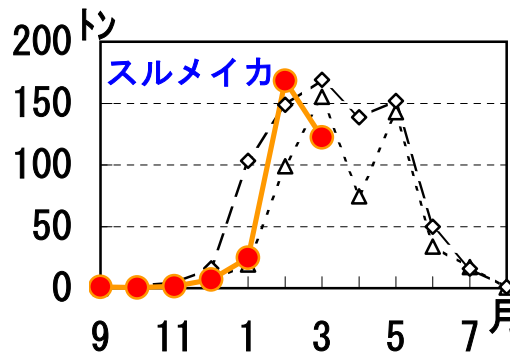
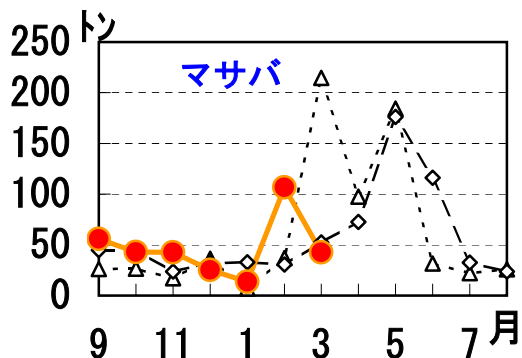
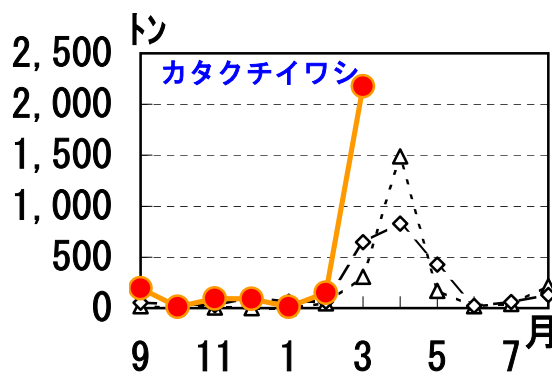
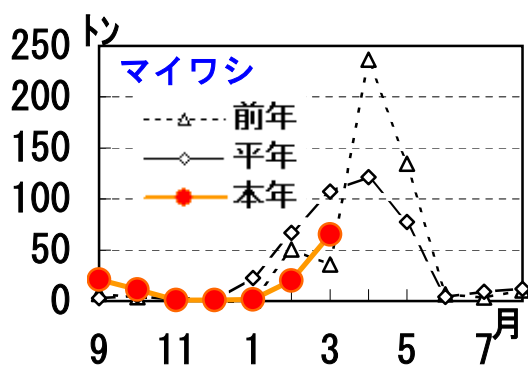
	3月漁獲量 (トン)			累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延統数	1,332	1,297 →	1,408 →	9,621	10,469 →	
カタクチイワシ	2,176	307 △△△	645 △△△	2,732	995 △△	
スルメイカ	122	155 ▼	169 ▼	326	445 ▼	
マイワシ	65	36 △	107 ▼	121	206 ▼	
マサバ	43	215 ▼▼	52 ▼	329	261 △	
マアジ	35	99 ▼▼	92 ▼▼	975	893 →	
ウルメイワシ	20	22 →	71 ▼▼	88	228 ▼▼	
ヤリイカ	14	21 ▼	10 △	52	50 →	
サワ	11	22 ▼	19 ▼	370	230 △	
ウマヅラハギ	9	21 ▼▼	8 →	179	337 ▼	
ブリ	8	16 ▼	29 ▼▼	449	367 △	
ガント	3	9 ▼▼	5 ▼	32	60 ▼	
アンコウ	3	3 ▼	4 ▼	11	13 →	
マダラ	2	2 △	2 △	13	9 △	
マダイ	2	2 →	2 →	64	51 △	
フクラギ	1	0 △△△	14 ▼▼	914	622 △	
その他	47	109 ▼▼	74 ▼	1,768	2,111 →	
合計	2,561	1,036 △△	1,304 △	8,423	6,878 △	
1隻当たり	1.92	0.80 △△	0.93 △△	0.88	0.66 △	

平年値は過去10年平均  
単位：トン

## 他府県漁獲状況 (3月：定置網)

	カタクチイワシ	アジ類	マイワシ	スルメイカ	サワ	サバ類	ウルメイワシ	アカカス
舞鶴	893.3	96.6	29.8	3.6	45.5	24.7	1.0	0.0
氷見	1233.0	4.1	54.7	68.2	2.7	7.2	6.9	5.7

各府県水試調べによる (速報値)

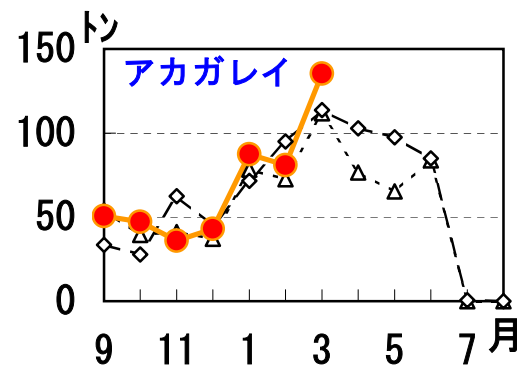
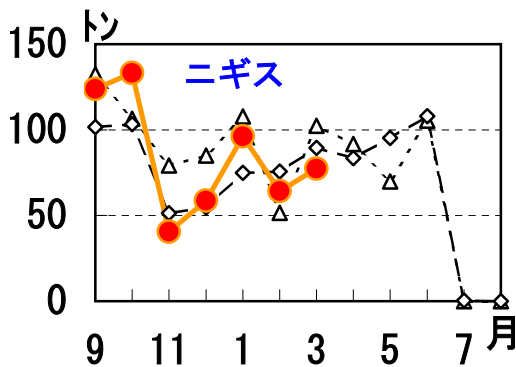
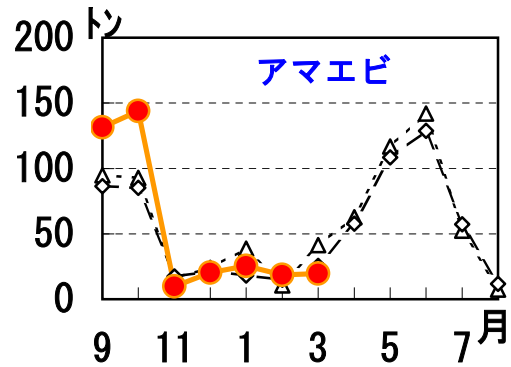
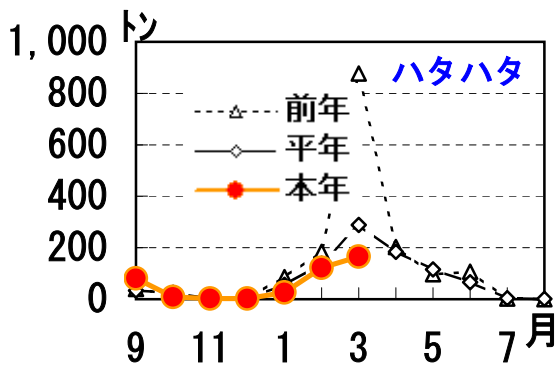


定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

底びき網漁業

	3月漁獲量 (トン)			累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延隻数	1,067	1,642 ▼	1,402 ▼	7,470	8,796 →	
ハタハタ	166	877 ▼▼	289 ▼	407	545 ▼	
アカガレイ	135	112 △	114 →	481	449 →	
ニギス	77	102 ▼	90 →	594	551 →	
ホタルカ	29	33 →	27 →	63	67 →	
アマエビ	20	41 ▼▼	25 ▼	369	268 △	
スワイガニ	19	34 ▼	21 →	288	267 →	
ウマヅラハギ	14	4 △△△	7 △△	24	33 ▼	
アンコウ	12	27 ▼▼	24 ▼▼	95	229 ▼▼	
マダラ	10	26 ▼▼	11 →	102	58 △	
ガスエビ	10	13 ▼	13 ▼	95	95 →	
ソウハチ	10	17 ▼	16 ▼	34	59 ▼	
マアジ	8	13 ▼	19 ▼▼	15	34 ▼▼	
ヒレグロ	8	13 ▼	12 ▼	41	53 ▼	
ミスガニ	6	17 ▼▼	10 ▼	22	38 ▼	
ムシガレイ	4	7 ▼	6 ▼	67	61 →	
マコガレイ	3	2 △	3 →	11	13 →	
ヤナギムシガレイ	3	6 ▼▼	5 ▼	45	68 ▼	
ホッケ	2	14 ▼▼	14 ▼▼	31	81 ▼▼	
キタイ	2	2 ▼	2 ▼	16	28 ▼	
その他	72	100 ▼	104 ▼	770	883 →	
合計	609	1,459 ▼▼	811 ▼	3,567	3,880 →	
1隻当たり	0.57	0.89 ▼	0.58 →	0.48	0.44 →	

平年値は過去10年平均



まき網漁業

	3月漁獲量 (トン)				累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)		
延隻数	21	99 ▼▼	54 ▼▼	98	147	▼	
マヅ	507	734 ▼	739 ▼	1,393	1,492	→	
マサバ	74	283 ▼▼	428 ▼▼	406	1,559	▼▼	
マイワシ	11	1 △△△	124 ▼▼	11	185	▼▼	
マダイ	7	4 △	7 →	7	7	→	
カクチイワシ	1	37 ▼▼	32 ▼▼	14	35	▼▼	
その他	15	129 ▼▼	227 ▼▼	66	452	▼▼	
合計	607	1,147 ▼	1,518 ▼▼	1,876	3,688	▼	
1隻当たり	29	12 △△	28 →	19	25	▼	

平年値は過去10年平均

その他の漁業

	3月漁獲量 (トン)				累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)		
<b>刺網漁業</b>							
延隻数	2,019	3,131 ▼	2,629 ▼	4,618	5,839	▼	
フナギ	54	263 ▼▼	112 ▼▼	225	230	→	
ナマコ類	15	7 △△△	2 △△△△	27	7	△△△△	
ウスハル	9	12 ▼	20 ▼▼	9	21	▼▼	
マガレイ	7	8 →	4 △	11	8	△	
ムシガレイ	6	3 △	2 △△	6	3	△△	
マダラ	5	4 △	3 △	66	64	→	
アカガレイ	5	5 →	8 ▼	24	37	▼	
マヅ	5	5 →	4 →	12	7	△	
ミズダコ	3	4 →	5 ▼	9	14	▼	
マダイ	3	6 ▼▼	8 ▼▼	14	27	▼	
その他	49	98 ▼	90 ▼	121	198	▼	
合計	160	414 ▼▼	258 ▼	525	615	→	
1隻当たり	0.08	0.13 ▼	0.10 ▼	0.11	0.11	→	
<b>釣り</b>							
延隻数	595	478 △	537 →	1,670	1,440	→	
ウスハル	4	2 △	5 ▼	7	9	▼	
フナギ	1	1 △	1 △	21	4	△△△△	
マヅ	0.8	0.3 △△△	0.2 △△△△	1	1	△	
ガント	0.7	0.1 △△△	1 ▼	4	1	△△△△	
ブリ	0.6	0.1 △△△	0.4 △	1	0	△△	
その他	7	6 →	6 △	26	31	→	
合計	15	10 △	13 →	61	46	△	
1隻当たり	0.02	0.02 →	0.02 →	0.04	0.03	→	
<b>サヨリ船びき網(蛸島港・鵜飼港・松波港)</b>							
延隻数	108	113 →	136 ▼	108	136	▼	
サヨリ	7	8 →	10 ▼	7	10	▼	
1隻当たり	0.07	0.07 →	0.08 →	0.07	0.08	→	

※表 (比率) の見方

▼▼	~ 50%	△	120~199%
▼	51~ 83%	△△	200~299%
→	84~119%	△△△	300~

# 石川県水産総合センター漁海況情報 第155号

電話：0768-62-1324 <http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.htm>

本県周辺海域の水深50m水温は、加賀沖では“平年並み”から“やや高め”、能登半島外浦沖及び富山湾では“やや高め”から“かなり高め”。

定置網ではサワラが平年をかなり上回り、マアジ・スルメイカが平年並み。

底びき網ではハタハタ・ニギスが平年並み、アマエビが平年をやや下回った。

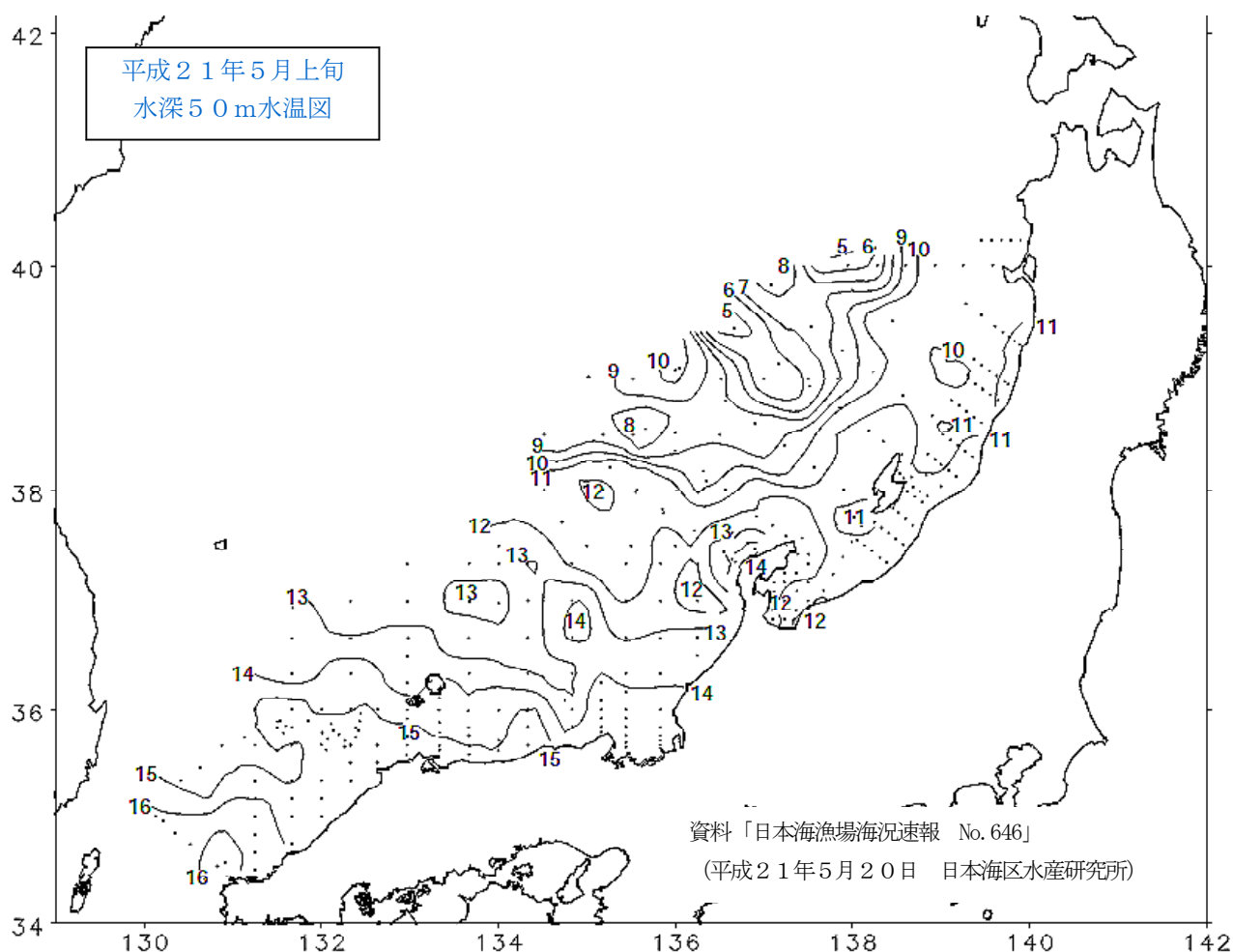
まき網ではマアジが平年をかなり下回り、マダイが平年をかなり上回った。

刺し網ではフクラギが平年をやや下回り、ウスメバル(やなぎばちめ)が平年並み。

釣りではガンドが平年並み、ブリが平年をかなり上回った。

## 1 水温の状況 — 5月定線観測結果 —

- (1) 本県周辺の水深50m水温は11～13℃台を示し、加賀沖では“平年並み”から“やや高め”(0～1℃高め)、能登半島外浦沖及び富山湾では“やや高め”から“かなり高め”(1～2℃高め)の水温分布を示しています。
- (2) 表面水温は13～15℃台を示し、加賀沖では“平年並み”、能登半島外浦沖では“かなり高め”(1～2℃高め)、富山湾では“平年並み”から“やや高め”(0～1℃高め)の水温分布を示しています。
- (3) 能登半島西方沖では、先月に引き続き暖水域が岸寄りに分布しています。
- (4) 佐渡島沖の冷水域は、禄剛埼にやや近づいて分布しています。



## 2 漁獲の動向 — 4月の漁獲量から —

### 【定置網】

主要10港合計は**1,393トン**で、**平年（過去10年平均）並みの漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはカタクチイワシの390トンですが、平年をかなり下回りました。サワラは390トンで平年をかなり上回りました。特に、能登半島外浦沿岸（富来港・輪島港）、富山湾沿岸（蛸島港・宇出津港・七尾地区）では2kgサイズ（平均尾叉長65cm）主体で好漁が続ки、過去10年間で最も多い漁獲量となりました。ママジは152トン、スルメイカは126トンで、いずれも平年並みでした。

### 【底びき網】

主要10港合計は**567トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはハタハタの175トンで、平年並みでした。ただし、輪島港・蛸島港では前年をかなり上回りましたが、橋立港・金沢港・富来港では前年をかなり下回りました。ニギスは85トンで平年並みでした。アカガレイは77トン、アマエビは44トンで、いずれも平年をやや下回りました。

### 【まき網】

主要10港合計は**283トン**で、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはマアジの142トンで、平年をかなり下回りました。マダイは114トンで平年をかなり上回りました。

### 【刺網】

主要10港合計は**194トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはフクラギの51トンで、平年をやや下回りました。ただし、漁獲量の大部分を占める輪島港では前年をかなり下回りました。ウスメバル（やなぎばちめ）は32トンで平年並みでした。ウマヅラハギ（かわはぎ）は7トンで平年をやや下回りました。

### 【釣り】

釣りの主要10港合計は**49トン**で、**平年をやや上回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはガンドの12トンで、平年並みでした。ブリは12トンで平年をかなり上回りました。フクラギは9トンで平年をやや上回りました。

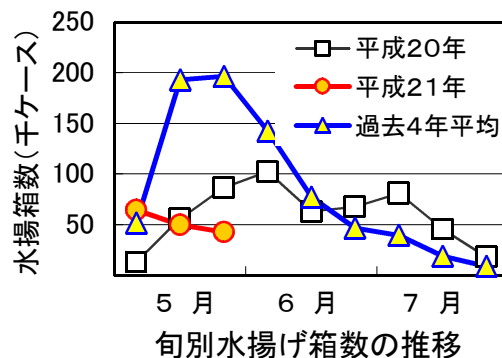
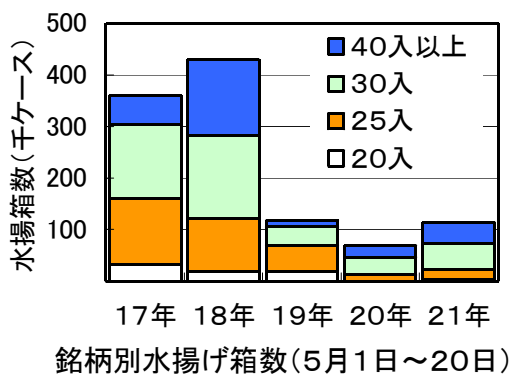
**イカ釣り（小型）**の主要10港合計は13トンで、**平年並みの漁獲量**でした。

### ■ ■ 小型いか釣り漁業の水揚げ状況（5月の速報値） ■ ■

石川県沖はスルメイカ釣りの盛漁期を迎えています。県内における5月1日～20日までの水揚げ箱数は114千箱で、近年（過去4年平均）の47%と低調に推移しています。銘柄別箱数は、20入・25入が近年の25%、30入れ以上が近年の59%で、大型の群れの来遊状況が特に低調となっています。

期間中の延べ操業隻数は1,640隻で近年の78%、1操業当たりの水揚げ箱数は70箱で近年の67%でした。

例年であれば5月中下旬が水揚げのピークとなりますが、今漁期は5月下旬までまとまった水揚げがみられていません。



調査船白山丸が、日本海沖でスルメイカ試験操業を実施しており、この調査結果や今後の見通し等については、スルメイカ情報(6月上旬発行予定)でお知らせします。

# 漁獲量統計 (橋立港、金沢港、富来港、輪島港、蛸島港、鵜飼港、松波港、宇出津港、七尾地区)

## 定置網漁業

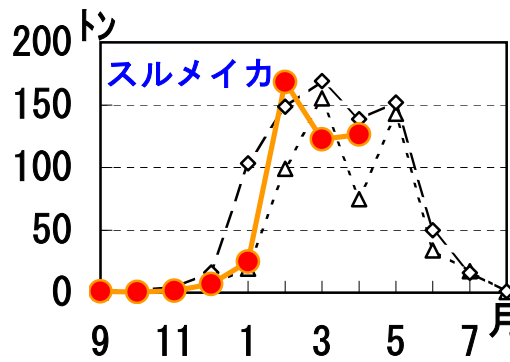
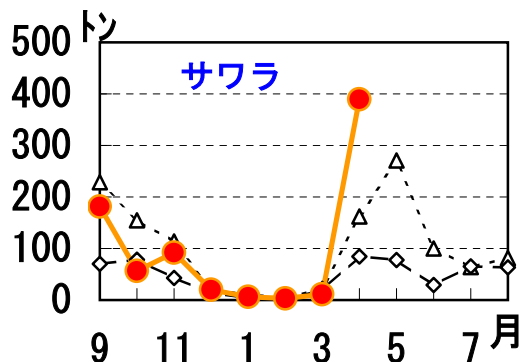
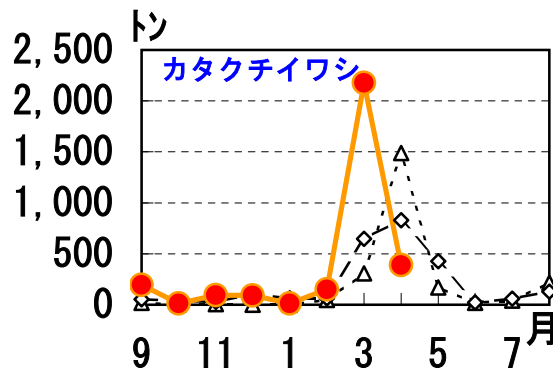
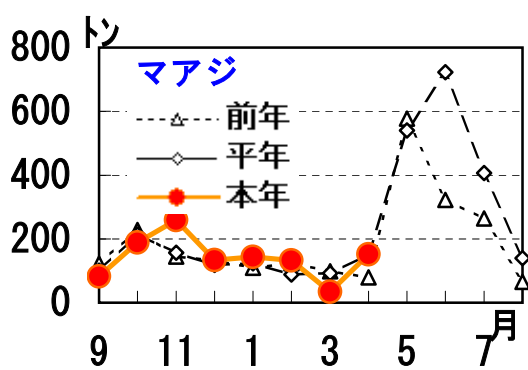
	4月漁獲量 (トン)			累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延続数	1,607	1,653 →	1,702 →	11,228	12,171 →	
カタチイワシ	390	1,488 ▼▼	828 ▼▼	3,122	1,823 △	
サワラ	390	162 △△	85 △△△	760	315 △△	
マアジ	152	80 △	151 →	1,127	1,044 →	
スルメイカ	126	74 △	139 →	452	583 ▼	
マイワシ	67	236 ▼▼	121 ▼	188	328 ▼	
ブリ	58	2 △△△	8 △△△	507	374 △	
マダイ	29	19 △	24 →	93	75 △	
ウルメイワシ	19	42 ▼▼	63 ▼▼	107	291 ▼▼	
ウマヅラハギ	18	7 △△	24 ▼	196	361 ▼	
ガント	11	32 ▼▼	8 △	42	67 ▼	
マジマクロ	5	2 △	1 △△△	99	71 △	
フクラギ	3	1 △△	13 ▼▼	917	635 △	
マサバ	3	98 ▼▼	72 ▼▼	333	333 →	
アンコウ	3	1 △	3 →	14	16 →	
ヤリイカ	2	2 →	3 →	55	53 →	
その他	119	141 →	113 →	1,806	2,163 →	
合計	1,393	2,388 ▼	1,654 →	9,816	8,532 →	
1隻当たり	0.87	1.44 ▼	0.97 →	0.87	0.70 △	

平年値は過去10年平均  
単位：トン

## 他府県漁獲状況 (4月：定置網)

	カタチイワシ	サワラ	フクラギ	アジ類	マイワシ	スルメイカ	ブリ、ガント	アカマス
舞鶴	1212.5	154.6	48.1	35.5	11.7	0.4	7.1	0.1
氷見	80.3	99.7	0.0	3.8	20.0	26.5	13.1	10.9

各府県水試調べによる (速報値)



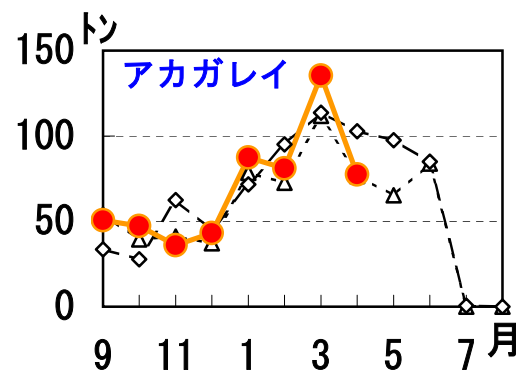
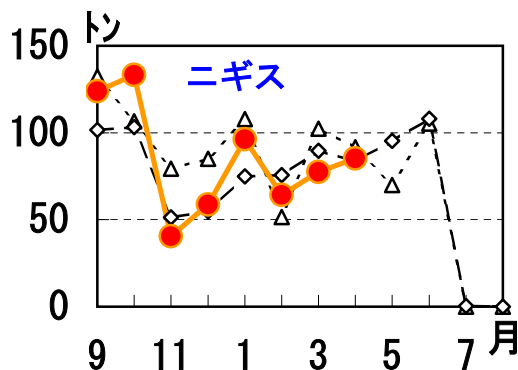
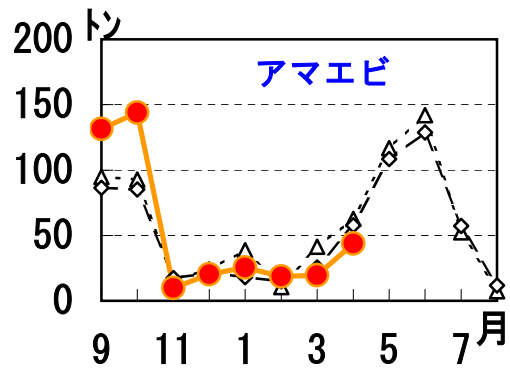
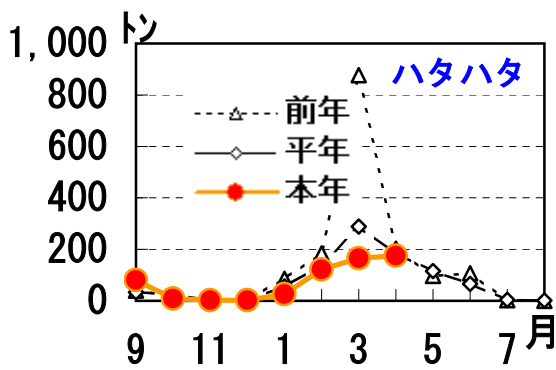
定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化



底びき網漁業

	4月漁獲量 (トン)			累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延隻数	1,147	1,460 ▼	1,554 ▼	8,617	10,350 →	
ハタハタ	175	203 →	185 →	582	730 ▼	
ニギス	85	92 →	83 →	679	635 →	
アカガレイ	77	77 →	103 ▼	558	552 →	
アマエビ	44	63 ▼	58 ▼	413	326 △	
マアジ	18	8 △△	12 △	33	46 ▼	
ウマヅラハギ	17	6 △△△	5 △△△	41	38 →	
ガスビ	11	13 →	18 ▼	106	113 →	
ソウハチ	11	15 ▼	15 ▼	45	75 ▼	
アンコウ	10	20 ▼	18 ▼	105	247 ▼▼	
ヤナギムシガレイ	8	9 →	10 →	53	77 ▼	
ムシガレイ	8	12 ▼	9 →	74	70 →	
キタイ	7	6 △	4 △	23	32 ▼	
マダラ	7	50 ▼▼	16 ▼▼	109	74 △	
ヒレグロ	4	20 ▼▼	15 ▼▼	44	68 ▼	
マダイ	4	4 →	4 →	26	31 →	
アマダイ類	2	0 △△△	0 △△△	3	3 →	
ホッケ	2	53 ▼▼	22 ▼▼	33	103 ▼▼	
マコガレイ	2	2 ▼	3 ▼	12	16 ▼	
ヒラメ	2	3 ▼	2 ▼	6	10 ▼	
その他	74	162 ▼▼	121 ▼	1,188	1,338 →	
合計	567	817 ▼	704 ▼	4,134	4,585 →	
1隻当たり	0.49	0.56 →	0.45 →	0.48	0.44 →	

平年値は過去10年平均



まき網漁業

	4月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
延隻数	40	39 →	41 →		138	188 ▼	
マヅ	142	74 △	336 ▼▼		1,535	1,829 →	
マダイ	114	90 △	23 △△△		121	30 △△△	
マサバ	14	7 △	205 ▼▼		420	1,763 ▼▼	
フクラギ	11	0 △△△	8 △		14	55 ▼▼	
ガント	1	0 △△△	95 ▼▼		16	141 ▼▼	
その他	13	31 ▼▼	558 ▼▼		83	1,188 ▼▼	
合計	283	202 △	1,122 ▼▼		2,159	4,810 ▼▼	
1隻当たり	7	5 △	27 ▼▼		16	26 ▼	

平年値は過去10年平均

その他の漁業

	4月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
<b>刺網漁業</b>							
延隻数	3,165	3,680 →	3,633 →		7,783	9,472 ▼	
フクラギ	51	167 ▼▼	86 ▼		276	316 →	
ウスハル	32	25 △	36 →		41	57 ▼	
ウマヅラハギ	7	10 ▼	9 ▼		27	29 →	
マガレイ	5	3 △	2 △△		16	10 △	
ヒラメ	5	4 △	4 △		7	6 →	
ホッケ	4	2 △△	5 →		6	9 ▼	
マヅ	4	4 →	5 →		17	12 △	
マダイ	4	6 ▼	6 ▼		8	14 ▼	
ムシガレイ	4	4 →	2 △		10	5 △△	
ソウハチ	4	4 →	1 △△		7	3 △△	
その他	74	123 ▼	116 ▼		304	427 ▼	
合計	194	353 ▼	272 ▼		719	887 ▼	
1隻当たり	0.06	0.10 ▼	0.07 ▼		0.09	0.09 →	
<b>釣り</b>							
延隻数	1,031	849 △	794 △		2,701	2,234 △	
ガント	12	9 △	11 →		16	13 △	
ブリ	12	4 △△△	5 △△		12	5 △△	
フクラギ	9	5 △	5 △		30	9 △△△	
ウスハル	4	2 △△	3 △		12	12 →	
マダイ	2	0 △△△	1 △△		3	2 △	
その他	10	8 △	10 →		37	41 →	
合計	49	28 △	36 △		110	82 △	
1隻当たり	0.05	0.03 △	0.04 →		0.04	0.04 →	
<b>イカ釣り(小型)</b>							
延隻数	33	21 △	74 ▼▼		34	220 ▼▼	
スルメイカ	13	2 △△△	14 →		13	53 ▼▼	
1隻当たり	0.39	0.11 △△△	0.19 △△		0.38	0.24 △	
<b>サヨリ船びき網(蛸島港・鵜飼港・松波港)</b>							
延隻数	114	81 △	152 ▼		222	288 ▼	
サヨリ	5	4 →	8 ▼		12	18 ▼	
1隻当たり	0.04	0.05 ▼	0.05 ▼		0.05	0.06 →	

※表(比率)の見方

▼▼ ~ 50%      △ 120~199%  
 ▼ 51~ 83%      △△ 200~299%  
 → 84~119%      △△△ 300~

# 石川県水産総合センター漁海況情報 第156号

電話：0768-62-1324 <http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.htm>

本県周辺海域の水深50m水温は、加賀沖及び能登半島外浦沖では“平年並み”から“やや高め”、富山湾では“やや高め”から“かなり高め”。

定置網ではスルメイカ・サワラが平年をかなり上回り、マアジが平年をかなり下回った。

底びき網ではハタハタ・ニギスが平年並み、アマエビが平年をやや下回った。

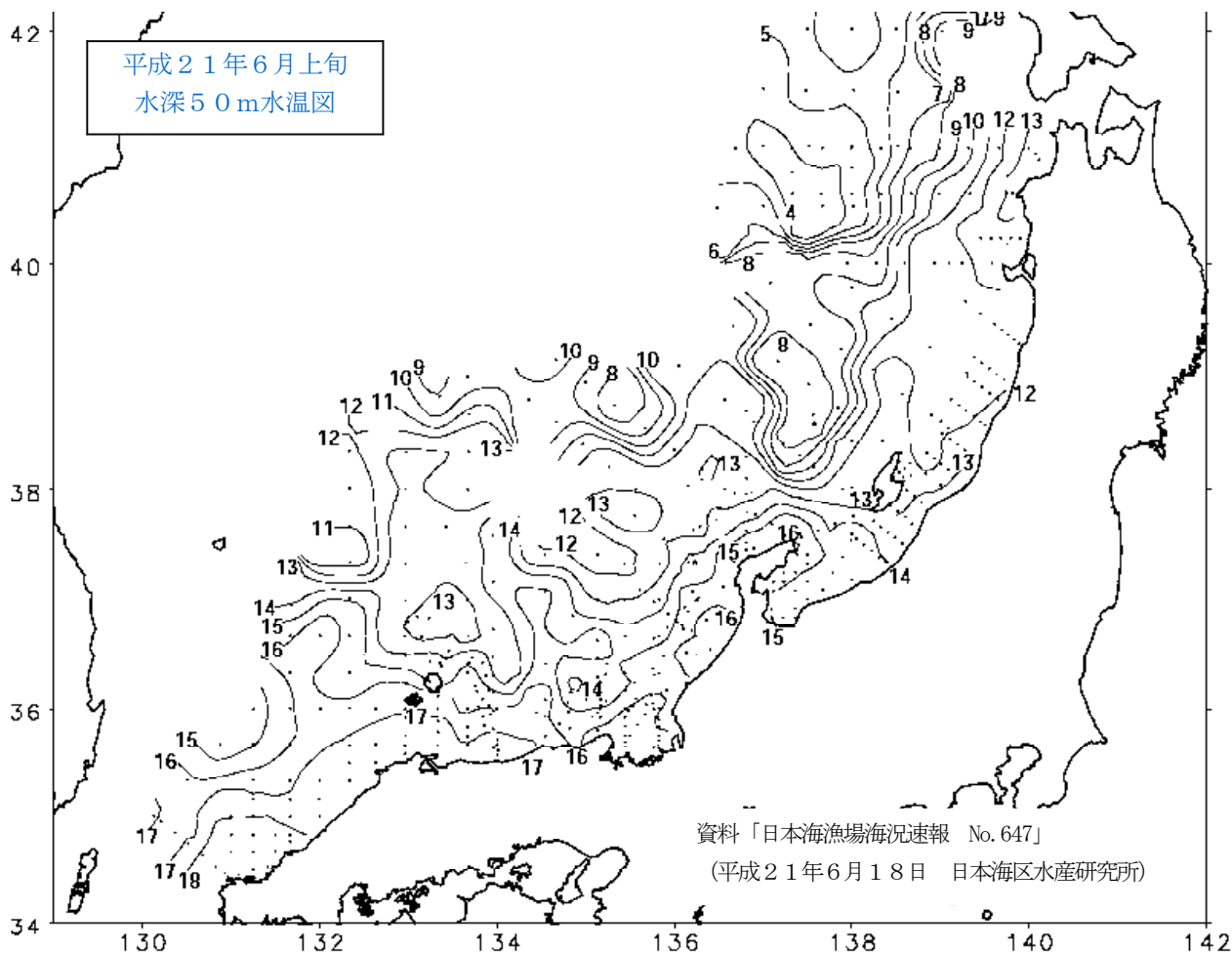
まき網ではマアジが平年をかなり下回り、マダイが平年をやや上回った。

刺網ではウスメバル(やなぎばちめ)が平年をかなり下回った。

釣りではガンドが平年をやや上回り、小型いか釣りは平年をやや下回った。

## 1 水温の状況 — 6月定線観測結果 —

- (1) 本県周辺の水深50m水温は13～16℃台を示し、加賀沖及び能登半島外浦沖では“平年並み”から“やや高め”(0～1℃高め)、富山湾では“やや高め”から“かなり高め”(1～2℃高め)の水温分布を示しています。
- (2) 表面水温は17～18℃台を示し、加賀沖では“平年並み”から“やや高め”(0～1℃高め)、能登半島外浦沖及び富山湾では“平年並み”の水温分布を示しています。
- (3) 能登半島西方沖では、先月に引き続き暖水域が岸寄りに分布しています。
- (4) 佐渡島沖の冷水域は、緑剛埼にやや近づいて分布しています。



## 2 漁獲の動向 — 5月の漁獲量から —

### 【定置網】

主要10港合計は**1,609トン**で、**平年（過去10年平均）をやや下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはスルメイカの**408トン**で、平年をかなり上回りました。能登町・七尾市沿岸で好漁が続き、過去10年間で最も多い漁獲量となりました。

サワラは**190トン**で平年をかなり上回りました。

マアジは**189トン**で平年をかなり下回りました。外浦沿岸・富山湾沿岸ともに不漁で、過去10年間で最も少ない漁獲量となりました。

### 【底びき網】

主要10港合計は**529トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはハタハタの**136トン**で、平年並みでした。ただし、輪島港・蛸島港では前年をかなり上回り、橋立港・金沢港では前年をかなり下回りました。

ニギスは**81トン**で、平年並みでした。

アマエビは**80トン**、アカガレイは**61トン**で、いずれも平年をやや下回りました。

### 【まき網】

主要10港合計は**332トン**で、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはマアジの**165トン**で、平年をかなり下回りました。

マダイは**87トン**で平年をやや上回りました。

### 【刺網】

主要10港合計は**116トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはウスメバル（やなぎばちめ）の**16トン**で、平年をかなり下回りました。

マダイは**10トン**、サザエは**10トン**で、いずれも平年をやや下回りました。

### 【釣り】

釣りの主要10港合計は**77トン**で、**平年をやや上回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはガンドの**20トン**で、平年をやや上回りました。

ブリは**18トン**で平年をかなり上回りました。

フクラギは**14トン**で平年をやや上回りました。

**イカ釣り（小型）**の主要10港合計は**630トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。

# 漁獲量統計 (橋立港、金沢港、富来港、輪島港、蛸島港、鵜飼港、松波港、宇出津港、七尾地区)

## 定置網漁業

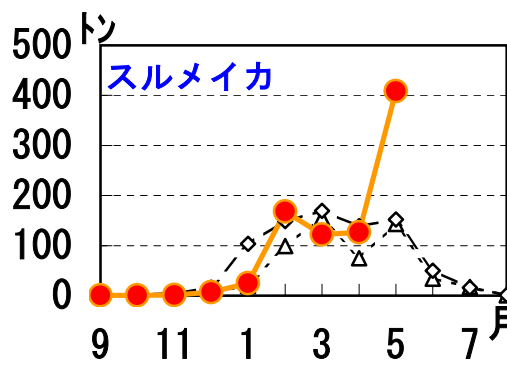
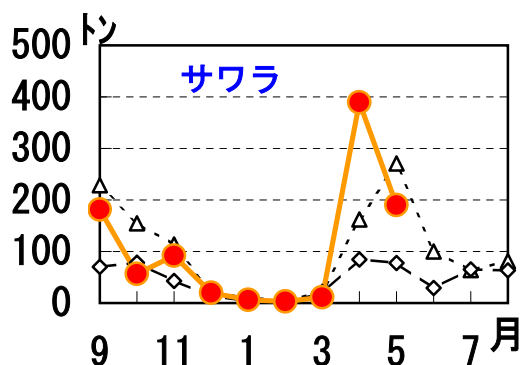
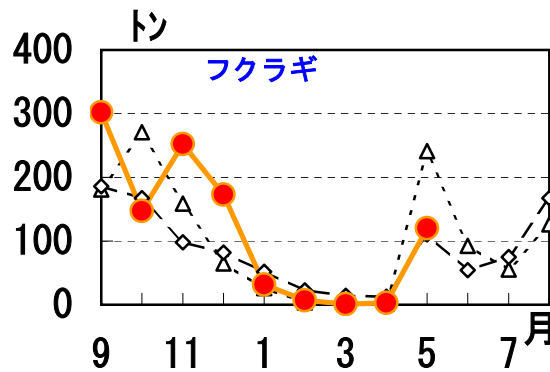
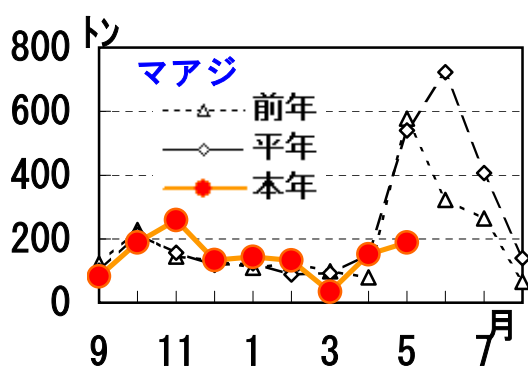
	5月漁獲量 (トン)				累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
延統数	1,757	1,983 →	2,135 ▼		12,985	14,306 →	
スルメイカ	408	143 △△	152 △△		860	735 →	
サワラ	190	271 ▼	78 △△		950	392 △△	
マアジ	189	577 ▼▼	540 ▼▼		1,316	1,583 →	
カタクチイワシ	142	171 →	427 ▼▼		3,264	2,250 △	
フクラギ	120	241 ▼▼	111 →		1,037	745 △	
ガンド	91	83 →	52 △		134	119 →	
ブリ	89	64 △	56 △		596	430 △	
マダイ	72	177 ▼▼	86 →		165	161 →	
ウルメイワシ	70	41 △	42 △		177	333 ▼	
マサバ	32	184 ▼▼	176 ▼▼		364	510 ▼	
トビコ類	30	16 △	12 △△		31	13 △△	
マイワシ	16	134 ▼▼	77 ▼▼		204	405 ▼	
メジマダロ	16	4 △△△	8 △△		115	79 △	
ウマヅラハギ	8	27 ▼▼	50 ▼▼		204	411 ▼▼	
クロマダロ	7	11 ▼	5 △		12	7 △	
その他	128	138 →	165 ▼		1,996	2,391 →	
合計	1,609	2,282 ▼	2,035 ▼		11,425	10,566 →	
1隻当たり	0.92	1.15 ▼	0.95 →		0.88	0.74 →	

平年値は過去10年平均  
単位：トン

## 他府県漁獲状況 (5月：定置網)

	カタクチイワシ	フクラギ	サワラ	アジ類	スルメイカ	ウルメイワシ	ブリ、ガンド	アカマス
舞鶴	469.0	228.3	25.2	76.4	0.1	0.0	22.7	11.1
氷見	116.5	4.7	62.0	9.0	68.1	29.8	4.6	2.2

各府県水試調べによる (速報値)

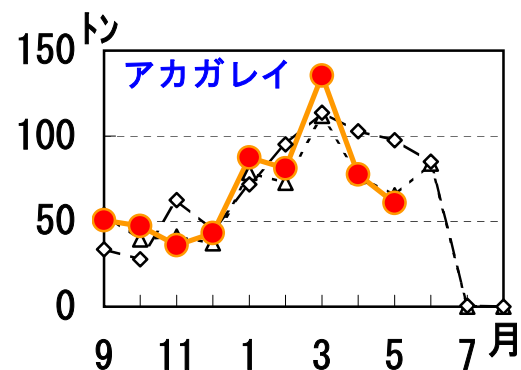
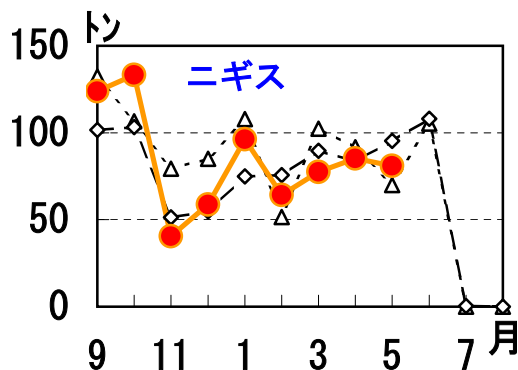
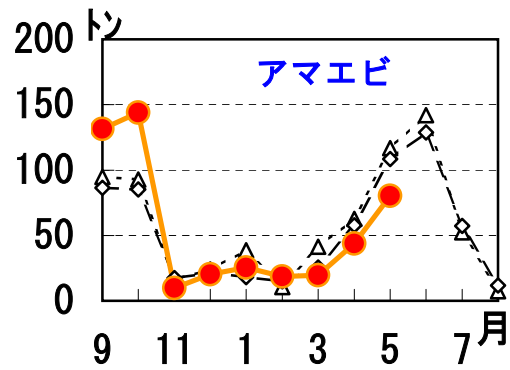
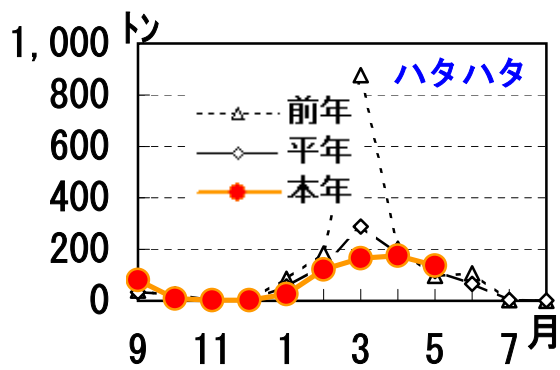


定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

底びき網漁業

	5月漁獲量 (トン)				累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
延隻数	1,125	1,302 →	1,733 ▼		9,742	12,083 ▼	
ハタハタ	136	96 △	116 →		719	846 →	
ニギス	81	70 →	95 →		760	730 →	
アマエビ	80	117 ▼	108 ▼		494	435 →	
アカガレイ	61	65 →	98 ▼		619	649 →	
マダラ	13	22 ▼	16 →		122	90 △	
ガスエビ	13	18 ▼	17 ▼		119	129 →	
ヤキムシガレイ	11	10 →	17 ▼		64	95 ▼	
マガレイ	10	10 →	16 ▼		50	83 ▼	
アンコウ	9	8 →	15 ▼		114	262 ▼▼	
ソウハチ	8	9 ▼	18 ▼▼		52	92 ▼	
ムシガレイ	7	12 ▼	12 ▼		81	82 →	
ハツメ	7	3 △△	16 ▼▼		46	56 ▼	
ウマヅラハギ	6	9 ▼	9 ▼		47	47 →	
ヒレグロ	5	6 ▼	11 ▼▼		49	79 ▼	
ホッケ	4	45 ▼▼	45 ▼▼		37	148 ▼▼	
キタイ	3	6 ▼	7 ▼▼		27	39 ▼	
マダイ	3	3 ▼	4 ▼		28	35 ▼	
マアジ	2	2 △	3 ▼		35	49 ▼	
マコガレイ	2	1 △	5 ▼▼		14	20 ▼	
その他	68	84 ▼	102 ▼		1,185	1,346 →	
合計	529	598 →	729 ▼		4,662	5,314 →	
1隻当たり	0.47	0.46 →	0.42 →		0.48	0.44 →	

平年値は過去10年平均



まき網漁業

	5月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)			
	本年	前年	(比率)	平年	(比率)	本年	平年	(比率)
延隻数	14	14	→	40	▼▼	152	227	▼
マヅ	165	168	→	335	▼▼	1,700	2,164	▼
マダイ	87	26	△△△	63	△	208	93	△△
マサバ	45	55	▼	93	▼▼	465	1,857	▼▼
フクラギ	18	3	△△△	44	▼▼	32	99	▼▼
ウルメイワシ	12	2	△△△	4	△△△	12	43	▼▼
その他	35	10	△△△	253	▼▼	118	1,441	▼▼
合計	332	259	△	745	▼▼	2,491	5,555	▼▼
1隻当たり	24	18	△	19	△	16	24	▼

平年値は過去10年平均

その他の漁業

	5月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)			
	本年	前年	(比率)	平年	(比率)	本年	平年	(比率)
<b>刺網漁業</b>								
延隻数	3,274	4,074	▼	5,392	▼	11,057	14,865	▼
ウスハル	16	16	→	35	▼▼	57	91	▼
マダイ	10	10	→	16	▼	18	29	▼
サザエ	10	15	▼	18	▼	14	24	▼
ウマヅラハギ	9	11	▼	19	▼▼	35	48	▼
アマダイ類	5	2	△△	6	→	8	8	→
キダイ	5	2	△△	4	△	8	7	→
ガント	4	5	▼	5	▼	21	65	▼▼
アカガレイ	4	2	△	2	△	31	42	▼
ヒラメ	3	4	▼	3	→	10	9	→
フクラギ	3	9	▼▼	15	▼▼	279	331	→
その他	49	60	▼	83	▼	355	438	▼
合計	116	135	→	205	▼	835	1,092	▼
1隻当たり	0.04	0.03	→	0.04	→	0.08	0.07	→
<b>釣り</b>								
延隻数	1,717	1,337	△	1,510	→	4,418	3,744	→
ガント	20	14	△	12	△	36	25	△
ブリ	18	7	△△	5	△△△	30	10	△△△
フクラギ	14	9	△	10	△	45	19	△△
マダイ	13	9	△	12	→	16	14	→
ウスハル	1	1	△	3	▼▼	13	15	→
その他	10	9	→	22	▼▼	47	63	▼
合計	77	49	△	64	△	187	145	△
1隻当たり	0.04	0.04	△	0.04	→	0.04	0.04	→
<b>イカ釣り(小型)</b>								
延隻数	1,856	1,903	→	2,365	▼	1,890	2,585	▼
スルメイカ	630	627	→	1,200	▼	643	1,253	▼
1隻当たり	0.34	0.33	→	0.51	▼	0.34	0.48	▼
<b>サヨリ船びき網(蛸島港・鵜飼港・松波港)</b>								
延隻数	67	59	→	86	▼	289	373	▼
サヨリ	2	4	▼▼	6	▼▼	14	24	▼
1隻当たり	0.03	0.06	▼▼	0.07	▼▼	0.05	0.06	▼

※表(比率)の見方

▼▼ ~ 50%                      △ 120~199%  
 ▼ 51~ 83%                      △△ 200~299%  
 → 84~119%                      △△△ 300~

石川県水産総合センター漁海況情報 第157号

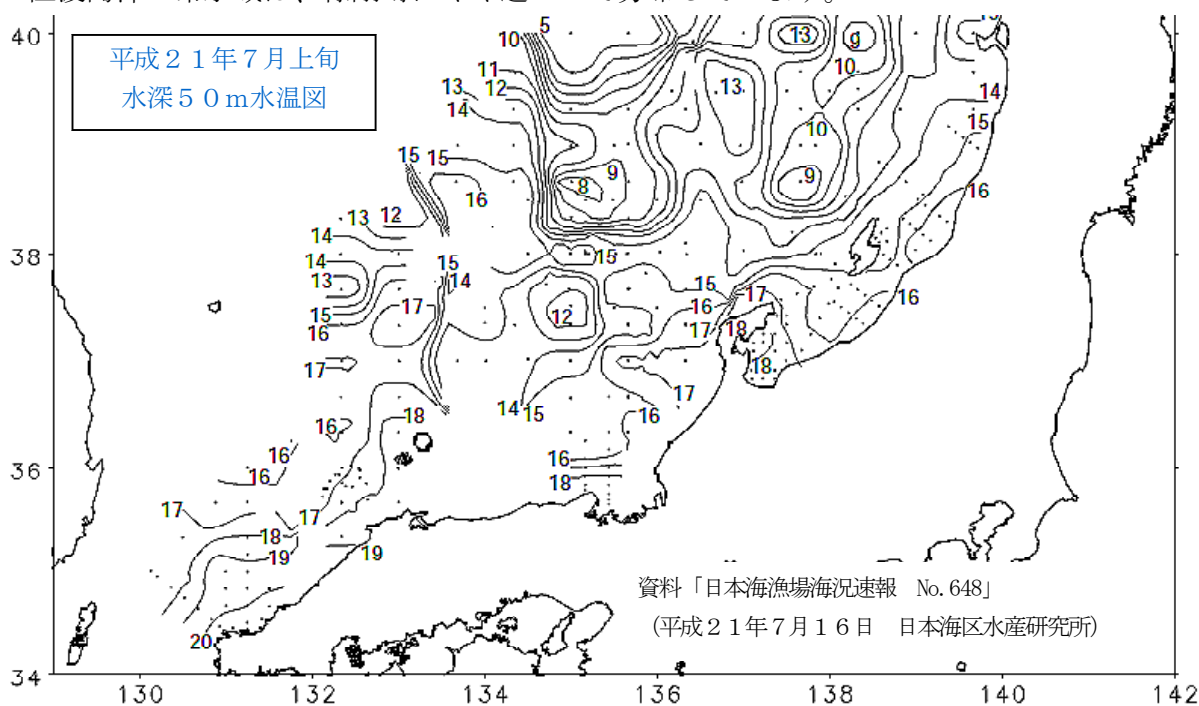
電話：0768-62-1324 http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.htm

本県周辺海域の水深50m水温は、加賀沖、能登半島外浦沖、富山湾ではいずれも“**平年並み**”から“**やや高め**”。

定置網ではマアジが平年をかなり下回り、スルメイカ・フクラギが平年をかなり上回った。底びき網ではハタハタが平年をかなり上回り、アマエビ・ニギスが平年並み。小型いか釣りは平年をやや下回った。

1 水温の状況 - 7月定線観測結果 -

- (1) 本県周辺の水深50m水温は14～18℃台を示し、加賀沖、能登半島外浦沖、富山湾ではいずれも“平年並み”から“やや高め”(0～1℃高め)の水温分布を示しています。
- (2) 表面水温は19～21℃台を示し、加賀沖及び能登半島外浦沖では“平年並み”から“やや低め”(0～1℃低め)、富山湾では“平年並み”の水温分布を示しています。
- (3) 能登半島西方沖では、先月に引き続き暖水域が岸寄りに分布しています。
- (4) 佐渡島沖の冷水域は、禄剛埼にやや近づいて分布しています。

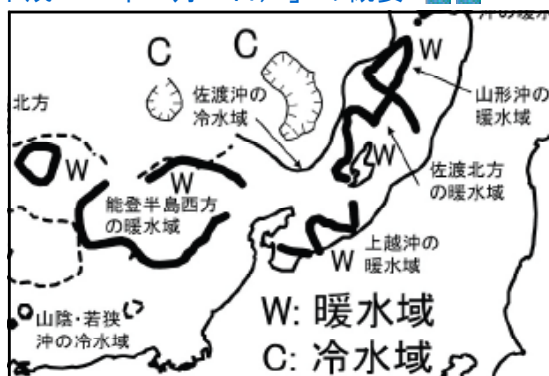


「平成21年度第2回日本海海況予報（平成21年7月3日）」の概要

日本海沿岸の道府県水産研究機関と水産総合研究センター日本海区水産研究所が検討してとりまとめた日本海海況予報が以下のとおり発表されました。

今後の見通し（2009年7月～9月）

- (1) 能登半島西方の暖水域は、ほぼ停滞するが、その一部は佐渡西方に移動する。上越沖の暖水域は消滅する。佐渡北方と山形沖の暖水域は北上する。
- (2) 山陰・若狭沖冷水域の張り出しは、かなり弱い。佐渡沖冷水域の張り出しは、平年並み。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、平年並みで経過する。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部及び北部ともやや高めで経過する。



平成21年6月の海況模式図



## 2 漁獲の動向 — 6月の漁獲量から —

### ○ 定置網

主要10港合計は**1,379トン**で、**平年（過去10年平均）並みの漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはマアジの342トンで、平年をかなり下回りました。外浦沿岸・富山湾沿岸ともに不漁で、先月に続き、過去10年間で最も少ない漁獲量となりました。

スルメイカは280トンで平年をかなり上回りました。特に能登町・七尾市沿岸で好漁が続きました。

フクラギは235トンで平年をかなり上回りました。

クロマグロ（20kg以上）は24トンで平年をやや上回りました。しかし、豊漁であった前年をかなり下回りました。

### ○ 底びき網

主要10港合計は**663トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはハタハタの154トンで、蛸島港主体に平年をかなり上回りました。

アマエビは118トン、ニギスは116トンで、いずれも平年並みでした。

アカガレイは59トンで平年をやや下回りました。

### ○ まき網

主要10港合計は**1,145トン**で、**平年をかなり上回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはマアジの375トンで、平年をやや上回りました。

ウルメイワシは293トンで、富来港主体に平年をかなり上回りました。

クロマグロ（20kg以上）は66トンで平年をやや上回りました。しかし、豊漁であった前年をかなり下回りました。

### ○ 刺網

主要10港合計は**219トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはウスメバル（やなぎばちめ）の49トンで、輪島港主体に平年をかなり上回りました。

サザエは36トン、ウマヅラハギ（かわはぎ）は10トンで、いずれも平年並みでした。

アマダイは18トンで平年をやや上回りました。

### ○ 釣り

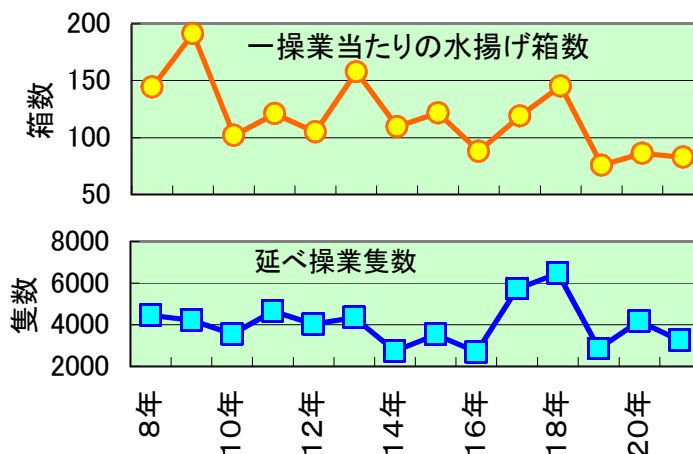
釣りの主要10港合計は**48トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはマダイの15トンで、平年並みでした。

フクラギは8トン、ガンドは5トンで、いずれも平年をかなり上回りました。

小型いか釣りの主要10港合計は**746トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。

今年の春漁期（5月から7月）の一操業当たり水揚げ箱数は平年の73%、延べ操業隻数は平年の79%でした。盛漁期の5月中下旬にまとまった水揚げがみられなかったことなどから、平成19年以降、3年続けての不漁となりました。



小型いか釣り漁船の水揚げ箱数・操業隻数の推移（5月～7月）  
（集計対象港：金沢港・富来港・輪島港・蛸島港）

# 漁獲量統計 (橋立港、金沢港、富来港、輪島港、蛸島港、鵜飼港、松波港、宇出津港、七尾地区)

## 定置網漁業

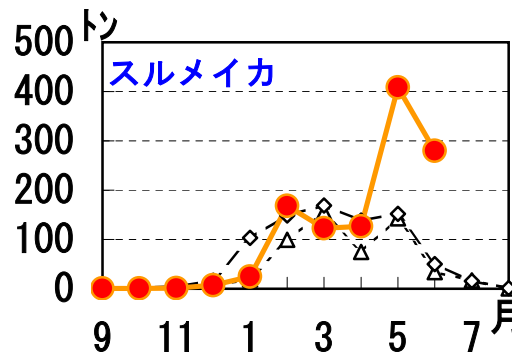
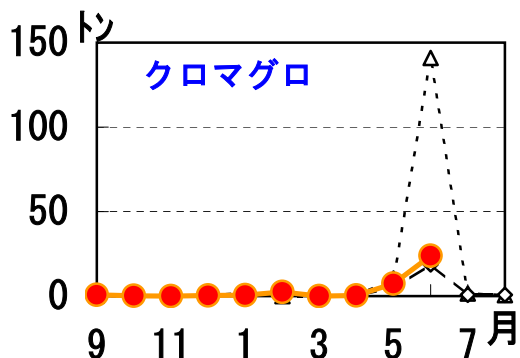
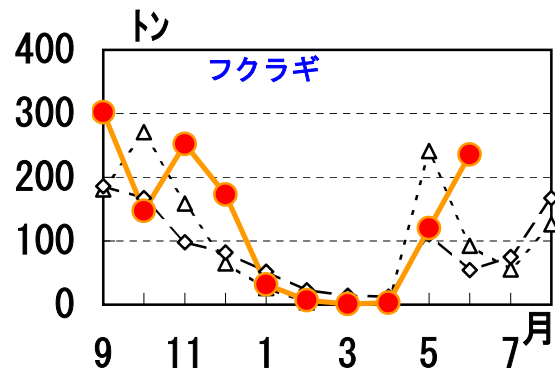
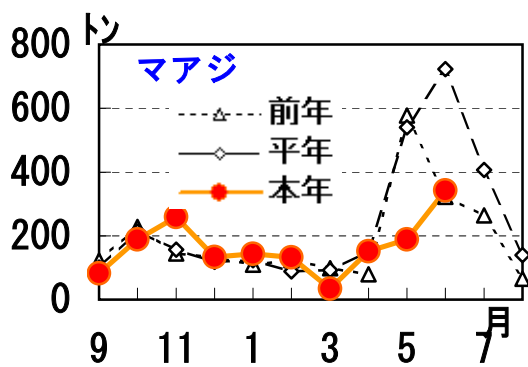
	6月漁獲量 (トン)				累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
延統数	1,841	1,919 →	2,051 →		14,826	16,357 →	
マアジ	342	322 →	723 ▼▼		1,658	2,306 ▼	
スルメイカ	280	34 ▲▲▲	50 ▲▲▲		1,140	785 ▲	
フクラギ	235	93 ▲▲	54 ▲▲▲		1,273	800 ▲	
トビウオ類	153	187 ▼	138 →		184	152 ▲	
ブリ	77	76 →	38 ▲▲		673	469 ▲	
カクチイワシ	48	19 ▲▲	21 ▲▲		3,313	2,271 ▲	
ガント	43	116 ▼▼	22 ▲		177	141 ▲	
クロマグロ	24	141 ▼▼	19 ▲		36	26 ▲	
マダイ	22	51 ▼▼	29 ▼		187	191 →	
サワ	21	100 ▼▼	29 ▼		971	422 ▲▲	
マサバ	18	32 ▼	116 ▼▼		383	626 ▼	
メジマグロ	13	9 ▲	5 ▲▲		128	84 ▲	
ウルメイワシ	9	1 ▲▲▲	5 ▲		186	338 ▼	
アカマス	8	9 →	6 ▲		152	241 ▼	
ウマヅラハギ	4	5 ▼	11 ▼▼		208	422 ▼▼	
その他	82	119 ▼	149 ▼		2,138	2,710 ▼	
合計	1,379	1,313 →	1,416 →		12,805	11,982 →	
1隻当たり	0.75	0.68 →	0.69 →		0.86	0.73 →	

平年値は過去10年平均  
単位：トン

## 他府県漁獲状況 (6月：定置網)

	アジ類	サワ	カクチイワシ	スルメイカ	フクラギ	トビウオ	アカマス	マグロ、メジ類
舞鶴	470.4	41.8	54.5	5.0	21.9	25.9	3.7	7.5
氷見	94.0	45.5	6.6	54.8	6.2	0.0	10.6	3.3

各府県水試調べによる (速報値)

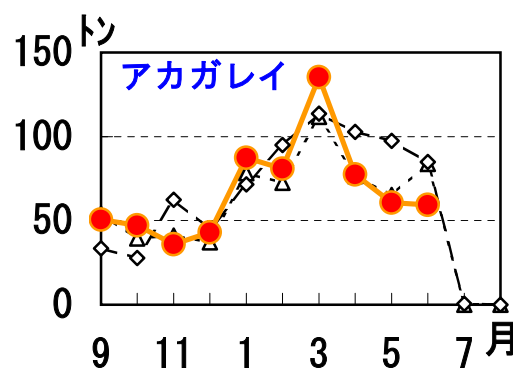
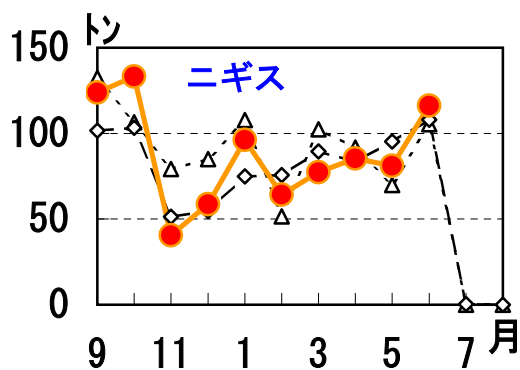
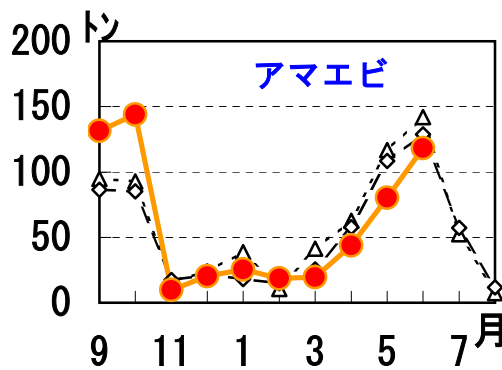
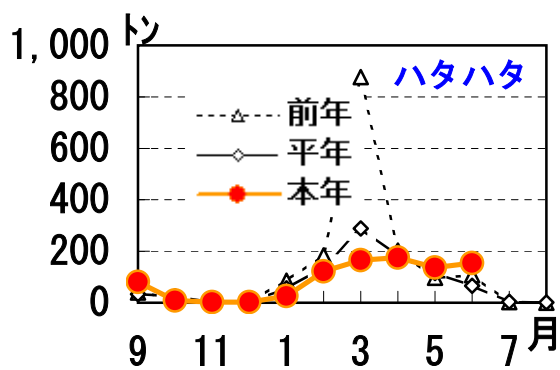


定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

底びき網漁業

	6月漁獲量 (トン)				累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
延隻数	1,353	1,658 ▼	1,796 ▼		11,095	13,879 ▼	
ハタハタ	154	107 △	66 △△		873	912 →	
アマエビ	118	142 →	129 →		612	563 →	
ニギス	116	105 →	108 →		877	838 →	
アカガレイ	59	84 ▼	85 ▼		678	734 →	
マダラ	20	79 ▼▼	19 →		142	108 △	
ホッケ	16	126 ▼▼	62 ▼▼		52	211 ▼▼	
ヤキムシガレイ	16	21 ▼	24 ▼		79	118 ▼	
マガレイ	16	20 ▼	26 ▼		66	109 ▼	
ガスエビ	10	13 ▼	10 →		129	139 →	
アンコウ	10	9 →	13 ▼		124	275 ▼▼	
ソウハチ	10	10 →	19 ▼		62	111 ▼	
ムシガレイ	10	17 ▼	16 ▼		91	98 →	
マコガレイ	9	7 △	4 △△		23	25 →	
ハツメ	8	7 →	12 ▼		54	68 ▼	
マダイ	6	3 △	4 △		34	39 →	
ヒレグロ	6	8 ▼	10 ▼		55	89 ▼	
ウマヅラハギ	4	16 ▼▼	8 ▼		51	55 →	
キダイ	3	6 ▼	8 ▼▼		30	47 ▼	
タコ類	2	0 △△△	7 ▼▼		9	39 ▼▼	
その他	69	101 ▼	99 ▼		1,283	1,462 →	
合計	663	882 ▼	727 →		5,325	6,041 →	
1隻当たり	0.49	0.53 →	0.40 △		0.48	0.44 →	

平年値は過去10年平均



まき網漁業

	6月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)			
	本年	前年	(比率)	平年	(比率)	本年	平年	(比率)
延隻数	67	34	△	44	△	219	272	▼
マヅ	375	206	△	200	△	2,075	2,364	→
ウルメイワシ	293	1	△△△	19	△△△	306	62	△△△
メジマグロ	173	7	△△△	6	△△△	173	6	△△△
マイワシ	119	0	△△△	100	→	132	722	▼▼
カマガロ	66	160	▼▼	31	△△	66	31	△△
その他	303	208	△	272	→	1,082	3,620	▼▼
合計	1,145	421	△△	497	△△	3,636	6,051	▼
1隻当たり	17	12	△	11	△	17	22	▼

平年値は過去10年平均

その他の漁業

	6月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)			
	本年	前年	(比率)	平年	(比率)	本年	平年	(比率)
刺網漁業								
延隻数	4,825	5,269	→	6,197	▼	15,882	21,062	▼
ウスハル	49	21	△△	23	△△	105	114	→
サザエ	36	37	→	42	→	50	66	▼
ウマヅラハギ	18	13	△	21	→	54	69	▼
アマダイ類	18	7	△△	12	△	25	20	△
キダイ	12	5	△△	7	△	20	14	△
フクラギ	11	5	△△	7	△	289	338	→
ハツメ	8	13	▼	9	→	12	40	▼▼
マダイ	5	5	→	6	→	23	35	▼
マダコ	4	5	→	6	▼	11	18	▼
ガント	4	2	△△	2	△△	25	67	▼▼
その他	54	55	→	64	→	439	510	→
合計	219	167	△	199	→	1,054	1,290	▼
1隻当たり	0.05	0.03	△	0.03	△	0.07	0.06	→
釣り								
延隻数	1,583	1,423	→	1,710	→	6,001	5,454	→
マダイ	15	20	▼	14	→	31	28	→
フクラギ	8	2	△△△	2	△△△	52	21	△△
ガント	5	2	△△	2	△△	41	27	△
ブリ	3	1	△△△	1	△	33	11	△△
ウスハル	3	2	△	4	▼	16	18	→
その他	16	17	→	42	▼▼	62	105	▼
合計	48	43	→	65	▼	235	211	→
1隻当たり	0.03	0.03	→	0.04	▼	0.04	0.04	→
イカ釣り(小型)								
延隻数	1,576	1,710	→	1,796	→	3,466	4,381	▼
スルメイカ	746	736	→	995	▼	1,389	2,248	▼
1隻当たり	0.47	0.43	→	0.55	→	0.40	0.51	▼

※表(比率)の見方

▼▼ ~ 50%                      △ 120~199%  
 ▼ 51~ 83%                      △△ 200~299%  
 → 84~119%                      △△△ 300~

# 石川県水産総合センター漁海況情報 第158号

電話：0768-62-1324 <http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.htm>

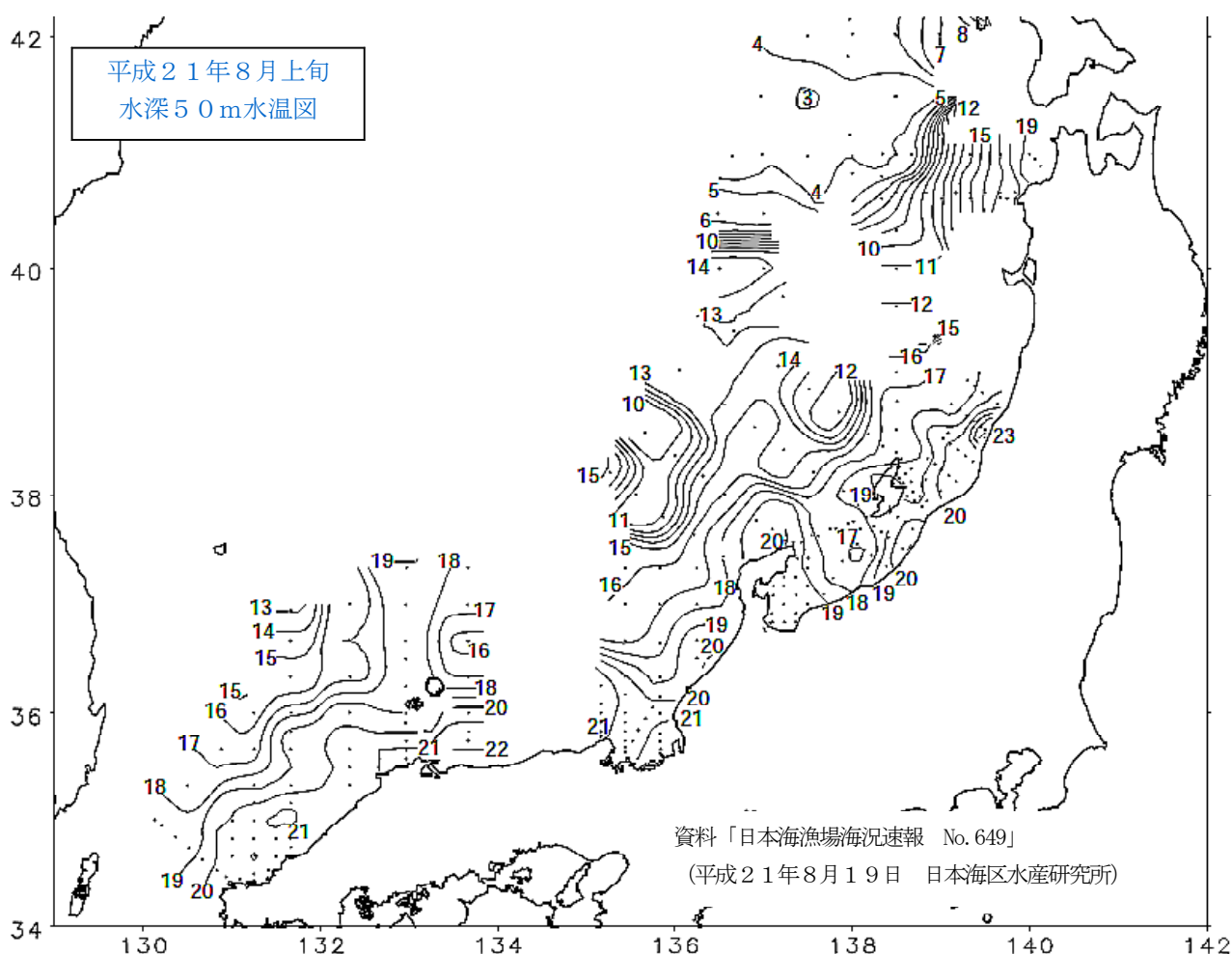
本県周辺海域の水深50m水温は、加賀沖で“平年並み”、能登半島外浦沖で“平年並み”から“やや高め”、富山湾で“平年並み”から“やや低め”。表面水温は、いずれの海域でも“かなり低め”。

定置網ではマアジ・サワラが平年をやや上回り、トビウオ・コソクラが平年並み。まき網ではウルメイワシ・ガンドが平年をかなり上回った。

刺網ではサザエが平年をやや下回り、ウスメバル(やなぎばちめ)が平年をかなり上回った。

## 1 水温の状況 — 8月定線観測結果 —

- (1) 本県周辺の水深50m水温は16～20℃台を示し、加賀沖では“平年並み”、能登半島外浦沖では“平年並み”から“やや高め”(0～1℃高め)、富山湾では“平年並み”から“やや低め”(0～1℃低め)の水温分布を示しています。
- (2) 表面水温は22～24℃台を示し、加賀沖及び能登半島外浦沖では“かなり低め”(2～3℃低め)、富山湾でも“かなり低め”(1～2℃低め)の水温分布を示しています。
- (3) 能登半島北西沖では、冷水域がやや岸寄りに分布しています。
- (4) 佐渡島沖では、冷水域が禄剛崎にやや近づいて分布しています。



## 2 漁獲の動向 — 7月の漁獲量から —

### ○ 定置網

主要10港合計は**1,235トン**で、**平年（過去10年平均）をやや上回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはマアジの**735トン**で、平年をやや上回りました。

トビウオは**124トン**で平年並みでした。

サワラは**102トン**で平年をやや上回りました。

フクラギ（ブリ1歳魚）は**48トン**、コゾクラ（ブリ0歳魚）は**32トン**で、いずれも平年並みでした。

### ○ まき網

主要10港合計は**700トン**で、**平年をやや上回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはウルメイワシの**214トン**で、富来港主体に平年をかなり上回りました。

ガンドは**182トン**で、七尾市公設市場主体に平年をかなり上回りました。

クロマグロ（20kg以上）は**47トン**で平年並みでした。しかし、豊漁であった前年をかなり下回りました。

### ○ 刺網

主要10港合計は**181トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはサザエの**29トン**で、平年をやや下回りました。

ウスメバル（やなぎばちめ）は**17トン**で、輪島港主体に平年をかなり上回りました。

アマダイは**14トン**で平年並みでした。

### ○ 釣り

釣りの主要10港合計は**34トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはホッケの**7トン**で、松波港主体に平年をやや上回りました。

フクラギは**7トン**で平年をかなり上回りました。

**小型いか釣りの主要10港合計は35トンで、平年をかなり下回る漁獲量**でした。

# 漁獲量統計 (橋立港、金沢港、富来港、輪島港、蛸島港、鶴飼港、松波港、宇出津港、七尾地区)

## 定置網漁業

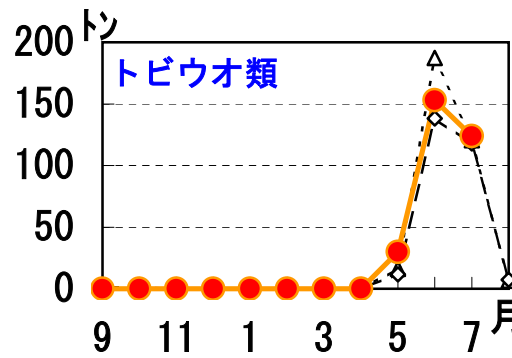
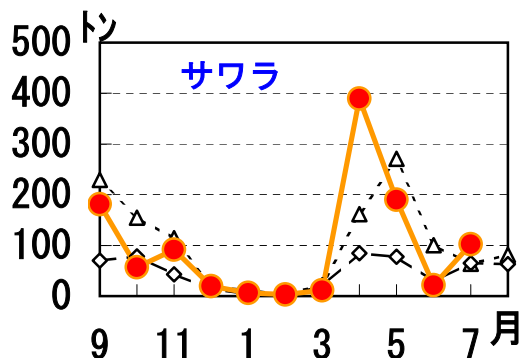
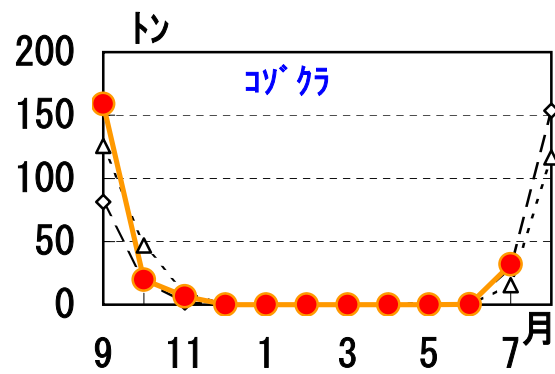
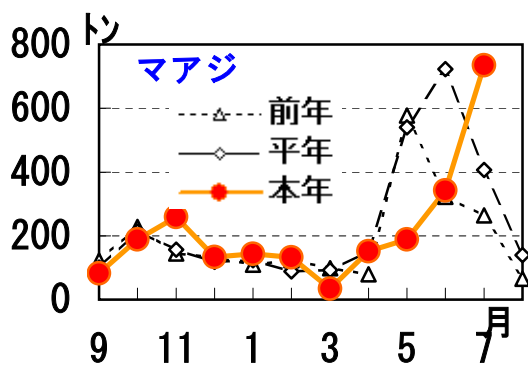
	7月漁獲量 (トン)			累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延統数	1,598	1,741 →	1,868 →	16,424	18,225 →	
マアジ	735	264 △△	407 △	2,393	2,713 →	
トビウオ類	124	121 →	118 →	308	270 →	
サワラ	102	64 △	65 △	1,073	487 △△	
フカギ	48	40 →	45 →	1,135	742 △	
マサバ	40	22 △	33 △	423	658 ▼	
コゾクラ	32	15 △△	30 →	217	132 △	
カクチイワシ	27	41 ▼	60 ▼▼	3,339	2,332 △	
マダイ	15	27 ▼	19 ▼	202	210 →	
ガント	13	56 ▼▼	18 ▼	190	159 →	
スルメイカ	12	17 ▼	16 ▼	1,152	801 △	
シラ	6	10 ▼	10 ▼	622	313 △	
ウマヅラハギ	5	6 →	10 ▼	213	432 ▼▼	
マルソダ	5	0 △△△	6 ▼	363	685 ▼	
ケンサキイカ	4	1 △△△	4 →	6	9 ▼	
ブリ	4	3 △	6 ▼	677	474 △	
その他	64	61 →	93 ▼	1,727	2,503 ▼	
合計	1,235	746 △	939 △	14,040	12,920 →	
1隻当たり	0.77	0.43 △	0.50 △	0.85	0.71 △	

平年値は過去10年平均  
単位：トン

## 他府県漁獲状況 (7月：定置網)

	アジ類	サワラ	トビウオ	カクチイワシ	フカギ	サバ類	アカマス	マダイ
舞鶴	116.6	88.4	47.1	8.5	14.0	9.5	3.8	0.5
氷見	30.4	29.1	0.0	34.8	2.3	0.9	4.6	3.4

各府県水試調べによる (速報値)



定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

まき網漁業

	7月漁獲量 (トン)				累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)		
延隻数	52	76 ▼	51 →	271	323	→	
ウルメイワシ	214	70 △△△	20 △△△	520	82 △△△		
ガント	182	107 △	21 △△△	199	199	→	
マイワシ	90	704 ▼▼	154 ▼	222	876 ▼▼		
マヅ	80	45 △	181 ▼▼	2,155	2,546	→	
カマガロ	47	105 ▼▼	55 →	113	87 △		
その他	214	273 ▼	385 ▼	3,395	5,474 ▼		
合計	700	1,153 ▼	580 △	4,336	6,632 ▼		
1隻当たり	13	15 →	11 →	16	21 ▼		

平年値は過去10年平均

その他の漁業

	7月漁獲量 (トン)				累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)		
<b>刺網漁業</b>							
延隻数	3,925	6,067 ▼	6,125 ▼	19,807	27,186	▼	
サエ	29	55 ▼	52 ▼	79	117	▼	
ウスハル	17	8 △△	8 △△	122	122	→	
アマダイ類	14	10 △	14 →	39	34	→	
アカレイ	11	21 ▼	6 △	44	49	→	
ウマヅラハギ	9	16 ▼	20 ▼▼	63	88	▼	
キダイ	8	10 →	9 →	28	23	△	
ハツメ	8	18 ▼▼	10 ▼	20	50 ▼▼		
マダコ	4	5 →	7 ▼	15	24	▼	
バイ類	4	5 →	1 △△	11	4 △△		
フクラギ	3	11 ▼▼	4 →	293	341	→	
その他	75	58 △	66 →	521	632	▼	
合計	181	216 →	196 →	1,235	1,486	→	
1隻当たり	0.05	0.04 △	0.03 △	0.06	0.05	→	
<b>釣り</b>							
延隻数	1,060	1,357 ▼	1,621 ▼	7,061	7,075	→	
ホッケ	7	2 △△△	4 △	8	10	▼	
フクラギ	7	2 △△△	1 △△△	59	23 △△		
マダイ	2	3 ▼	5 ▼▼	33	33	→	
ウスハル	1	2 ▼	4 ▼▼	17	23	▼	
マヅ	1	1 →	1 △	4	3	△	
その他	15	26 ▼	49 ▼▼	147	184	▼	
合計	34	36 →	64 ▼	269	275	→	
1隻当たり	0.03	0.03 △	0.04 ▼	0.04	0.04	→	
<b>イカ釣り(小型)</b>							
延隻数	115	806 ▼▼	365 ▼▼	3,581	4,746	▼	
スルメイカ	35	512 ▼▼	219 ▼▼	1,424	2,467	▼	
1隻当たり	0.30	0.64 ▼▼	0.60 ▼	0.40	0.52	▼	

※表(比率)の見方

▼▼ ~ 50%                      △ 120~199%  
 ▼ 51~ 83%                     △△ 200~299%  
 → 84~119%                    △△△ 300~



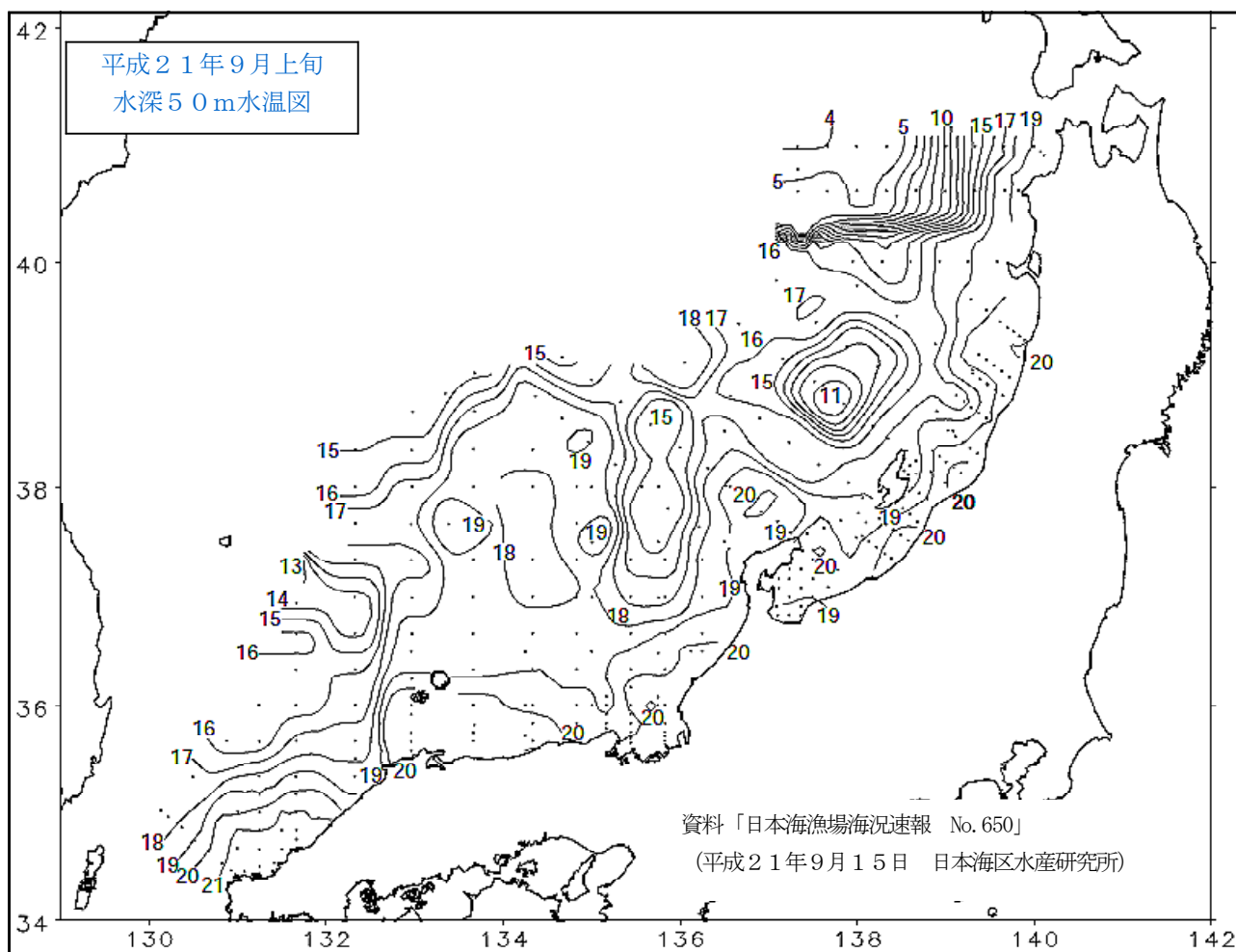
本県周辺海域の水深50m水温は、加賀沖及び能登半島外浦沖で“平年並み”から“やや低め”、富山湾で“やや低め”から“かなり低め”。

定置網ではマアジ・フクラギが平年をかなり上回り、コソクラが平年をやや下回った。まき網ではフクラギが平年をかなり上回った。

刺網ではウスメバル(やなぎばちめ)が平年をかなり上回り、サザエが平年をやや下回った。

## 1 水温の状況 — 9月定線観測結果 —

- (1) 本県周辺の水深50m水温は18～20℃台で、加賀沖及び能登半島外浦沖では“平年並み”から“やや低め”(0～1℃低め)、富山湾では“やや低め”から“かなり低め”(1～2℃低め)の水温分布を示しています。
- (2) 表面水温は24～25℃台で、加賀沖及び能登半島外浦沖では“やや低め”(0～1℃低め)、富山湾では“平年並み”から“やや低め”(0～1℃低め)の水温分布を示しています。
- (3) 加賀沖から能登半島西沖では、冷水域がやや岸寄りに分布しています。
- (4) 佐渡島沖では、冷水域が禄剛埼にやや近づいて分布しています。



## 2 漁獲の動向 — 8月の漁獲量から —

### ○ 定置網

主要10港合計は**995トン**で、**平年（過去10カ年平均）をやや上回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはマアジの388トンで、平年をかなり上回りました。カタクチイワシは189トンで平年をやや上回りました。サワラは116トンで、富来港主体に平年をやや上回りました。コゾクラ（ブリ0歳魚）は77トンで平年をやや下回りました。フクラギ（ブリ1歳魚）は62トンで平年をかなり上回りました。

### ○ まき網

主要10港合計は**1,032トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはフクラギ（ブリ1歳魚）の335トンで、平年をかなり上回りました。クロマグロ（20kg以上）は61トン、メジ（クロマグロ20kg未満）は150トンで、蛸島港・七尾港・金沢港の水揚げ隻数が増加したことにより、いずれも平年をかなり上回りました。マアジは142トンで平年をやや下回りました。

### ○ 刺網

主要10港合計は**199トン**で、**平年をやや上回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはウスメバル（やなぎばちめ）の22トンで、輪島港主体に平年をかなり上回りました。サザエは15トンで平年をやや下回りました。アマダイは14トンで平年並みでした。

### ○ 釣り

釣りの主要10港合計は**33トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはホッケの8トンで、松波港主体に平年をかなり上回りました。マダイは6トンで平年をやや上回りました。

**小型いか釣り（スルメイカ）**の主要10港合計は**4トン**で、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。

### ■■■ 底びき網漁業の水揚げ状況（解禁から9月20日までの速報値） ■■■

石川県沿岸では9月1日から底びき網漁業の操業が始まりました。主要港（橋立・金沢・富来・輪島・蛸島）の9月20日までの漁獲量（速報値）は444トンで、前年の103%、平年の116%となっています。

ニギスは、金沢港で前年並みでしたが富来港や蛸島港で前年をかなり上回り、全体の漁獲量は前年の126%、平年の130%でした。

アマエビは金沢港で前年並みとなり、全体の漁獲量は前年の89%、平年の143%でした。

アンコウは輪島港で前年をやや上回り、全体の漁獲量は前年の124%、平年の52%でした。

ハタハタは、輪島港・蛸島港で前年をかなり上回り、全体の漁獲量は前年の161%、平年の333%でした。

アカガレイ・ムシガレイ（すがれい）・マガレイ（くちぼそがれい）・ヤナギムシガレイ（めがれい）・ミズダコは、いずれも前年を下回りました。

平均単価は、アカガレイ・ムシガレイ（すがれい）・マガレイ（くちぼそがれい）などカレイ類が前年より高め、アマエビ・アンコウ・ハタハタが前年並み、ニギスが前年より低め、全魚種平均では前年並みでした（前年比98%・平年比89%）。

主要港の底びき網漁業漁獲量（9月1日～20日まで）

	漁獲量(トン)				
	本年	前年	前年比	平年	平年比
ニギス	84	67	126%	65	130%
ホッコクアカエビ(あまえび)	85	96	89%	60	143%
アンコウ	17	13	124%	32	52%
ハタハタ	88	55	161%	26	333%
アカガレイ	26	39	69%	25	106%
ムシガレイ(すがれい)	16	22	73%	18	90%
マガレイ(くちぼそがれい)	7	20	36%	16	47%
ヤナギムシガレイ(めがれい)	13	15	84%	16	81%
ミズダコ	14	17	80%	13	107%
その他	93	89	105%	111	84%
合計	444	433	103%	381	116%

各港の毎日の漁獲量は水産総合センターのホームページで確認できます。

<http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.htm>

# 漁獲量統計 (橋立港、金沢港、富来港、輪島港、蛸島港、鵜飼港、松波港、宇出津港、七尾地区)

## 定置網漁業

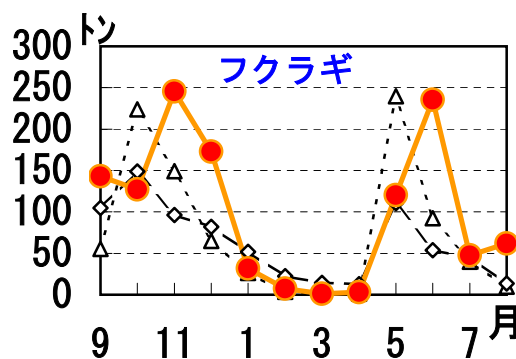
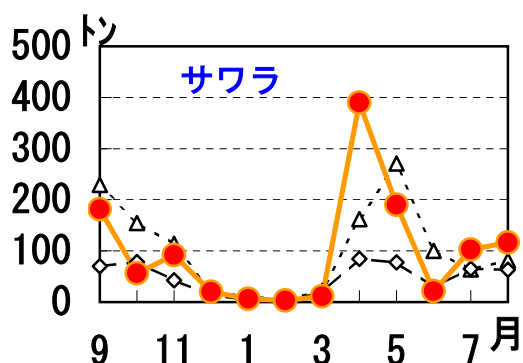
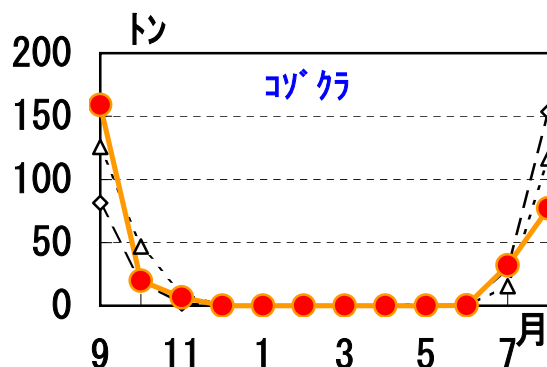
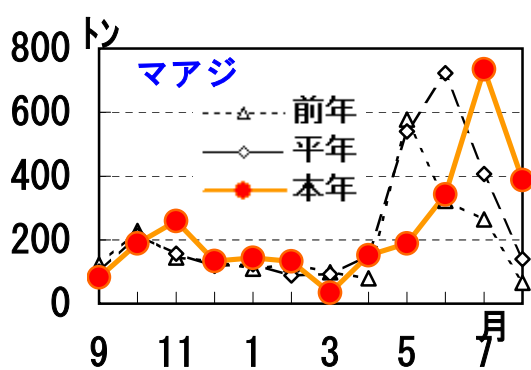
	8月漁獲量 (トン)				累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
延統数	1,422	1,319 →	1,516 →		17,846	19,741 →	
マアジ	388	65 △△△	139 △△		2,781	2,852 →	
カクチイワシ	189	218 →	128 △		3,528	2,459 △	
サワラ	116	81 △	63 △		1,190	550 △△	
コゾクラ	77	117 ▼	154 ▼		294	286 →	
フクラギ	62	10 △△△	13 △△△		1,197	756 △	
マサバ	44	26 △	24 △		467	682 ▼	
シラ	28	74 ▼▼	39 ▼		650	353 △	
マダイ	10	17 ▼	16 ▼		212	226 →	
ウルメイワシ	9	3 △△△	4 △△		196	343 ▼	
ウマヅラハギ	7	8 →	10 ▼		221	442 ▼▼	
トビウオ類	6	6 →	7 →		315	277 →	
ケンサキイカ	6	0 △△△	3 △△		12	12 →	
スルメイカ	3	0 △△△	1 △△		1,155	802 △	
マルソウダ	2	1 △△△	13 ▼▼		365	698 ▼	
ヒラメ	2	2 →	2 →		19	16 →	
その他	46	66 ▼	106 ▼▼		2,436	2,888 →	
合計	995	692 △	721 △		15,036	13,642 →	
1隻当たり	0.70	0.52 △	0.48 △		0.84	0.69 △	

平年値は過去10年平均  
単位：トン

## 他府県漁獲状況 (8月：定置網)

	フクラギ	アジ類	カクチイワシ	サワラ	マダイ	アカマス	カハギ類	スズキ
舞鶴	80.5	75.7	17.3	80.0	0.0	0.9	4.3	3.6
氷見	32.9	21.3	79.0	7.4	6.5	5.3	1.2	0.0

各府県水試調べによる (速報値)



定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

まき網漁業

	8月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
延隻数	136	82 △	91 △		418	413 →	
ブリ	335	39 △△△	100 △△△		411	266 △	
メジマゴロ	150	0 △△△	0 △△△		444	6 △△△	
マヅ	142	3 △△△	242 ▼		2,297	2,787 ▼	
ガント	107	292 ▼▼	154 ▼		306	353 →	
ブリ	80	4 △△△	66 △		171	182 →	
カマガロ	61	33 △	24 △△		174	110 △	
その他	405	519 ▼	546 ▼		2,340	4,461 ▼	
合計	1,032	561 △	888 →		5,493	7,520 ▼	
1隻当たり	8	7 →	10 ▼		13	18 ▼	

平年値は過去10年平均

その他の漁業

	8月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
<b>刺網漁業</b>							
延隻数	3,936	4,341 →	4,796 ▼		23,743	31,983 ▼	
ウスハル	22	8 △△	4 △△△		144	126 →	
サエ	15	20 ▼	25 ▼		93	142 ▼	
アマダイ類	14	9 △	13 →		53	47 →	
アカガレイ	10	19 ▼	7 △		54	56 →	
ウマヅラハギ	10	17 ▼	17 ▼		73	105 ▼	
キダイ	8	9 →	8 →		36	31 →	
ハツメ	7	8 →	8 ▼		27	58 ▼▼	
マダコ	5	5 →	5 →		20	30 ▼	
マダイ	3	4 →	3 →		29	42 ▼	
ニギス	3	2 △	8 ▼▼		4	18 ▼▼	
その他	102	43 △△	52 △		900	981 →	
合計	199	142 △	151 △		1,434	1,637 →	
1隻当たり	0.05	0.03 △	0.03 △		0.06	0.05 →	
<b>釣り</b>							
延隻数	1,272	1,142 →	1,437 →		8,333	8,512 →	
ホッケ	8	1 △△△	2 △△△		15	12 △	
マダイ	6	4 △	4 △		39	37 →	
ウスハル	3	2 △	4 ▼		20	27 ▼	
マヅ	2	3 ▼	2 →		6	5 △	
ケンサキイ	1	0 △△△	3 ▼▼		2	3 ▼▼	
その他	13	18 ▼	34 ▼▼		220	240 →	
合計	33	27 △	49 ▼		302	324 →	
1隻当たり	0.03	0.02 →	0.03 ▼		0.04	0.04 →	
<b>イカ釣り(小型)</b>							
延隻数	58	168 ▼▼	143 ▼▼		3,639	4,889 ▼	
スルメイカ	4	44 ▼▼	77 ▼▼		1,427	2,544 ▼	
1隻当たり	0.07	0.26 ▼▼	0.54 ▼▼		0.39	0.52 ▼	

※表(比率)の見方

▼▼ ~ 50%      △ 120~199%  
 ▼ 51~ 83%      △△ 200~299%  
 → 84~119%      △△△ 300~

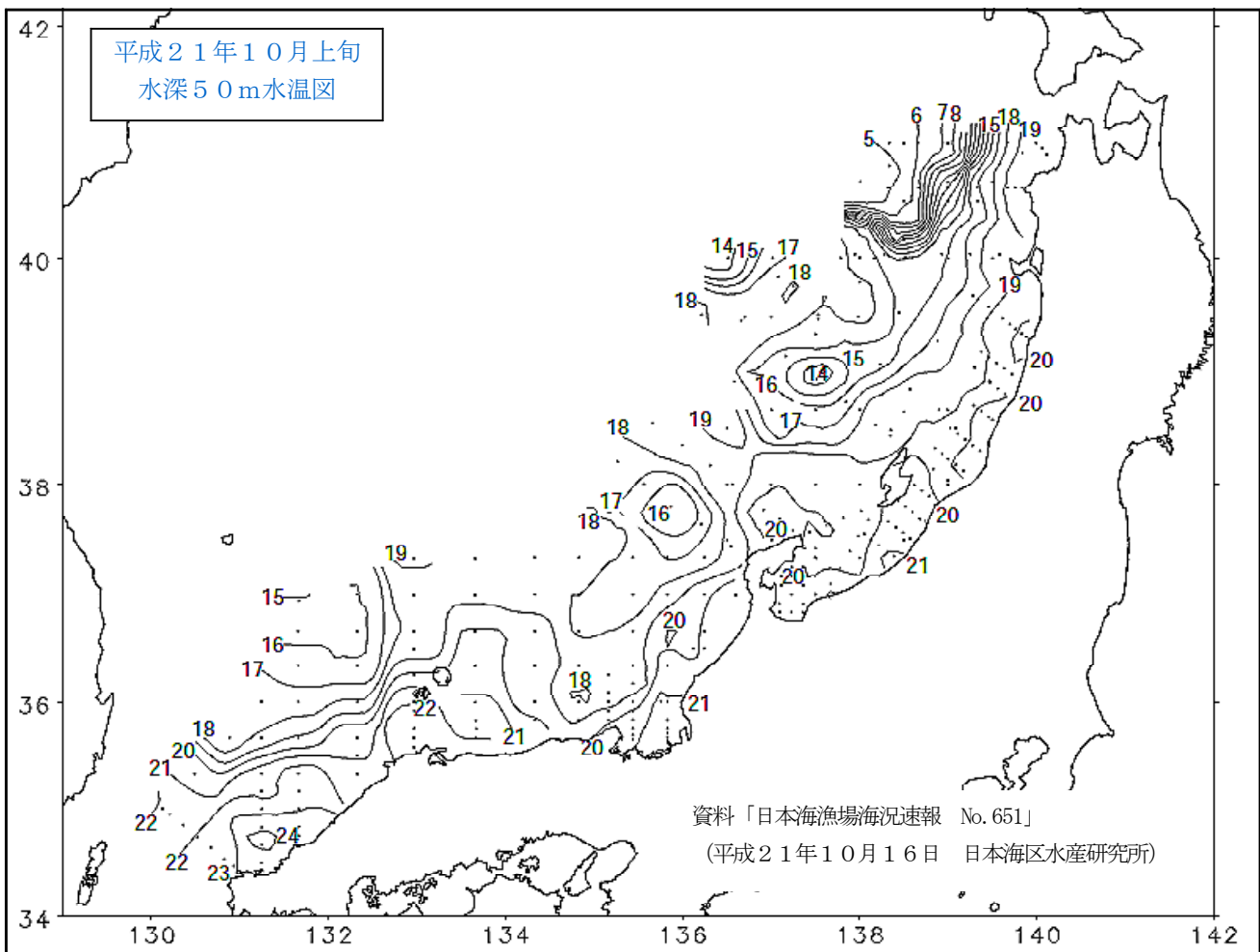
石川県水産総合センター漁海況情報 第160号

電話：0768-62-1324 http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.htm

- 本県周辺海域の水深50m水温は、加賀沖で“平年並み”、能登半島外浦沖で“やや低め”から“かなり低め”、富山湾で“平年並み”。
- 定置網ではマアジ・サワラが平年をかなり上回り、フクラギが平年をやや上回った。
- 底びき網ではハタハタが平年をかなり上回り、ニギス・アマエビが平年をやや上回った。
- まき網ではマアジが平年をやや上回り、マグロ・メジが平年をかなり上回った。

1 水温の状況 - 10月定線観測結果 -

- (1) 本県周辺の水深50m水温は18～20℃台で、加賀沖では“平年並み”、能登半島外浦沖では“やや低め”から“かなり低め”(1～2℃低め)、富山湾では“平年並み”の水温分布を示しています。
- (2) 表面水温は21～22℃台で、加賀沖・能登半島外浦沖・富山湾のいずれの海域も“平年並み”の水温分布を示しています。一方、禄剛埼北方沖合には“かなり低め”(1～2℃低め)の海域がみられます。
- (3) 能登半島西沖の冷水域は、平年に比べてやや岸寄りに分布しています。
- (4) 佐渡島沖の冷水域は、平年に比べて禄剛埼にやや近づいて分布しています。



## 2 漁獲の動向 — 9月の漁獲量から —

### ○ 定置網

主要10港合計は**1,064トン**で、**平年（過去10カ年平均）をやや上回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはマアジの299トンで、平年をかなり上回りました。フクラギは297トンで平年をやや上回りました。サワラは177トンで、富来港・輪島港主体に平年をかなり上回りました。

### ○ 底びき網

主要10港合計は**712トン**で、**平年（過去10カ年平均）をやや上回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはハタハタの146トンで、平年をかなり上回りました。蛸島港・輪島港主体に過去10年間で最も多い漁獲量となりました。ニギスは143トン、アマエビは120トンで、いずれも平年をやや上回りました。アカガレイは38トンで平年並みでした。

### ○ まき網

主要10港合計は**1,255トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはマアジの333トンで、平年をやや上回りました。クロマグロ（20kg以上）は46トン、メジ（クロマグロ20kg未満）は86トンで、七尾港・金沢港で9月中旬まで水揚げが続いたことから、平年をかなり上回りました。

### ○ 刺網

主要10港合計は**142トン**で、**平年をやや上回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはウマヅラハギ（かわはぎ）の27トンで、富来港主体に平年並みでした。ウスメバル（やなぎばちめ）は22トンで、輪島港主体に平年をかなり上回りました。ハツメ（あからばちめ）は14トンで平年をやや上回りました。

### ○ 釣り

釣りの主要10港合計は**24トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはマダイの3トンで、平年をやや下回りました。

**小型いか釣り（スルメイカ）の主要10港合計は7トンで、平年をかなり下回る漁獲量**でした。

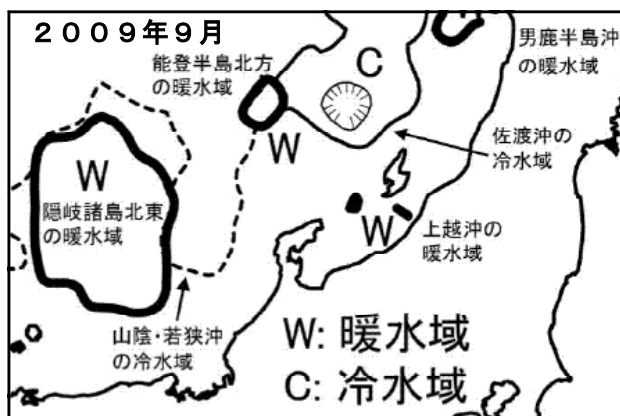
### ■■■■ 「平成21年度第3回日本海海況予報（平成21年10月2日）」の概要 ■■■■

日本海沿岸の道庁水産研究機関と水産総合研究センター日本海区水産研究所が検討し、とりまとめた日本海海況予報が以下のとおり発表されました。

#### 1 今後の見通し（2009年10月～12月）

- (1) 隠岐諸島北東の暖水域は、強い勢力を保ったままほぼ停滞する。能登半島北方の暖水域は佐渡北西に移動する。上越沖の暖水域は消滅する。
- (2) 山陰・若狭沖、佐渡島沖の冷水域の張り出しは、平年並み。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、“平年並み”で経過する。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部及び北部とも“平年並み”～“やや低め”で経過する。

#### 2 9月の海況模式図



# 漁獲量統計 (橋立港、金沢港、富来港、輪島港、蛸島港、鵜飼港、松波港、宇出津港、七尾地区)

## 定置網漁業

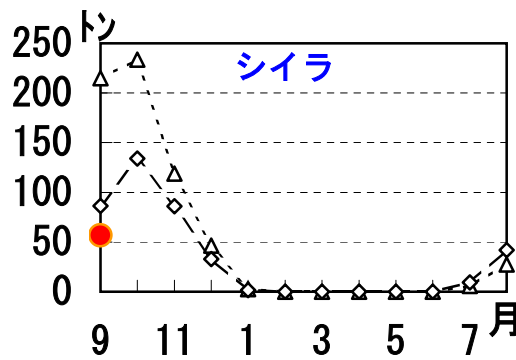
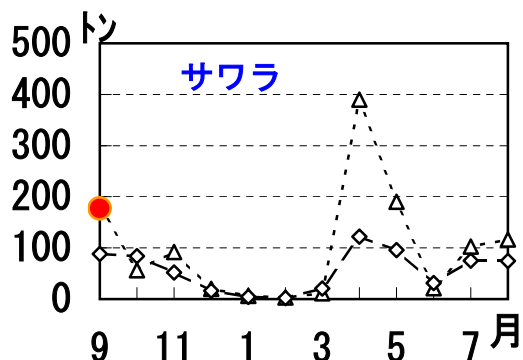
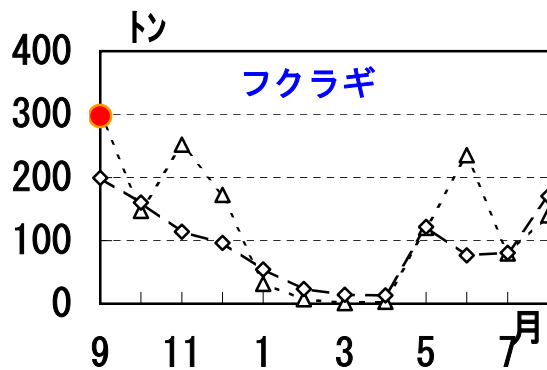
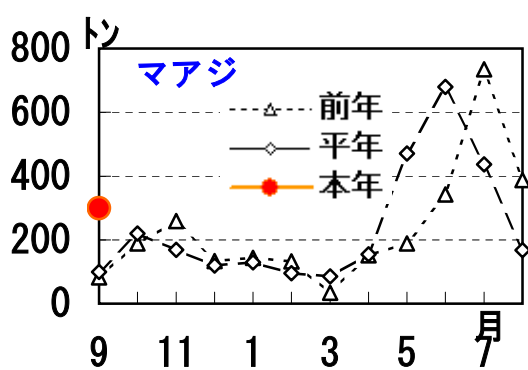
	9月漁獲量 (トン)			累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延統数	1,419	1,429 →	1,324 →	1,419	1,324 →	
マアジ	299	82 △△△	99 △△△	299	99 △△△	
フクラギ	297	302 →	199 △	297	199 △	
サワラ	177	181 →	88 △△	177	88 △△	
カタクチイワシ	119	195 ▼	67 △	119	67 △	
シラ	57	215 ▼▼	86 ▼	57	86 ▼	
マサバ	22	56 ▼▼	50 ▼▼	22	50 ▼▼	
ウマヅラハギ	17	12 △	14 △	17	14 △	
ガンド	13	5 △△	3 △△△	13	3 △△△	
アカマス	9	18 ▼	33 ▼▼	9	33 ▼▼	
ウルメイワシ	6	6 →	8 ▼	6	8 ▼	
ケンサキイカ	4	1 △△△	2 △△	4	2 △△	
マダイ	4	8 ▼▼	6 ▼	4	6 ▼	
アオリイカ	3	19 ▼▼	13 ▼▼	3	13 ▼▼	
ヒラマサ	1	1 △	2 ▼	1	2 ▼	
ヒラメ	1	1 →	1 △	1	1 △	
その他	34	100 ▼▼	88 ▼▼	34	88 ▼▼	
合計	1,064	1,203 →	760 △	1,064	760 △	
1隻当たり	0.75	0.84 →	0.57 △	0.75	0.57 △	

平年値は過去10年平均  
単位：トン

## 他府県漁獲状況 (9月：定置網)

	フクラギ	サワラ	アジ類	カタクチイワシ	シラ	アカマス	カハギ類	アオリイカ
舞鶴	108.3	188.9	46.8	16.1	38.1	2.7	2.4	0.0
氷見	103.6	11.2	77.7	54.4	25.1	43.2	5.2	4.1

各府県水試調べによる (速報値)

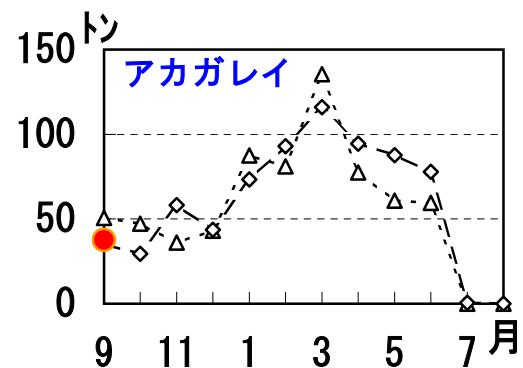
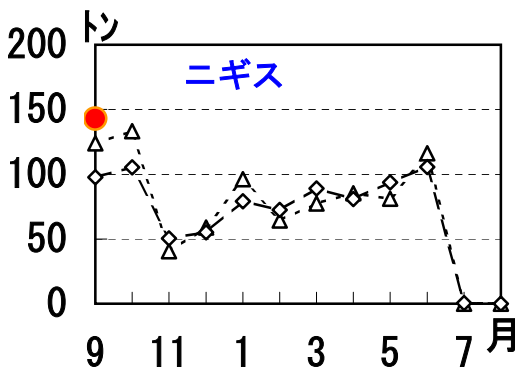
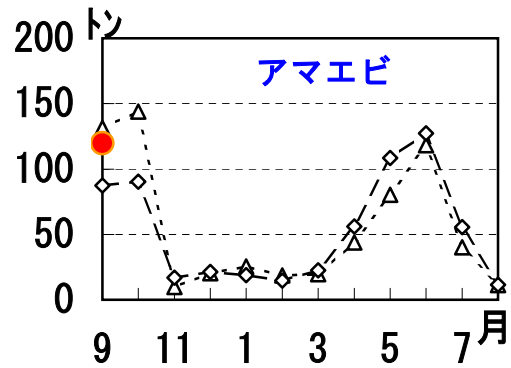
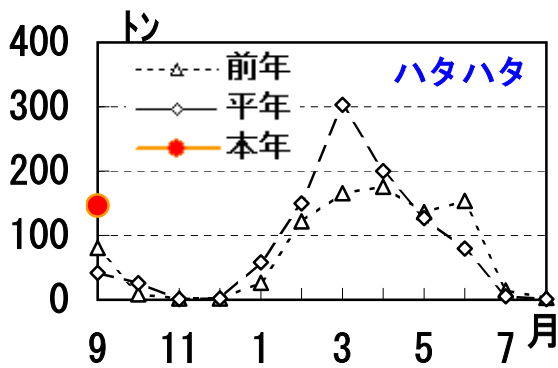


定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

底びき網漁業

	9月漁獲量 (トン)			累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延隻数	1,491	1,346 →	1,479 →	1,491	1,479 →	
ハタハタ	146	80 △	42 △△△	146	42 △△△	
ニギス	143	124 →	98 △	143	98 △	
アマエビ	120	131 →	87 △	120	87 △	
アカガレイ	38	51 ▼	35 →	38	35 →	
アンコウ	30	20 △	48 ▼	30	48 ▼	
ムシガレイ	25	28 →	23 →	25	23 →	
ヤナギムシガレイ	21	19 →	21 →	21	21 →	
ホッケ	17	4 △△△	11 △	17	11 △	
マダラ	17	10 △	5 △△△	17	5 △△△	
マガレイ	15	22 ▼	21 ▼	15	21 ▼	
ガスエビ	12	11 →	13 →	12	13 →	
キタイ	9	6 △	10 →	9	10 →	
ソウハチ	8	6 △	11 ▼	8	11 ▼	
ヒレグロ	8	7 →	5 △	8	5 △	
ヤリイカ	7	16 ▼▼	23 ▼▼	7	23 ▼▼	
イカ類	7	1 △△△	10 ▼	7	10 ▼	
マコガレイ	5	2 △△	4 △	5	4 △	
マダイ	4	6 ▼	8 ▼	4	8 ▼	
アムツ	4	2 △	4 →	4	4 →	
その他	77	72 →	84 →	77	84 →	
合計	712	619 →	562 △	712	562 △	
1隻当たり	0.48	0.46 →	0.38 △	0.48	0.38 △	

平年値は過去10年平均





まき網漁業

	9月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)			
	本年	前年	(比率)	平年	(比率)	本年	平年	(比率)
延隻数	133	136	→	110	△	551	523	→
マヅ	333	150	△△△	206	△	2,631	2,994	→
フナギ	268	543	▼▼	170	△	679	435	△
ガンド	256	976	▼▼	452	▼	562	805	▼
ブリ	108	190	▼	61	△	279	243	→
マルウダ	92	0	△△△△	0	△△△△	96	3	△△△△
メヅマグロ	86	0	△△△△	0	△△△△	530	6	△△△△
クマガロ	46	0	△△△△	0	△△△△	220	110	△
その他	397	244	△	485	▼	2,876	4,598	▼
合計	1,255	1,913	▼	1,313	→	6,747	8,832	▼
1隻当たり	9	14	▼	12	▼	12	17	▼

平年値は過去10年平均

その他の漁業

	9月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)			
	本年	前年	(比率)	平年	(比率)	本年	平年	(比率)
刺網漁業								
延隻数	3,122	3,431	→	2,924	→	26,865	34,907	▼
ウマヅラハギ	27	24	→	26	→	100	132	▼
ウスハル	22	6	△△△	3	△△△	166	129	△
ハツメ	14	22	▼	9	△	40	68	▼
アマダイ類	13	9	△	10	△	65	57	→
キダイ	9	10	→	6	△	45	37	△
サエ	5	5	→	6	→	99	148	▼
アカレイ	5	6	→	2	△△	59	58	→
ハイ類	3	2	△	1	△△△	17	6	△△△
マダイ	3	5	▼	4	▼	32	47	▼
メダイ	3	2	△	1	△	20	34	▼
その他	39	45	→	35	→	931	1,027	→
合計	142	136	→	104	△	1,576	1,742	→
1隻当たり	0.05	0.04	→	0.04	△	0.06	0.05	→
釣り								
延隻数	1,256	1,566	▼	1,571	▼	9,589	10,083	→
マダイ	3	5	▼	5	▼	42	43	→
ウスハル	2	4	▼	2	△	22	28	▼
サワ	2	1	△△△	0	△△△	3	1	△△△
アカツ	2	1	→	1	△	2	3	▼
クダイ	1	1	△	1	△	1	1	△
その他	13	19	▼	27	▼▼	254	283	→
合計	24	31	▼	36	▼	325	359	→
1隻当たり	0.02	0.02	→	0.02	▼	0.03	0.04	→
イカ釣り(小型)								
延隻数	36	40	→	102	▼▼	3,675	4,991	▼
スルメイカ	7	1	△△△	88	▼▼	1,435	2,631	▼
1隻当たり	0.20	0.01	△△△	0.86	▼▼	0.39	0.53	▼

※表(比率)の見方

▼▼ ~ 50%                      △ 120~199%  
 ▼ 51~ 83%                      △△ 200~299%  
 → 84~119%                      △△△ 300~

# 石川県水産総合センター漁海況情報 第161号

電話：0768-62-1324 <http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.htm>

## 底びき網漁業の水揚げ状況について（平成20年漁期）

- ① 集計期間：平成20年漁期（平成20年7月～21年6月）
- ② 集計対象港と漁業種類：石川県主要港の沖合底びき網漁業と小型底びき網第一種漁業  
（橋立港・金沢港・富来港・輪島港・蛸島港・鶴飼港・松波港・宇出津港地区）

### 1 水揚げ量

石川県内主要港における平成20年漁期の総水揚げ量は5,389トンで、平年（過去10年の平均）の89%、前年の75%でした（図1）。

燃油高騰対策のため操業日数が減少したことなどにより、総水揚げ量は過去10年間で最も少ない値となりました。

### 2 水揚げ金額

総水揚げ金額は36億4千万円で、平年の88%、前年の91%でした（図1）。

平成14年漁期以降、横這いで推移しており、平成7年漁期の60%程度の水準となっています。

### 3 年間延べ出漁回数

年間延べ出漁回数は11,255回で、平年の80%、前年の84%でした（図2）。

操業隻数の減少が続いていることに加え、橋立港・金沢港・輪島港などで、燃油消費量を削減するため休漁等の取り組みが行われたことにより、前年をかなり下回りました。

### 4 出漁1回当たりの水揚げ金額

出漁1回当たりの平均水揚げ金額は32万円で、平年の110%、前年の108%でした（図2）。平成13年漁期まで減少傾向が続いていましたが、その後はやや上向きで推移しています。

### 5 県内の産地価格（底びき網漁業）

県内産地価格の推移について、平成7年漁期を100とした産地物価指数でみると、平成20年漁期は75で前年並みでしたが（図3）、過去10年間では低下傾向にあります。

景気は平成19年漁期の後半から後退期に入っており、産地価格への影響が懸念されます。

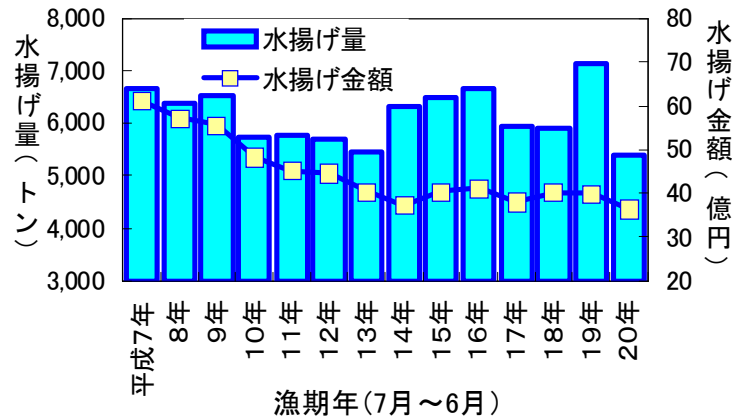


図1 底びき網漁業の水揚げ量と金額

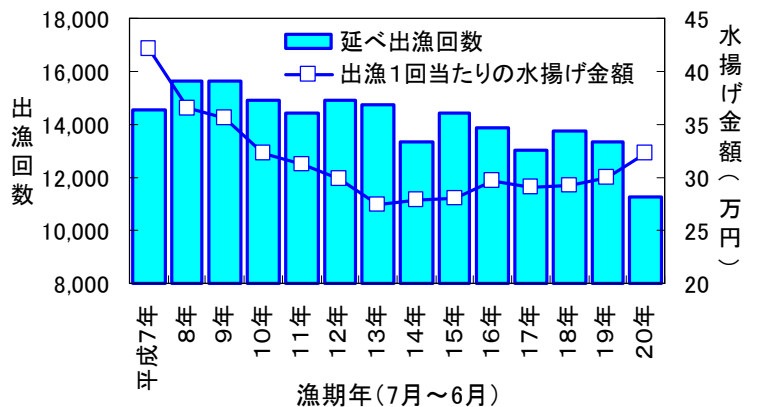


図2 底びき網漁業の出漁回数と出漁1回当たりの水揚げ金額

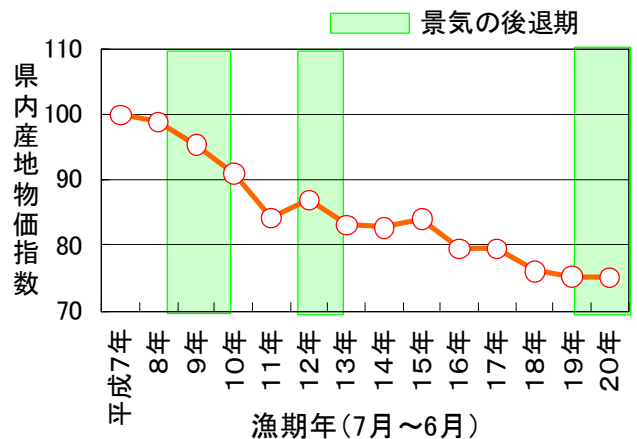


図3 底びき網漁業の産地物価指数の推移

## 6 主要魚種の水揚げ状況 (図4)

### (1) ずわいがに・こうばこがに

ずわいがに (雄) の出漁1回当たりの漁獲量は65kgで、平年の121%、前年の117%でした。平成12年漁期以降は、低い水準で推移していますが、加賀沖では増加傾向にあります。

こうばこがにの出漁1回当たりの漁獲量は129kgで、平年の170%、前年の115%でした。加賀沖・能登沖ともに平成14年以降増加傾向にあり、過去10年間では最も高い値となりました。

### (2) あまえび

出漁1回当たりの漁獲量は60kgで、平年の133%、前年の111%でした。近年では、平成16年漁期以降、増加傾向にあります。

### (3) にぎす

出漁1回当たりの漁獲量は78kgで、平年の131%、前年の111%でした。平成14年漁期には平成7年漁期の51%にまで減少しましたが、その後は増加傾向にあります。

### (4) はたはた

出漁1回当たりの漁獲量は78kgで、平年の118%、前年の64%でした。蛸島港・輪島港で、2月から6月にかけて3歳魚(平成18年生まれ)主体に好漁が続きました。

### (5) かれい類

あかがれいの出漁1回当たりの漁獲量は60kgで、平年の116%、前年の122%でした。

めがれい(やぎムガレい)の出漁1回当たりの漁獲量は7kgで、平年の84%、前年の88%でした。

すがれい(ムガレい)の出漁1回当たりの漁獲量は8kgで、平年の116%、前年の101%でした。

## 7 主要魚種の産地価格

主要魚種の平均単価の推移を図5に示しました。平成7年漁期の平均単価を100とした指数でみると、平成20年漁期は、あまえびが71、ずわいがに(雄)が111、にぎすが84で、いずれも前年並みでした。

一方、こうばこがには43、はたはたは34で前年を上回り、あかがれいは63で前年を下回りました。

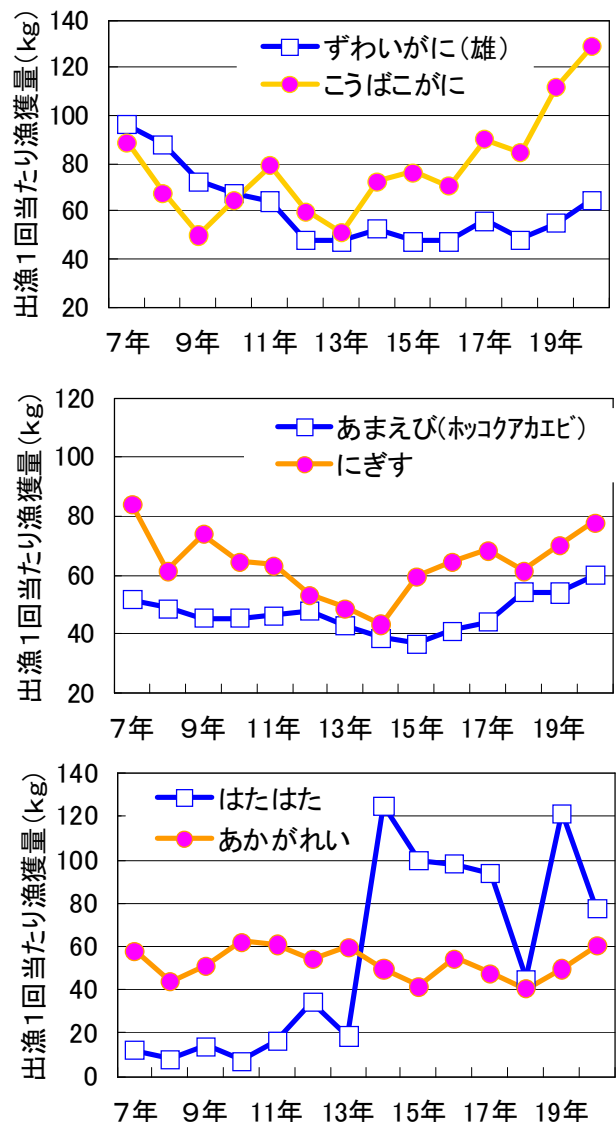


図4 主要魚種の出漁1回当たり漁獲量

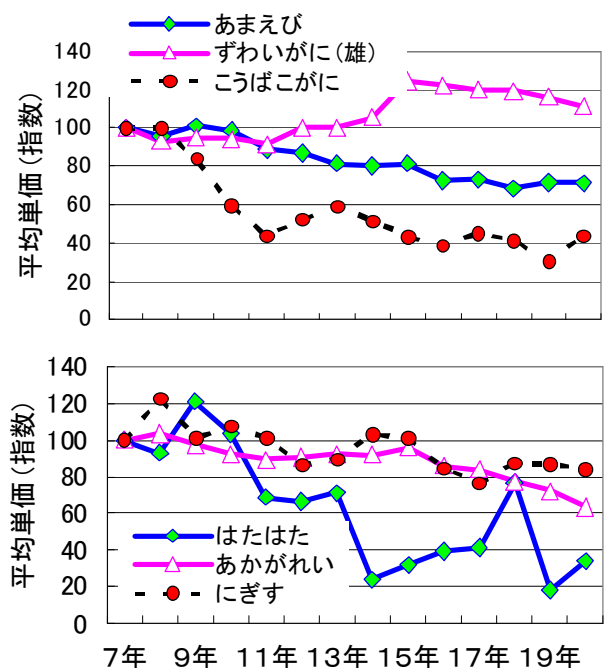


図5 主要魚種の平均単価(指数)の推移 (平成7年=100)

## 定置網漁業の水揚げ状況について（平成20年漁期）

- ① 集計期間：平成20年漁期（平成20年9月～21年8月）
- ② 漁業種類：石川県内主要港の大型定置網漁業と小型定置網漁業
- ③ 集計対象港：橋立港・金沢港・富来港・輪島港・蛸島港・鶴飼港・松波港・宇出津港・七尾地区

### 1 漁獲量

石川県内主要港における平成20年漁期の総漁獲量は15,036トンで、平年（過去10カ年の平均）の111%、前年の106%でした（図1）。

平成7年漁期以降の推移を見ると、まいわし資源の減少により平成12年漁期まで減少傾向にありましたが、その後はぶり・さわら・かたくちいわし等の好漁により増加傾向にあります。

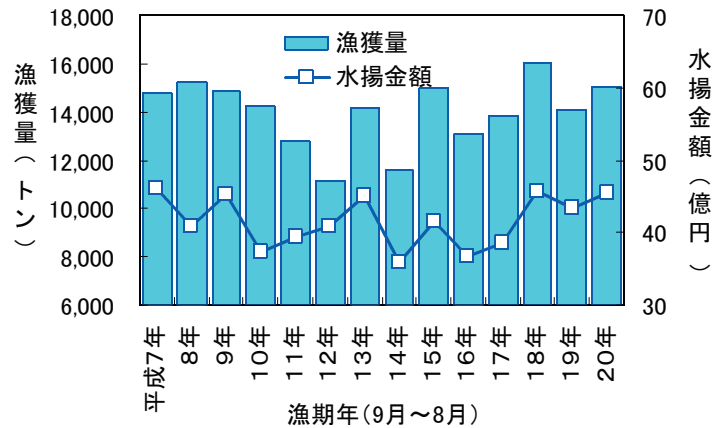


図1 定置網漁業の漁獲量と金額の推移

### 2 水揚金額

水揚金額は45.4億円で、平年の112%、前年の105%でした（図1）。

水揚金額に占める割合が最も多いのは、ぶり類（ぶり・がんど・ふくらぎ）の32%、次いでさわらの16%で、いずれも好漁となったことから、全体でも平年をやや上回りました。

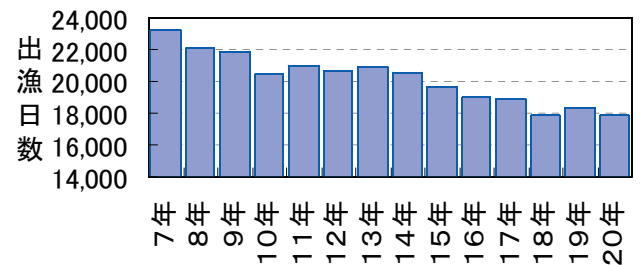


図2 定置網漁業の年間出漁日数の推移

### 3 年間出漁日数

年間延べ出漁日数は17,846日で、平年の90%、前年の98%でした（図2）。

操業隻数の減少が続いていることから、平成7年漁期の77%程度の水準となっています。

### 4 産地価格

県内産地価格（定置網漁業）の推移について、平成7年漁期を100とした産地物価指数で見ると、平成20年漁期は74で前年並みでした（図3）。平成18年漁期以降、横這いで推移していますが、景気は平成19年漁期から後退期に入っており、産地価格への影響が懸念されます。

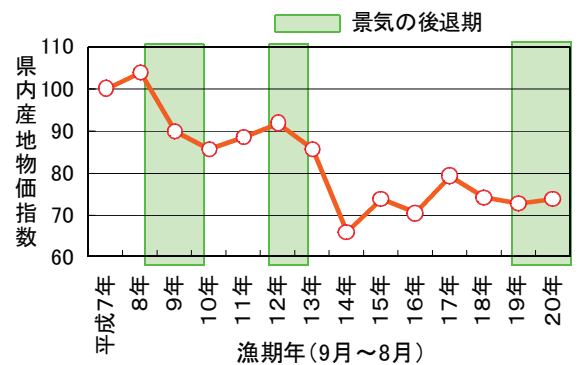


図3 定置網漁業の産地物価指数の推移

## 5 主要魚種の漁獲量(図4)

### (1) ぶり・がんど・ふくらぎ

ぶりの漁獲量は677トンで、平年の142%、前年の182%と好漁でした。「寒ぶり」の漁期である12~2月の漁獲量は430トンで、漁期の始まりが遅れたものの、12月下旬以降にまとまった水揚げが続いたことから、平年をやや上回りました。

がンドの漁獲量は191トンで、平年の113%、前年の61%でした。

ふくらぎ(こぞくらを含む。)の漁獲量は1,197トンで、平年の158%、前年の132%でした。

### (2) まあじ・まさば・まいわし

まあじの漁獲量は2,781トンで、平年の98%、前年の123%でした。盛漁期である5・6月の漁獲量は過去10年間で最も少ない値でしたが、7・8月は豆あじ主体で好漁となりました。

まさばの漁獲量は467トンで、平年の69%、前年の64%でした。

まいわしの漁獲量は207トンで、平年の49%、前年の42%でした。

### (3) さわら・するめいか

さわら(さごしを含む。)の漁獲量は1,190トンで、平年の216%、前年の97%でした。

するめいかの漁獲量は1,155トンで、平年の144%、前年の210%でした。盛漁期である冬季(1~3月)の漁獲量は前年に続いて平年を下回りましたが、5・6月は宇出津港・七尾地区主体に過去10年間で最も多い漁獲量となりました。

### (4) くろまぐろ・まだい・あおりいか

くろまぐろ(めじまぐろを含む。)の漁獲量は166トンで、平年の147%、前年の55%でした。まぐろ銘柄(20kg以上)は、記録的な豊漁となった前年には及びませんが、5・6月主体に平年をやや上回りました。

まだいの漁獲量は212トンで、平年の95%、前年の57%でした。

あおりいかの漁獲量は174トンで、平年の100%、前年の77%でした。

## 6 主要魚種の産地価格

主要魚種の年平均単価(1キログラム当たり)の推移を図5に示しました。平成20年漁期は、さわら(さごしを含む。)が589円、まあじが216円、ふくらぎが323円で、いずれも前年を上回りました。

一方、ぶりは1,021円、がんどは415円で前年を下回り、くろまぐろ(めじまぐろを含む。)は1,457円で前年並みでした。

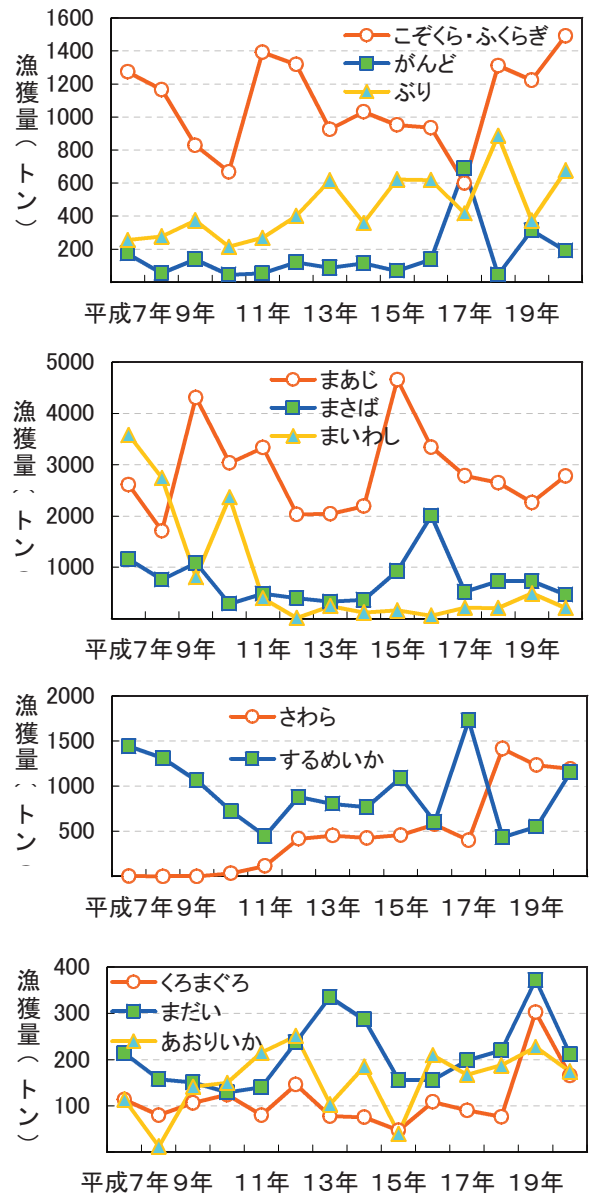


図4 主要魚種の漁獲量の推移

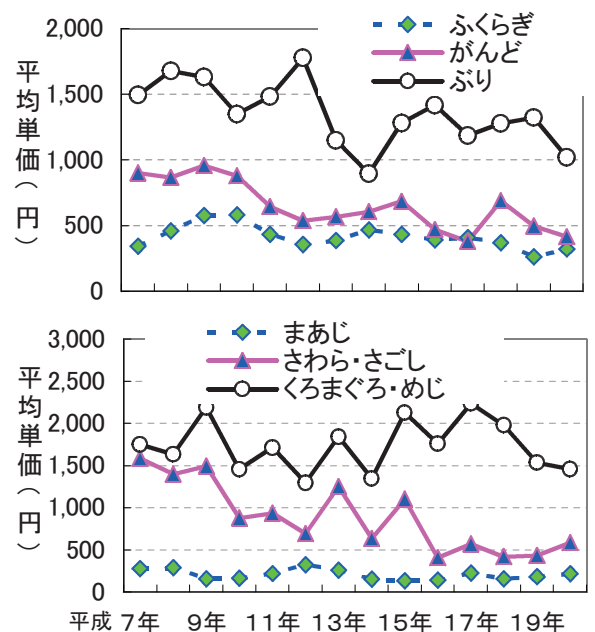


図5 主要魚種の平均単価の推移

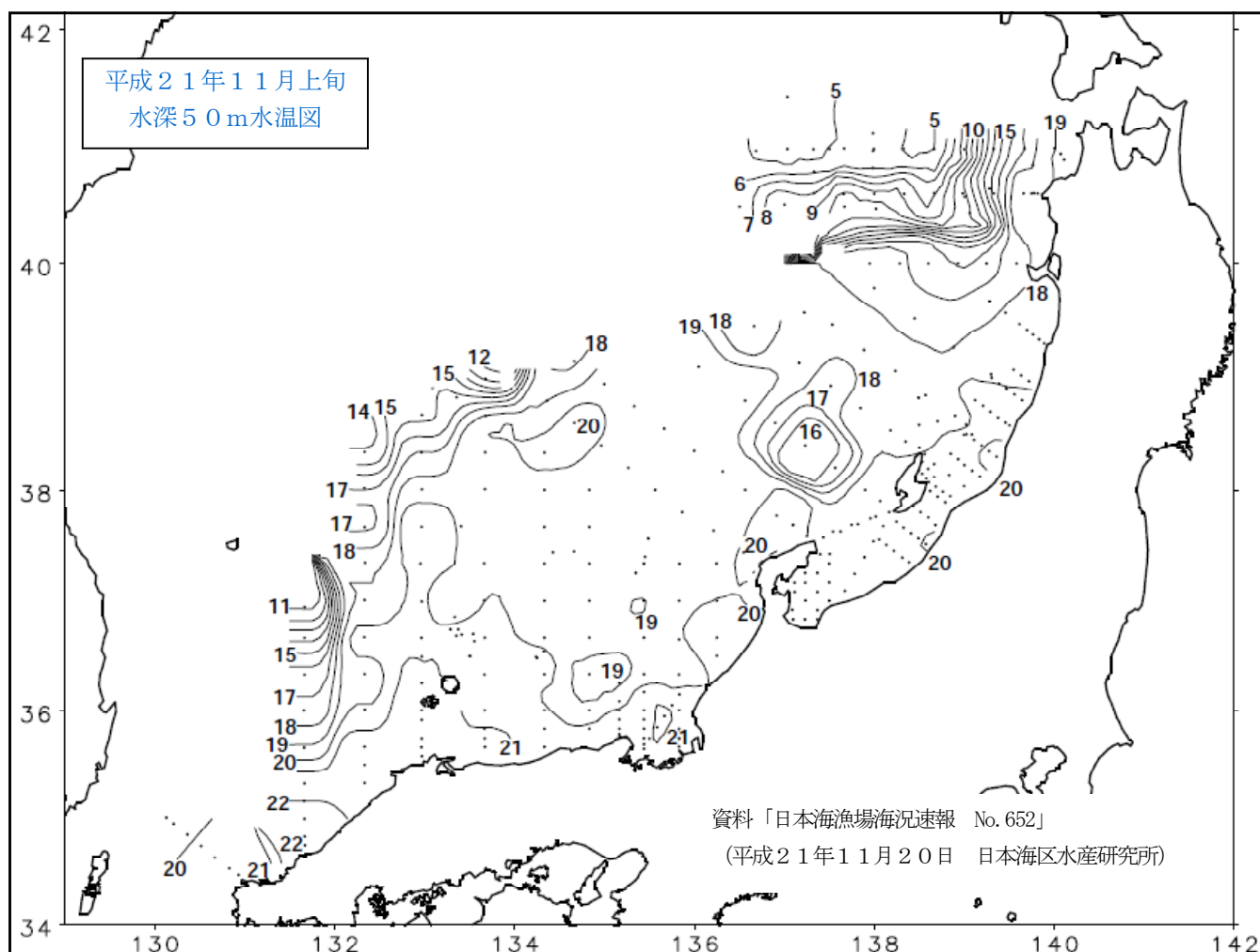
# 石川県水産総合センター漁海況情報 第163号

電話：0768-62-1324 <http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.htm>

- 本県周辺海域の水深50m水温は、加賀沖で“平年並み”、能登半島外浦沖で“平年並み”から“やや高め”、富山湾で“やや低め”。
- 定置網ではマアジ・サワラが平年をやや上回り、フクラギが平年並み。
- 底びき網ではニギス・アマエビが平年並み、ハタハタ・アカガレイが平年をやや上回った。
- まき網ではガンドが平年をやや上回り、マアジが平年をやや下回った。

## 1 水温の状況 — 11月定線観測結果 —

- (1) 本県周辺の水深50m水温は19～20℃台で、加賀沖では“平年並み”、能登半島外浦沖では“平年並み”から“やや高め”（0～1℃高め）、富山湾では“やや低め”（0～1℃低め）の水温分布を示しています。
- (2) 表面水温は19～20℃台で、加賀沖・能登半島外浦沖では“やや高め”（0～1℃高め）、富山湾では“平年並み”の水温分布を示しています。
- (3) 能登半島西沖の冷水域は、平年に比べて岸寄りに分布しています。
- (4) 佐渡島沖の冷水域は、平年に比べて禄剛埼に近づいて分布しています。



## 2 漁獲の動向 — 10月の漁獲量から —

### ○ 定置網

主要10港合計は**1,275トン**で、**平年並み（過去10カ年平均）の漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはマアジの420トンで、平年をやや上回りました。フクラギは151トンで平年並みでした。サワラは117トンで、富来港・輪島港主体に平年をやや上回りました。アオリイカは16トンで平年をかなり下回り、過去10年間では平成15年に次ぐ低い値となりました。

### ○ 底びき網

主要10港合計は**561トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはニギスの96トンで、平年並みでした。アマエビは89トンで平年並みでした。ハタハタは41トン、アカガレイは36トンで、いずれも平年をやや上回りました。

### ○ まき網

主要10港合計は**974トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはガンドの531トンで、平年をやや上回りました。マアジは155トンで平年をやや下回りました。マサバは112トンで平年をかなり下回りました。

### ○ 刺網

主要10港合計は**121トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはウマヅラハギ（かわはぎ）の28トンで、平年をやや下回りました。ウスメバル（やなぎばちめ）は25トンで、輪島港主体に平年をかなり上回りました。ハツメ（あからばちめ）は10トンで平年をやや下回りました。

### ○ 釣り

釣りの主要10港合計は**24トン**で、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはフクラギの4トンで、平年並みでした。

**小型いか釣り（スルメイカ）の主要10港合計は1トンで、平年をかなり下回る漁獲量**でした。

### ■■■■ 加能ガニ（ズワイガニ）の水揚げ状況（11月6日～20日の速報値） ■■■■

石川県沖では11月6日からズワイガニの漁期が始まりました。

11月20日までの県内主要港（橋立港・金沢港・富来港・輪島港・蛸島港）におけるズワイガニ（雄）の漁獲量は71トンで、平年並み（過去10カ年平均）でした（前年比86%、平年比91%）。

また、この期間のコウバコガニ漁獲量は106トンで、平年並みでした（前年比80%、平年比94%）。

延べ出漁回数は前年並みで、出漁1回当たりの漁獲量は、ズワイガニ（雄）・コウバコガニともに前年及び平年を下回りました。

橋立港・金沢港・富来港・輪島港・蛸島港のズワイガニ・コウバコガニ漁獲量  
集計期間:11月6日～20日

	漁獲量(トン)					出漁1回当たりの平均漁獲量	
	本年	前年	前年比	平年	平年比	前年比	平年比
ズワイガニ(雄)	71	83	86%	79	91%	86%	92%
コウバコガニ	106	133	80%	113	94%	80%	80%
合計	177	216	82%	191	93%	82%	84%

# 漁獲量統計 (橋立港、金沢港、富来港、輪島港、蛸島港、鵜飼港、松波港、宇出津港、七尾地区)

## 定置網漁業

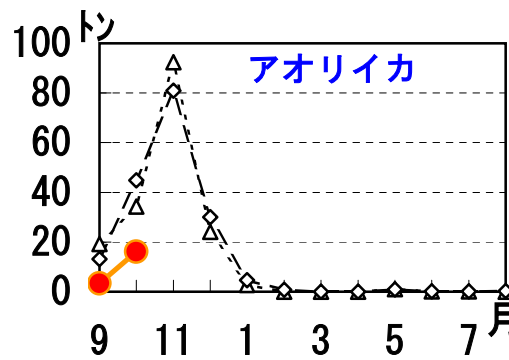
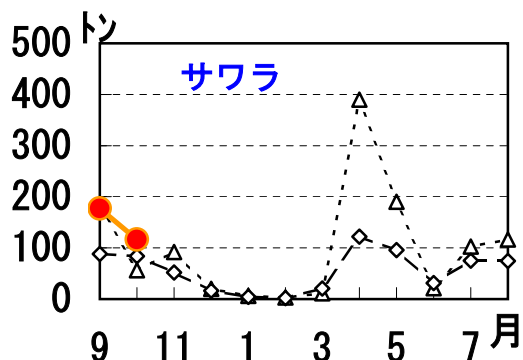
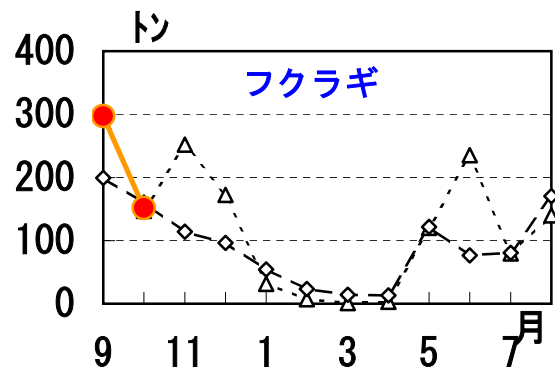
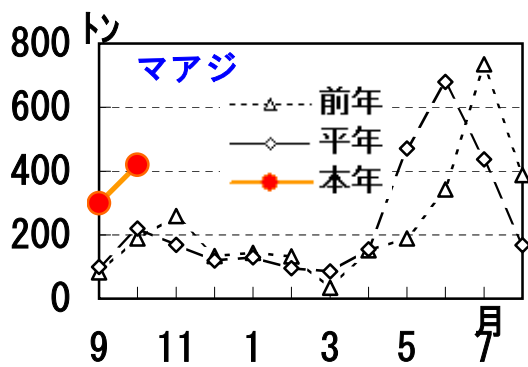
	10月漁獲量 (トン)				累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	前年 (比率)	
延統数	1,365	1,620 →	1,739 ▼	2,784	3,063	→	
マアジ	420	189 △△	220 △	719	319 △△		
フクラギ	151	147 →	160 →	449	360 △		
マルソウダ	122	66 △	221 ▼	123	234 ▼		
サワラ	117	57 △△	84 △	293	172 △		
ウルメイワシ	114	15 △△△	24 △△△	120	32 △△△		
マサバ	70	43 △	48 △	92	98 →		
マイワシ	55	11 △△△	4 △△△	56	9 △△△		
ガンド	34	6 △△△	8 △△△	47	12 △△△		
シラ	34	234 ▼▼	134 ▼▼	91	220 ▼▼		
アカマス	31	62 ▼	94 ▼▼	40	127 ▼▼		
ウマヅラハギ	26	21 △	31 →	44	45 →		
マダイ	23	7 △△△	9 △△	27	15 △		
アオリイカ	16	34 ▼▼	45 ▼▼	19	58 ▼▼		
ソデイカ	2	1 △△	5 ▼▼	2	5 ▼▼		
メジマゴロ	0	10 ▼▼	10 ▼▼	1	14 ▼▼		
その他	59	54 →	144 ▼▼	217	281 ▼		
合計	1,275	956 △	1,241 →	2,339	2,001 →		
1隻当たり	0.93	0.59 △	0.71 △	0.84	0.65 △		

平年値は過去10年平均  
単位：トン

## 他府県漁獲状況 (10月：定置網)

	フクラギ	マルソウダ	アジ類	サワラ	アカマス	カクチイワシ	シラ	アオリイカ
舞鶴	255.7	0.0	64.5	152.1	14.2	48.8	34.3	0.2
氷見	69.2	225.1	131.1	24.3	81.6	18.2	6.2	33.0

各府県水試調べによる (速報値)



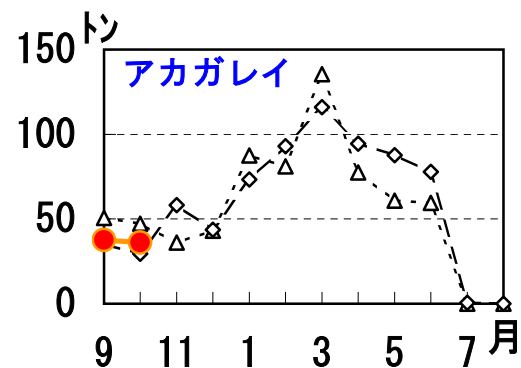
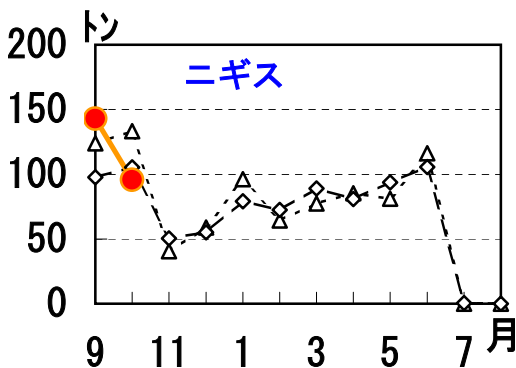
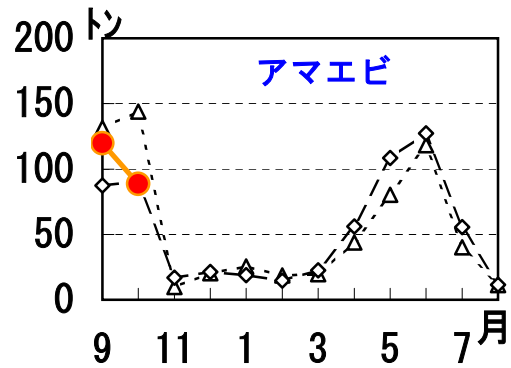
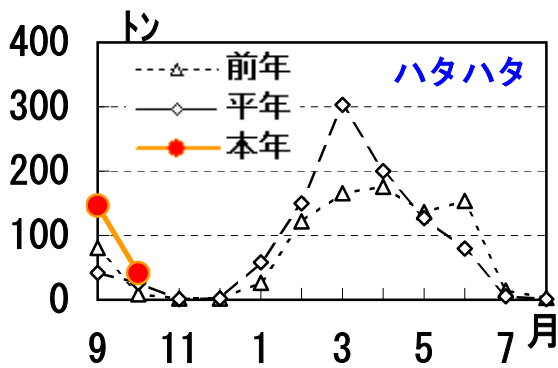
定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化



底びき網漁業

	10月漁獲量 (トン)			累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延隻数	1,209	1,337 →	1,545 ▼	2,700	3,024 →	
ニギス	96	133 ▼	105 →	239	203 →	
アマエビ	89	144 ▼	90 →	209	178 →	
ホッケ	71	20 ▲▲▲	31 ▲▲	88	43 ▲▲	
ハタハタ	41	8 ▲▲▲	26 ▲	188	67 ▲▲	
アカガレイ	36	47 ▼	30 ▲	74	65 →	
アンコウ	33	40 ▼	65 ▼	62	113 ▼	
マダラ	30	13 ▲▲	7 ▲▲▲	47	11 ▲▲▲	
ハツメ	15	16 →	7 ▲▲	18	12 ▲	
ムシガレイ	14	27 ▼	21 ▼	40	43 →	
ヤナギムシガレイ	14	16 →	20 ▼	34	41 ▼	
マガレイ	13	10 ▲	20 ▼	28	41 ▼	
ソウハチ	10	4 ▲▲	7 ▲	19	18 →	
ガスエビ	8	15 ▼	13 ▼	20	25 ▼	
ヒレグロ	6	7 →	6 →	14	11 ▲	
ヤリイカ	6	12 ▼▼	39 ▼▼	13	62 ▼▼	
キタイ	4	5 ▼	7 ▼	13	17 ▼	
アカムツ	3	3 ▲	3 →	7	7 →	
カニ類	3	3 →	2 ▲	6	4 ▲	
マダイ	3	5 ▼	6 ▼	7	14 ▼	
その他	65	83 ▼	106 ▼	148	196 ▼	
合計	561	612 →	611 →	1,272	1,174 →	
1隻当たり	0.46	0.46 →	0.40 →	0.47	0.39 ▲	

平年値は過去10年平均



底びき網における主要魚種別漁獲量の経月変化

まき網漁業

	10月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)			
	本年	前年	(比率)	平年	(比率)	本年	平年	(比率)
延隻数	129	127	→	101	△	680	624	→
ガンド	531	459	→	314	△	1,093	1,119	→
マヅ	155	276	▼	267	▼	2,786	3,261	→
マサバ	112	194	▼	263	▼▼	673	2,749	▼▼
フクラギ	84	847	▼▼	371	▼▼	782	868	→
ブリ	45	100	▼▼	75	▼	324	318	→
マダイ	22	3	△△△	6	△△△	273	124	△△
サワ	20	36	▼	23	→	43	29	△
その他	176	1,024	▼▼	579	▼▼	3,170	3,126	→
合計	974	1,952	▼▼	1,423	▼	7,722	10,255	▼
1隻当たり	8	15	▼▼	14	▼	11	16	▼

平年値は過去10年平均

その他の漁業

	10月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)			
	本年	前年	(比率)	平年	(比率)	本年	平年	(比率)
刺網漁業								
延隻数	2,567	2,458	→	2,669	→	29,432	37,575	▼
ウマヅラハギ	28	14	△△	38	▼	128	170	▼
ウスハル	25	1	△△△	4	△△△	192	133	△
ハツメ	10	11	→	16	▼	50	83	▼
ホッケ	7	1	△△△	1	△△△	20	14	△
メダイ	6	0	△△△	2	△△	26	36	▼
アマダイ類	6	7	→	8	▼	71	64	→
アカガレイ	4	4	△	2	△△	63	60	→
キダイ	4	7	▼	5	▼	50	43	→
マダイ	3	3	→	4	▼	35	51	▼
バイ類	2	1	△△	1	△△△	19	7	△△
その他	26	25	→	41	▼	1,043	1,203	→
合計	121	73	△	122	→	1,697	1,864	→
1隻当たり	0.05	0.03	△	0.05	→	0.06	0.05	→
釣り								
延隻数	1,082	1,815	▼	2,145	▼	10,671	12,228	→
フクラギ	4	4	→	4	→	64	28	△△
マダイ	2	5	▼▼	7	▼▼	44	49	→
ガンド	2	6	▼▼	9	▼▼	43	40	→
ブリ	2	0	△△△	3	▼	35	16	△△
ウスハル	2	1	△	1	△	24	29	▼
その他	13	17	▼	35	▼▼	140	255	▼
合計	24	33	▼	58	▼▼	349	417	→
1隻当たり	0.02	0.02	△	0.03	▼	0.03	0.03	→
イカ釣り(小型)								
延隻数	8	0	△△△	110	▼▼	3,720	5,101	▼
スルメイカ	1	0	△△△	92	▼▼	1,435	2,724	▼
1隻当たり	0.10	1.00	▼▼	0.84	▼▼	0.39	0.53	▼

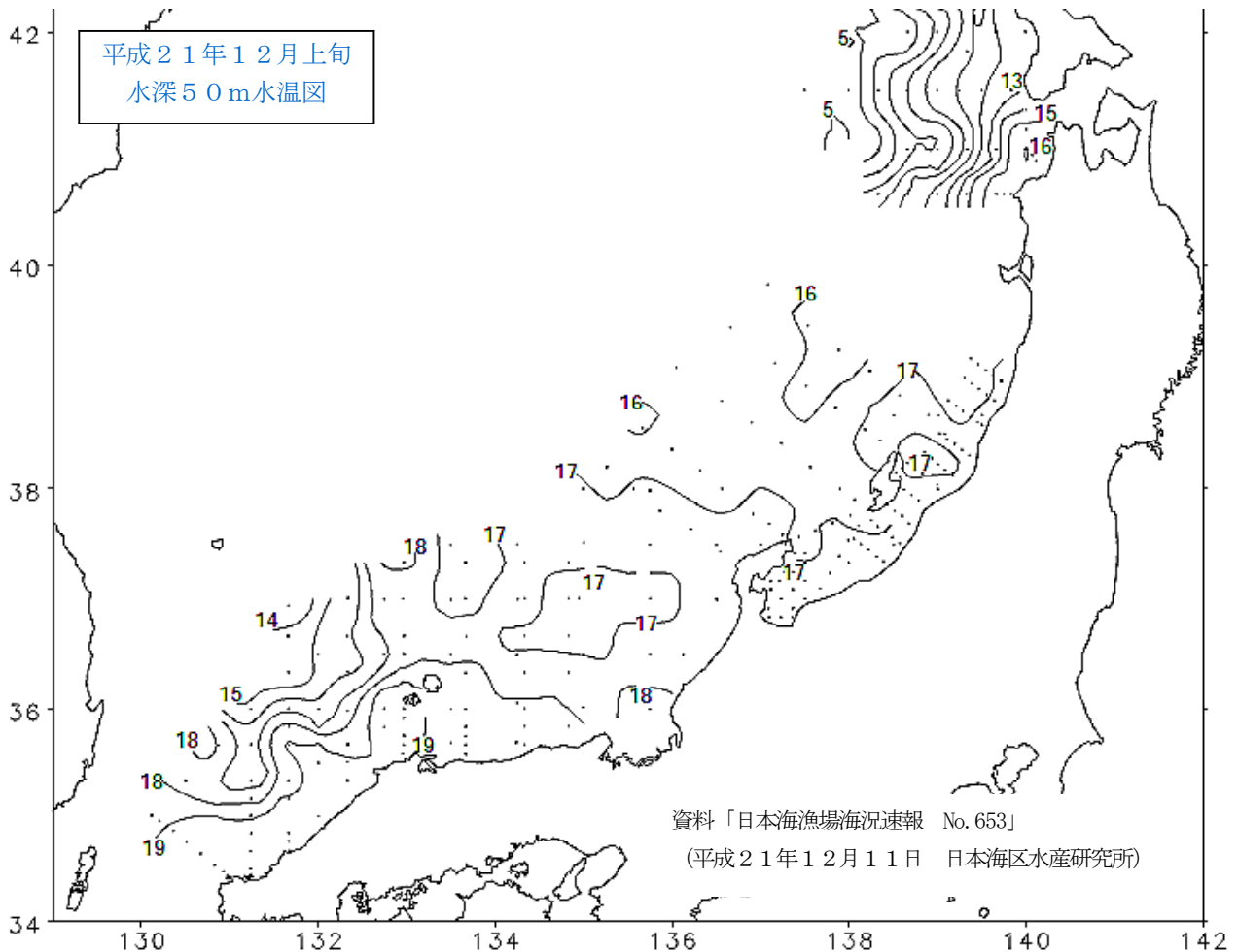
※表(比率)の見方

▼▼ ~ 50%      △ 120~199%  
 ▼ 51~ 83%      △△ 200~299%  
 → 84~119%      △△△ 300~

- 本県周辺海域の水深50m水温は、加賀沖・能登半島外浦沖・富山湾のいずれの海域でも“平年並み”。
- 定置網ではマアジ・ブリが平年をかなり上回り、フクラギが平年をやや上回った。
- 底びき網ではズワイガニ・コウバコガニが平年並み、マダラが平年をかなり上回った。
- まき網ではブリ・ガンドが平年をかなり上回り、フクラギが平年をかなり下回った。

### 1 水温の状況 — 12月定線観測結果 —

- (1) 本県周辺の水深50m水温は16～17℃台で、加賀沖・能登半島外浦沖・富山湾のいずれの海域でも“平年並み”の水温分布を示しています。
- (2) 表面水温は16～17℃台で、加賀沖・能登半島外浦沖では“平年並み”、富山湾では“平年並み”から“やや高め”(0～1℃高め)の水温分布を示しています。
- (3) 能登半島西沖の冷水域は、平年に比べて岸寄りに分布しています。
- (4) 佐渡島沖の冷水域は、平年に比べて禄剛埼に近づいて分布しています。



## 2 漁獲の動向 — 11月の漁獲量から —

### ○ 定置網

主要10港合計は**1,281トン**で、**平年並み（過去10年平均）の漁獲量**でした。  
最も多く漁獲されたのはマアジの425トンで、平年をかなり上回りました。  
フクラギは151トンで平年をやや上回りました。  
ブリは48トンで、11月上旬に宇出津港でまとまった水揚げが見られたことから、平年をかなり上回りました。  
アオリイカは57トンで平年をやや下回りました。9月の初漁期から低調に推移しており、11月までの累計は、過去10年間では平成15年に次ぐ低い値となりました。

### ○ 底びき網

主要10港合計は**466トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。  
最も多く漁獲されたのはコウバコガニの161トンで、平年並みでした。ズワイガニは130トンで平年並みでした。海域別にみると、加賀沖ではコウバコガニが前年の76%、ズワイガニが前年の91%、能登沖ではコウバコガニが前年の121%、ズワイガニが前年の154%で、能登沖で比較的好調となっています。  
ニギスは39トンで平年をやや下回りました。  
マダラは38トンで平年をかなり上回りました。

### ○ まき網

主要10港合計は**875トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。  
最も多く漁獲されたのはガンドの462トンで、平年をかなり上回りました。  
ブリは182トンで、11月下旬に金沢港・七尾港でまとまった水揚げがみられたことから、平年をかなり上回りました。  
フクラギは115トン、マアジは79トンで、いずれも平年をかなり下回りました。

### ○ 刺網

主要10港合計は**160トン**で、**平年をやや上回る漁獲量**でした。  
最も多く漁獲されたのはマダラの87トンで、前年をかなり上回りました。  
ウマヅラハギ（かわはぎ）は19トンで平年をやや下回りました。  
ウスメバル（やなぎばちめ）は10トンで平年をかなり上回りました。

### ○ 釣り

釣りの主要10港合計は**65トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。  
最も多く漁獲されたのはマダラの40トンで、輪島港主体に平年をやや上回りました。  
小型いか釣り（スルメイカ）の主要10港合計は**0.1トン**で、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。

# 漁獲量統計 (橋立港、金沢港、富来港、輪島港、蛸島港、鵜飼港、松波港、宇出津港、七尾地区)

## 定置網漁業

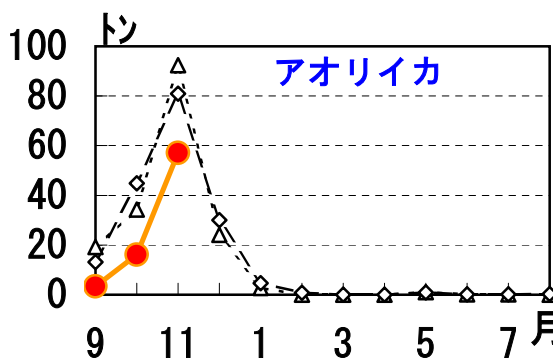
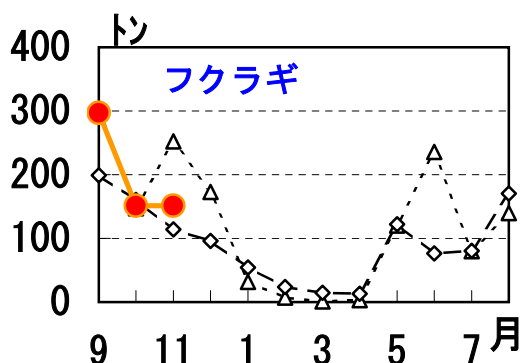
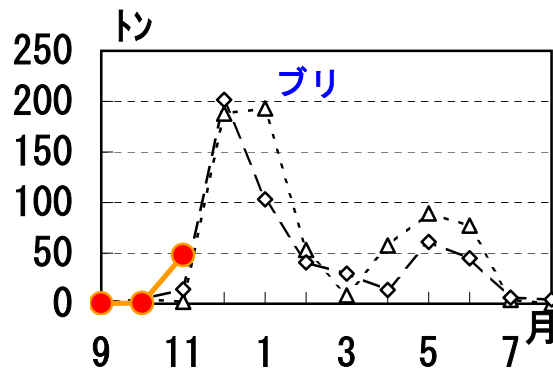
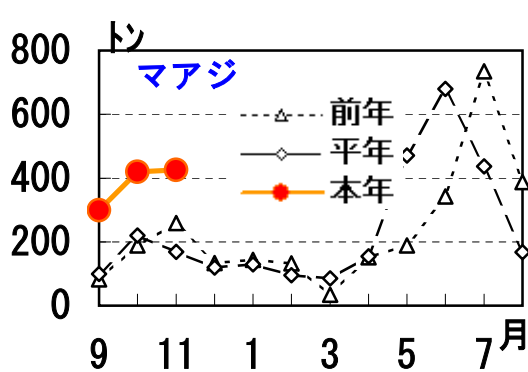
	11月漁獲量 (トン)				累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
延続数	1,317	1,381 →	1,583 →		4,101	4,646 →	
マアジ	425	259 △	169 △△		1,144	488 △△	
マルソウダ	247	86 △△	211 →		370	445 →	
フクラギ	151	252 ▼	114 △		600	473 △	
アオリカ	57	92 ▼	81 ▼		76	139 ▼	
サワ	54	92 ▼	52 →		347	224 △	
マサバ	52	42 △	27 △		144	125 →	
ブリ	48	2 △△△	14 △△△		49	20 △△	
シラ	46	119 ▼▼	86 ▼		137	306 ▼▼	
ウルメイワシ	40	6 △△△	13 △△△		159	44 △△△	
アカマス	38	51 ▼	79 ▼▼		79	206 ▼▼	
ウマヅラハギ	28	30 →	44 ▼		72	88 ▼	
マダイ	18	14 △	11 △		45	26 △	
カクチイワシ	13	94 ▼▼	37 ▼▼		133	137 →	
マイワシ	12	1 △△△	1 △△△		68	9 △△△	
ガンド	4	9 ▼	6 ▼		52	18 △△	
その他	46	81 ▼	147 ▼▼		145	344 ▼▼	
合計	1,281	1,229 →	1,092 →		3,620	3,093 →	
1隻当たり	0.97	0.89 →	0.69 △		0.88	0.67 △	

平年値は過去10年平均  
単位：トン

## 他府県漁獲状況 (11月：定置網)

	マルソウダ	フクラギ	アジ類	サワ	アオリカ	カクチイワシ	シラ	カハギ類
舞鶴	83.3	104.5	78.4	58.6	10.1	16.5	7.8	18.3
氷見	587.6	86.1	77.2	42.6	51.4	25.6	26.4	9.9

各府県水試調べによる (速報値)

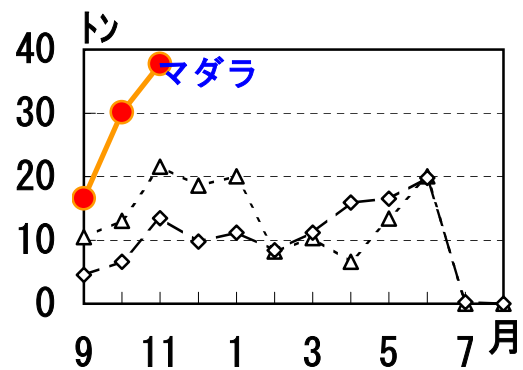
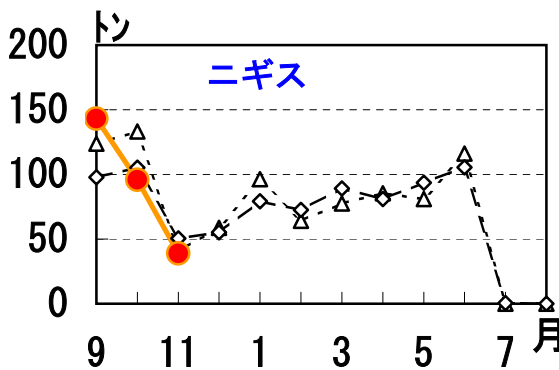
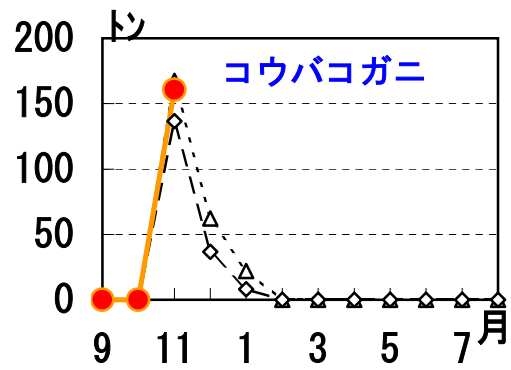
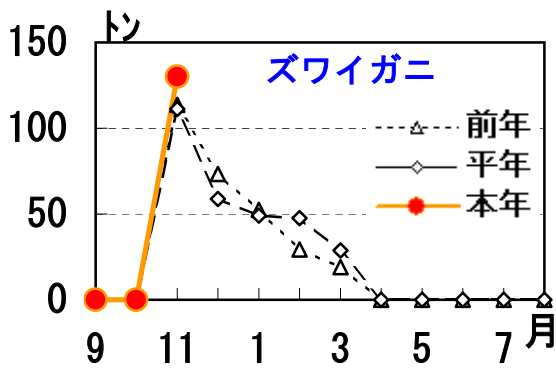


定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

底びき網漁業

	11月漁獲量 (トン)				累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
延隻数	1,206	969 △	1,191 →		3,906	4,215 →	
コウバコ	161	167 →	137 →		161	137 →	
ズワイガニ	130	114 →	111 →		130	111 →	
ニギス	39	41 →	50 ▼		278	253 →	
マダラ	38	22 △	13 △△		84	25 △△△	
アカガレイ	29	36 ▼	58 ▼▼		102	123 →	
アマエビ	12	10 △	17 ▼		220	195 →	
アンコウ	6	3 △	16 ▼▼		69	130 ▼	
ガスエビ	6	5 →	7 →		26	32 ▼	
ホッケ	6	2 △△△	8 ▼		94	50 △	
ハツメ	5	2 △△	9 ▼		23	21 →	
ヒレゴロ	4	6 ▼	9 ▼▼		18	20 →	
カニ類	3	7 ▼▼	3 △		10	7 △	
ハタハタ	2	2 →	1 △		189	69 △△	
マダイ	2	3 ▼	2 ▼		9	16 ▼	
ヤナギムシガレイ	1	1 →	5 ▼▼		35	47 ▼	
ヤリイカ	1	1 →	5 ▼▼		14	67 ▼▼	
ムシガレイ	1	1 →	3 ▼▼		40	46 →	
貝類	1	1 →	2 ▼▼		1	3 ▼▼	
その他	20	27 ▼	44 ▼▼		234	322 ▼	
合計	466	451 →	500 →		1,738	1,673 →	
1隻当たり	0.39	0.47 →	0.42 →		0.44	0.40 →	

平年値は過去10年平均



底びき網における主要魚種別漁獲量の経月変化

まき網漁業

	11月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)			
	本年	前年	(比率)	平年	(比率)	本年	平年	(比率)
延隻数	123	116	→	102	△	803	726	→
ガント	462	270	△	158	△△	1,554	1,278	△
ブリ	182	193	→	51	△△△	506	369	△
フナギ	115	516	▼▼	344	▼▼	898	1,212	▼
マヅ	79	254	▼▼	400	▼▼	2,864	3,661	▼
マサバ	25	120	▼▼	375	▼▼	698	3,124	▼▼
サワ	8	5	△	7	→	51	36	△
マダイ	2	1	△△	2	△	275	126	△△
その他	116	392	▼▼	814	▼▼	5,639	8,764	▼
合計	875	1,370	▼	1,367	▼	8,597	11,623	▼
1隻当たり	7	12	▼	13	▼	11	16	▼

平年値は過去10年平均

その他の漁業

	11月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)			
	本年	前年	(比率)	平年	(比率)	本年	平年	(比率)
刺網漁業								
延隻数	1,710	1,101	△	1,938	→	31,142	39,513	▼
マダラ	87	16	△△△	---	---	154	79	△
ウマヅラハギ	19	6	△△△	28	▼	147	198	▼
ウスメバル	10	0	△△△	2	△△△	201	135	△
ガント	6	1	△△△	2	△△△	33	76	▼▼
アンコウ	5	7	▼	33	▼▼	15	57	▼▼
ハツメ	5	0	△△△	7	▼	55	90	▼
アマダイ類	3	1	△△	3	→	74	67	→
マダイ	3	0	△△△	2	△	29	38	▼
マダイ	2	1	△	2	→	38	53	▼
キダイ	2	2	△	2	→	52	45	→
その他	18	13	△	38	▼▼	1,060	1,145	→
合計	160	47	△△△	118	△	1,857	1,982	→
1隻当たり	0.09	0.04	△△	0.06	△	0.06	0.05	→
釣り								
延隻数	889	1,315	▼	1,608	▼	11,560	13,835	→
マダラ	40	0	△△△	23	△	42	34	△
フナギ	8	5	△	12	▼	73	40	△
ガント	5	2	△△	7	▼	47	46	→
サワ	2	2	→	2	△	6	4	△
ホッケ	1	0	△△△	1	△	17	15	→
その他	9	17	▼	31	▼▼	229	352	▼
合計	65	27	△△	75	→	414	491	→
1隻当たり	0.07	0.02	△△△	0.05	△	0.04	0.04	→
イカ釣り(小型)								
延隻数	2	6	▼▼	76	▼▼	3,722	5,176	▼
スルメイカ	0.1	11	▼▼	184	▼▼	1,435	2,908	▼▼
1隻当たり	0.03	1.91	▼▼	2.42	▼▼	0.39	0.56	▼

※表(比率)の見方

▼▼	~ 50%	△	120~199%
▼	51~ 83%	△△	200~299%
→	84~119%	△△△	300~

# 石川県水産総合センター漁海況情報 第165号

電話：0768-62-1324 <http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.htm>

定置網ではマアジが平年をかなり上回り、ブリが平年をかなり下回った。  
 底びき網ではズワイガニ(雄)、コウバコガニが平年をやや上回った。  
 刺網ではマダラが平年をかなり上回り、ウマズラハギ(かわはぎ)が平年並み。

## 1 地先水温の状況（平成21年1～12月）

平成21年に外浦海域地先（加賀市橋立港・志賀町赤住地先）、内浦海域地先（能登町宇出津港）、七尾湾地先（七尾市石崎港）で実施した水温観測結果（月別の平均水温と平年差）をお知らせします。

### ○冬（1月～3月） — やや高めからかなり高め —



平均水温は、外浦海域・内浦海域ともやや高めからかなり高めで推移しました。特に2月は気温がかなり高めで推移したこともあり、志賀町地先では過去17年間で最も高い平均水温を記録しました。

### ○春（4月～6月） — 平年並み —



外浦海域の平均水温は平年並みからやや高めで推移しました。内浦海域では5月まで平年並みで推移しましたが、6月はやや低めとなりました。

### ○夏（7月～9月） — かなり低め —



平均水温は、外浦海域・内浦海域ともやや低めからかなり低めで推移しました。曇りや雨の日が多く、気温がかなり低めで推移したこともあり、橋立港では8月に過去20年間で最も低い平均水温を記録し、志賀町地先・宇出津港でも平年を2℃以上下回りました。

### ○秋（10月～12月） — 平年並み —



夏の低温傾向は、10月に入り平年並みへ戻りました。外浦海域では12月まで平年並みで推移し、内浦海域では12月にやや高めとなりました。

平成21年の石川県沿岸における地先水温と平年差

観測点		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
外浦	橋立港	月平均(°C)	10.9	10.7	10.9	13.2	17.0	20.1	23.8	24.6	23.6	20.6	17.2	13.5
		平年差(°C)	0.1	0.9	0.3	0.0	0.2	-0.5	-1.2	-2.7	-1.3	-0.3	0.2	0.2
		評価	→	△△	→	→	→	→	▼	▼▼▼	▼	→	→	→
志賀町地先	月平均(°C)	11.1	10.6	10.7	12.7	16.5	19.5	23.1	24.3	22.8	20.2	17.1	13.5	
	平年差(°C)	0.6	1.3	0.8	0.6	0.8	0.1	-0.5	-2.0	-1.3	-0.3	0.3	0.2	
	評価	△	△△△	△△	△	△	→	→	▼▼	▼	→	→	→	
内浦	宇出津港	月平均(°C)	13.1	11.5	10.8	12.2	15.8	19.2	22.7	24.7	23.8	21.3	18.3	15.7
		平年差(°C)	1.0	0.9	0.5	0.3	0.2	-0.6	-0.9	-2.2	-1.4	-0.4	0.0	0.6
		評価	△	△	△	→	→	▼	▼	▼▼	▼	→	→	△
七尾湾	石崎港	月平均(°C)	8.4	8.3	9.9	13.5	17.3	21.7	24.9	28.2	25.2	20.5	15.2	11.0
		平年差(°C)	-0.1	0.4	-0.3	0.5	0.0	-0.2	-0.8	-1.4	0.0	0.4	0.1	0.4
		評価	→	→	→	△	→	→	▼	▼	→	△	→	→

平年差は過去20年間の平均水温との差  
 （志賀町については17年間の平均を用いた。）

凡 例			
△△△	はなはだ高い	▼	やや低い
△△	かなり高い	▼▼	かなり低い
△	やや高い	▼▼▼	はなはだ低い
→	平年並み		



## 2 漁獲の動向 — 12月の漁獲量から —

### ○定置網

主要10港合計は**977トン**で、**平年（過去10カ年平均）並みの漁獲量**でした。  
最も多く漁獲されたのはマアジの351トンで、宇出津港・七尾地区主体に平年をかなり上回りました。フクラギは171トンで平年をやや上回りました。ブリは19トンで平年をかなり下回りました。

### ○底びき網

主要10港合計は**263トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。  
最も多く漁獲されたズワイガニは、雄（加能ガニ）が68トン、雌（コウバコガニ）が60トンで、いずれも平年をやや上回りました。11月からの累計は雄が平年の117%、雌が平年の129%でした。アマエビは27トン、マダラは13トンで、いずれも平年をやや上回りました。

### ○まき網

主要10港合計は**632トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。  
最も多く漁獲されたのはブリの448トンで、平年をかなり上回りました。ガンドは84トンで平年をやや上回りました。フクラギは39トンで平年をかなり下回りました。

### ○刺網

主要10港合計は**93トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。  
最も多く漁獲されたのはマダラの47トンで、輪島港主体に平年をかなり上回りました。ウマヅラハギ（かわはぎ）は12トンで平年並みでした。アンコウは6トンで平年をかなり下回りました。

### ○釣り

**釣りの**主要10港合計は**57トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。  
最も多く漁獲されたのはマダラの44トンで、平年をかなり上回りました。フクラギは2トンで平年をかなり下回りました。  
**いか釣り（小型）**の主要10港合計は**2トン**で、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。

### ■■■ 寒ブリの水揚げ状況（1月中旬までの速報値） ■■■

石川県沿岸の定置網漁業では寒ブリの漁期を迎えていますが、漁獲量は平年をかなり下回っています。

今漁期は11月上旬に宇出津港でまとまった水揚げがありましたが、その後は低調に推移しており、蛸島港・宇出津港・七尾地区における12月の漁獲量は19トンで、平年をかなり下回りました。1月の漁獲量（20日までの速報値）も平年を下回る水準で推移しています。

定置網漁業によるブリの漁獲量

	12月の漁獲量(トン)					1月の速報値(トン)	
	本年	前年	前年比	平年	平年比	本年	平年
蛸島港	0	1	0%	5	0%	0	3
宇出津港	9	67	13%	75	12%	2	27
七尾地区	10	120	8%	114	9%	10	53
計	19	188	10%	194	10%	12	86

20日まで 31日まで

# 漁獲量統計 (橋立港、金沢港、富来港、輪島港、蛸島港、鶴飼港、松波港、宇出津港、七尾地区)

## 定置網漁業

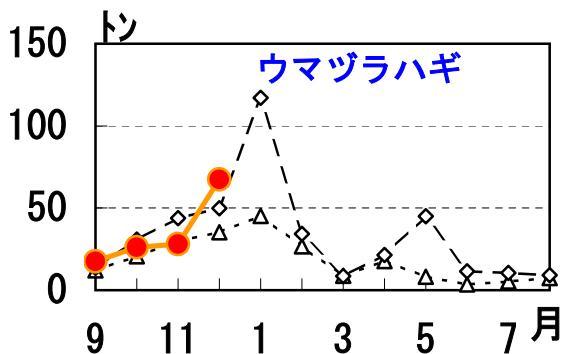
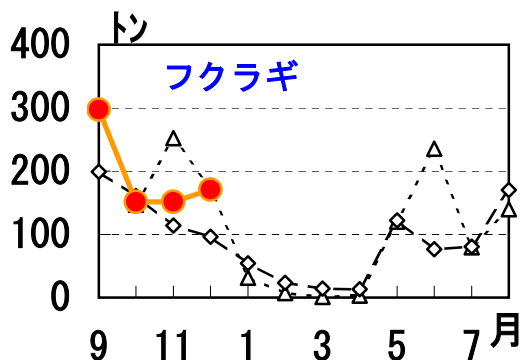
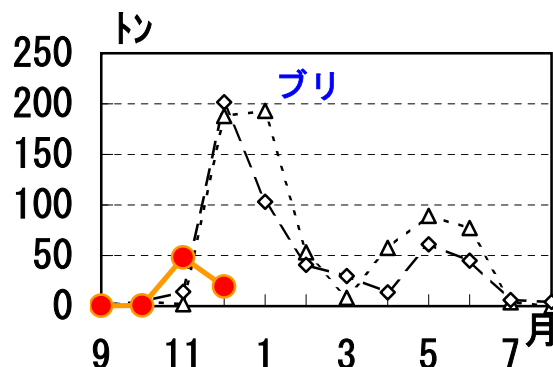
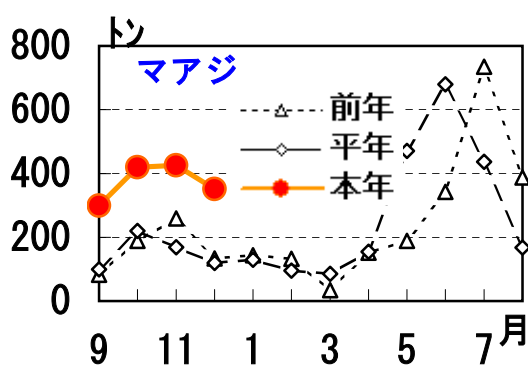
	12月漁獲量 (トン)				累計漁獲量(9月より)			
	本年	前年	(比率)	平年	(比率)	本年	平年	(比率)
延統数	1,526	1,433	→	1,610	→	5,627	6,256	→
マアジ	351	134	△△	120	△△	1,496	608	△△
フクラギ	171	173	→	96	△	770	570	△
マルソウダ	144	147	→	228	▼	514	673	▼
ウマヅラハギ	67	35	△	50	△	139	138	→
マダイ	31	26	→	17	△	75	43	△
サワラ	30	20	△	16	△	377	240	△
シラ	27	46	▼	33	▼	164	339	▼▼
マサバ	26	25	→	33	▼	170	158	→
ブリ	19	188	▼▼	201	▼▼	68	221	▼▼
カタクチイワシ	16	90	▼▼	116	▼▼	148	252	▼
アオリイカ	13	24	▼	30	▼▼	89	169	▼
スルメイカ	9	7	△	16	▼	12	23	▼
アカマス	6	12	▼	18	▼▼	85	223	▼▼
ウルメイワシ	5	2	△△	11	▼▼	164	56	△△
ヒラメ	3	2	△	2	△	7	5	△
その他	60	78	▼	128	▼▼	317	488	▼
合計	977	1,009	→	1,114	→	4,598	4,208	→
1隻当たり	0.64	0.70	→	0.69	→	0.82	0.67	△

平年値は過去10年平均  
単位：トン

## 他府県漁獲状況 (12月：定置網)

	マルソウダ	アジ類	フクラギ	サワラ	カワハギ類	ブリ、ガント	カタクチイワシ	アオリイカ
舞鶴	125.2	49.6	45.7	95.0	67.1	41.1	0.0	6.6
氷見	522.1	217.7	113.0	20.2	11.1	2.0	38.7	16.6

各府県水試調べによる (速報値)

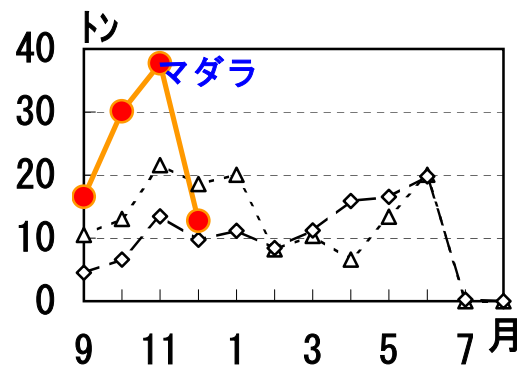
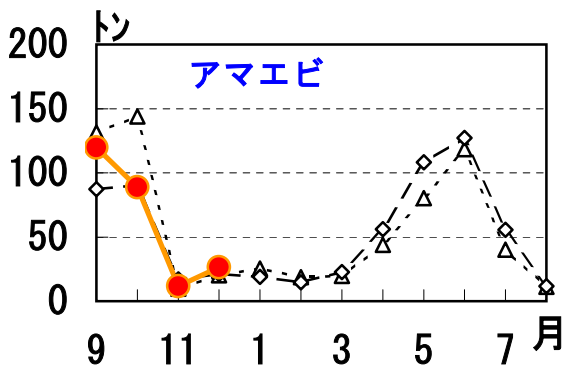
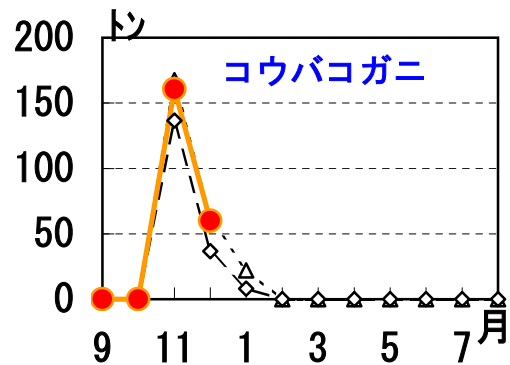
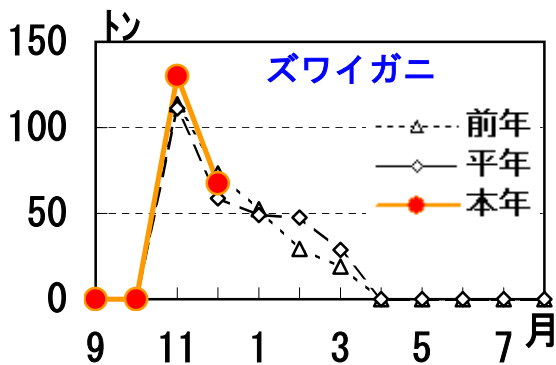


定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

底びき網漁業

	12月漁獲量 (トン)			累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延隻数	996	982 →	1,034 →	4,902	5,249 →	
ズワイガニ	68	73 →	56 △	198	167 →	
コウバコ	60	62 →	37 △	221	173 △	
ニギス	33	59 ▼	55 ▼	311	309 →	
アマエビ	27	20 △	21 △	247	216 →	
アカガレイ	14	43 ▼▼	44 ▼▼	116	166 ▼	
マダラ	13	19 ▼	10 △	97	34 △△	
ガスイビ	12	12 →	13 →	37	46 ▼	
ハツメ	4	7 ▼	6 ▼	28	27 →	
アンコウ	4	5 →	22 ▼▼	73	152 ▼▼	
ヒレグロ	2	4 ▼▼	6 ▼▼	20	26 ▼	
ヤリイカ	2	4 ▼▼	7 ▼▼	16	75 ▼▼	
マダイ	2	4 ▼▼	4 ▼▼	11	20 ▼	
ヤナギムシガレイ	2	2 →	5 ▼▼	37	51 ▼	
カニ類	1	3 ▼▼	2 ▼▼	11	10 →	
ムシガレイ	1	1 ▼	3 ▼▼	41	49 →	
ウマヅラハギ	1	1 ▼	5 ▼▼	5	15 ▼▼	
マガレイ	1	1 ▼	3 ▼▼	28	46 ▼	
チダイ	1	1 →	2 ▼▼	3	9 ▼▼	
その他	18	40 ▼▼	64 ▼▼	502	446 →	
合計	263	361 ▼	365 ▼	2,001	2,038 →	
1隻当たり	0.26	0.37 ▼	0.35 ▼	0.41	0.39 →	

平年値は過去10年平均



底びき網における主要魚種別漁獲量の経月変化

まき網漁業

	12月漁獲量 (トン)				累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
延隻数	116	119 →	76 △		919	802 →	
ブリ	448	70 △△△	43 △△△		953	411 △△	
ガンド	84	105 ▼	45 △		1,639	1,322 △	
フナギ	39	114 ▼▼	118 ▼▼		936	1,330 ▼	
マサバ	35	170 ▼▼	334 ▼▼		733	3,458 ▼▼	
マヅ	25	38 ▼	194 ▼▼		2,889	3,855 ▼	
その他	61	221 ▼▼	551 ▼▼		5,700	9,316 ▼	
合計	632	510 △	757 →		9,229	12,379 ▼	
1隻当たり	5	4 △	10 ▼		10	15 ▼	

平年値は過去10年平均

その他の漁業

	12月漁獲量 (トン)				累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
刺網漁業							
延隻数	1,366	1,208 →	1,508 →		32,508	41,022 ▼	
マダラ	47	11 △△△	21 △△		201	99 △△	
ウマヅラハギ	12	3 △△△	12 →		159	210 ▼	
アンコウ	6	9 ▼	27 ▼▼		21	84 ▼▼	
メダイ	5	2 △△	5 →		34	43 ▼	
アカガレイ	3	3 →	6 ▼		67	66 →	
マダコ	2	2 △	3 ▼		26	37 ▼	
アマダイ類	2	1 △	1 △		76	68 →	
ミスダコ	2	4 ▼▼	4 ▼▼		20	33 ▼	
サエ	1	1 →	2 ▼		102	153 ▼	
キダイ	1	1 →	1 △		53	45 →	
その他	13	17 ▼	24 ▼		1,193	1,248 →	
合計	93	54 △	105 →		1,950	2,087 →	
1隻当たり	0.07	0.04 △	0.07 →		0.06	0.05 →	
釣り							
延隻数	489	795 ▼	874 ▼		12,049	14,709 ▼	
マダラ	44	1 △△△	17 △△		86	52 △	
ホッケ	2	0 △△△	0 △△△		19	16 →	
フナギ	2	11 ▼▼	11 ▼▼		74	51 △	
メダイ	1	1 △	1 △		5	3 △	
サワ	1	1 △	1 △		8	5 △	
その他	7	12 ▼	22 ▼▼		279	418 ▼	
合計	57	26 △△	52 →		471	544 →	
1隻当たり	0.12	0.03 △△△	0.06 △		0.04	0.04 →	
イカ釣り(小型)							
延隻数	3	23 ▼▼	53 ▼▼		3,725	5,229 ▼	
ルメイカ	1.6	21 ▼▼	79 ▼▼		1,437	2,987 ▼▼	
1隻当たり	0.54	0.91 ▼	1.49 ▼▼		0.39	0.57 ▼	

※表 (比率) の見方

▼▼	~ 50%	△	120~199%
▼	51~ 83%	△△	200~299%
→	84~119%	△△△	300~

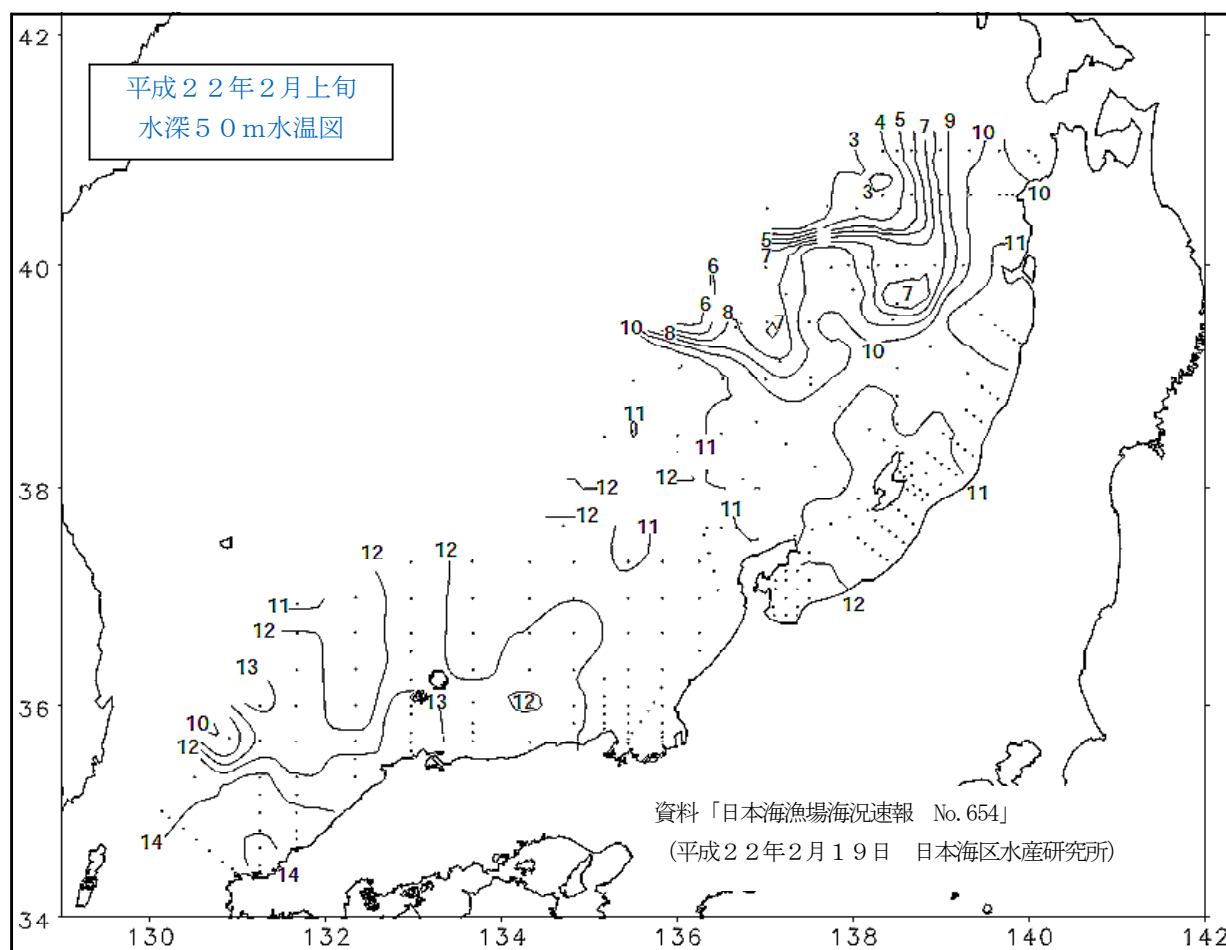
# 石川県水産総合センター漁海況情報 第166号

電話：0768-62-1324 <http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.htm>

- 本県周辺海域の水深50m水温は、加賀沖・能登半島外浦沖で“平年並み”から“やや低め”、富山湾で“平年並み”から“やや高め”。
- 定置網ではマアジが平年並み、スルメイカ・ブリが平年をかなり下回った。
- 底びき網ではニギス・アカガレイが平年をやや下回り、ズワイガニ・アマエビが平年並み。
- まき網ではマアジが平年をやや下回り、ブリが平年をかなり上回った。

## 1 水温の状況 — 2月定線観測結果 —

- (1) 本県周辺の水深50m水温は10～12℃台で、加賀沖・能登半島外浦沖では“平年並み”から“やや低め”（0～1℃低め）、富山湾では“平年並み”から“やや高め”（0～1℃高め）の水温分布を示しています。
- (2) 表面水温は10～11℃台で、加賀沖・能登半島外浦沖では“平年並み”から“やや低め”（0～1℃低め）、富山湾では“平年並み”の水温分布を示しています。
- (3) 能登半島西沖の冷水域は、平年に比べて沖側に分布しています。
- (4) 佐渡島沖の冷水域は、平年に比べて禄剛埼にかなり近づいて分布しています。



## 2 漁獲の動向 — 1月の漁獲量から —

### ○ 定置網

主要10港合計は**494トン**で、**平年（過去10カ年平均）をやや下回る漁獲量**でした。  
最も多く漁獲されたのはマアジの146トンで、蛸島港・宇出津港・七尾地区主体に平年並みでした。

ウマヅラハギは72トンで平年をやや下回りました。

スルメイカは40トンで平年をかなり下回りました。

ブリは12トンで平年をかなり下回りました。初漁期から低調に推移しており、11月から1月までの累計は74トンで、過去10年間では最も低い水準となりました。

### ○ 底びき網

主要10港合計は**314トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはニギスの64トンで、平年をやや下回りました。

アカガレイは54トンで平年をやや下回りました。

ズワイガニ（雄）は39トン、アマエビは18トンで、いずれも平年並みでした。

### ○ まき網

主要10港合計は**438トン**で、時化のため出漁日数がかなり少なかったこともあり、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはマアジの193トンで、平年をやや下回りました。

マサバは152トンで平年をかなり下回りました。

ブリは86トンで平年をかなり上回りました。

### ○ 刺網

主要10港合計は**115トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはマダラの66トンで、宇出津港主体に平年をやや上回りました。

ウマヅラハギ（かわはぎ）は14トンで平年をやや上回りました。

アカガレイは6トンで平年をかなり下回りました。

### ○ 釣り

釣りの主要10港合計は**4トン**で、時化のため出漁日数がかなり少なかったこともあり、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはフクラギの1トンで、平年をかなり下回りました。

**小型いか釣り（スルメイカ）**の主要10港合計は**0.5トン**で、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。

# 漁獲量統計 (橋立港、金沢港、富来港、輪島港、蛸島港、鶴飼港、松波港、宇出津港、七尾地区)

## 定置網漁業

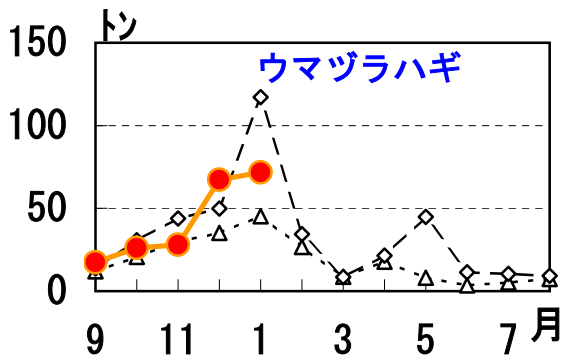
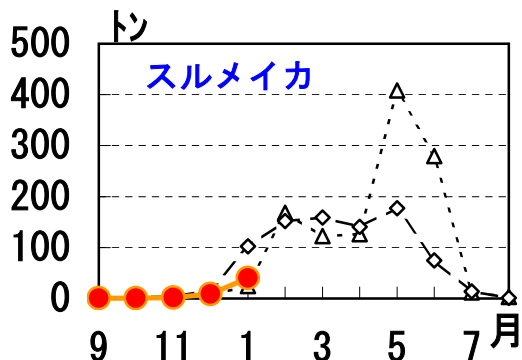
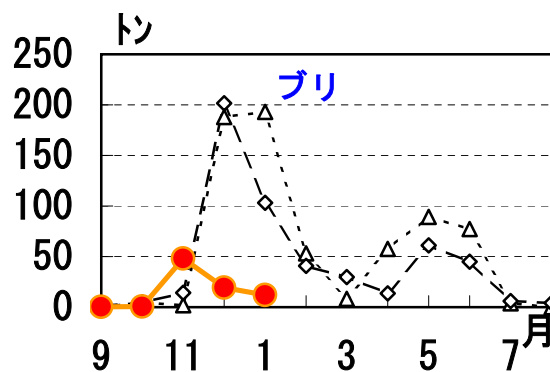
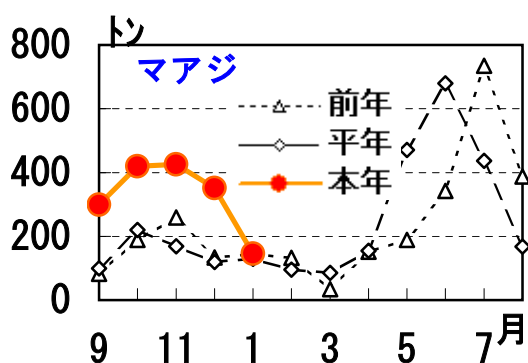
	1月漁獲量 (トン)			累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延統数	1,198	1,201 →	1,334 →	6,825	7,590 →	
マアジ	146	144 →	130 →	1,641	738 △△	
ウマヅラハギ	72	45 △	117 ▼	211	255 ▼	
マルソウダ	46	15 △△△	17 △△	560	689 ▼	
スルメイカ	40	25 △	103 ▼▼	52	126 ▼▼	
フクラギ	33	32 →	54 ▼	803	624 △	
マジマゴロ	27	44 ▼	24 →	29	67 ▼▼	
ヤリイカ	20	11 △	17 →	23	21 →	
ブリ	12	193 ▼▼	103 ▼▼	81	325 ▼▼	
マサバ	11	14 ▼	32 ▼▼	181	190 →	
サワラ	9	6 △	4 △△	387	245 △	
マダイ	7	6 △	7 →	83	50 △	
マダラ	7	1 △△△	1 △△△	7	1 △△△	
ウルメイワシ	7	14 ▼▼	11 ▼	171	67 △△	
アンコウ	4	3 △	4 →	6	5 →	
クロマゴロ	2	1 △△	1 △	3	2 △	
その他	51	90 ▼	172 ▼▼	854	1,600 ▼	
合計	494	643 ▼	798 ▼	5,092	5,006 →	
1隻当たり	0.41	0.54 ▼	0.60 ▼	0.75	0.66 →	

平年値は過去10年平均  
単位：トン

## 他府県漁獲状況 (1月：定置網)

	フクラギ	アジ類	カハギ類	サワラ	マルソウダ	マダイ	スルメイカ	マゴロ、マジ類
舞鶴	107.7	32.6	39.5	51.1	14.9	32.9	0.0	9.3
氷見	21.0	53.5	41.8	7.6	40.3	16.2	45.9	22.7

各府県水試調べによる (速報値)

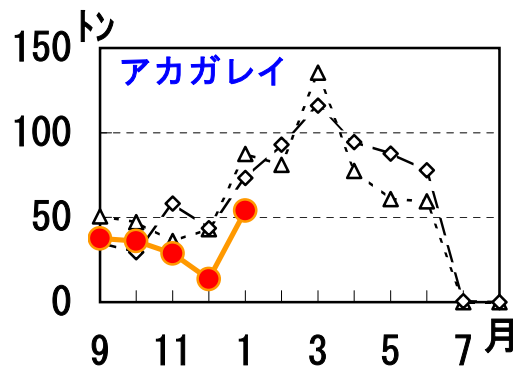
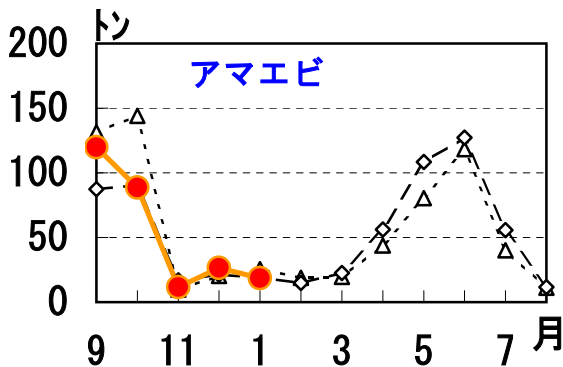
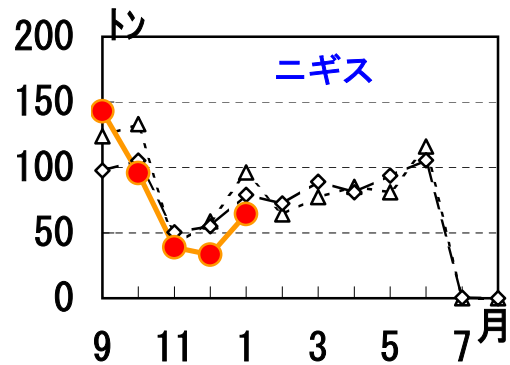
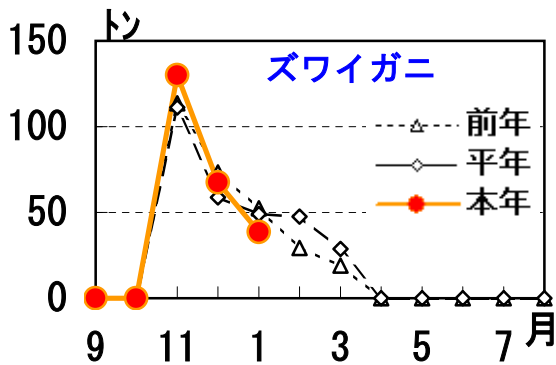


定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

底びき網漁業

	1月漁獲量 (トン)				累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
延隻数	614	614 →	895 ▼		5,516	6,144 →	
ニギス	64	96 ▼	79 ▼		375	388 →	
アカガレイ	54	87 ▼	73 ▼		170	240 ▼	
ハタハタ	41	27 △	58 ▼		231	129 △	
ズワイガニ	39	52 ▼	38 →		236	205 →	
アマエビ	18	25 ▼	19 →		265	235 →	
ガスビ	16	24 ▼	19 →		54	65 →	
マダラ	16	20 ▼	11 △		113	46 △△	
ミスガニ	7	7 →	11 ▼		7	14 ▼	
ソウハチ	6	6 →	8 ▼		25	32 ▼	
ヒレグロ	4	5 ▼	7 ▼		24	33 ▼	
アンコウ	4	5 ▼	21 ▼▼		76	173 ▼▼	
ハツメ	3	7 ▼▼	3 →		31	31 →	
ホタルイカ	3	18 ▼▼	11 ▼▼		3	12 ▼▼	
マアジ	3	0 △△△	2 △		5	10 ▼▼	
マダイ	2	2 →	2 △		13	21 ▼	
ヤリイカ	2	5 ▼▼	7 ▼▼		18	82 ▼▼	
コウバコ	2	22 ▼▼	8 ▼▼		223	181 △	
マコガレイ	2	1 △	1 △		9	8 →	
その他	28	58 ▼▼	75 ▼▼		436	587 ▼	
合計	314	470 ▼	454 ▼		2,315	2,491 →	
1隻当たり	0.51	0.76 ▼	0.51 →		0.42	0.41 →	

平年値は過去10年平均



底びき網における主要魚種別漁獲量の経月変化



まき網漁業

	1月漁獲量 (トン)			累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延隻数	13	53 ▼▼	47 ▼▼	13	47 ▼▼	
マツ	193	423 ▼▼	255 ▼	193	255 ▼	
マサバ	152	232 ▼	582 ▼▼	152	582 ▼▼	
ブリ	86	7 △△△	2 △△△	86	2 △△△	
フナギ	6	4 △	19 ▼▼	6	19 ▼▼	
ガンド	0	15 ▼▼	4 ▼▼	0	4 ▼▼	
その他	7	29 ▼▼	79 ▼▼	7	79 ▼▼	
合計	438	691 ▼	917 ▼▼	438	917 ▼▼	
1隻当たり	34	13 △△	20 △	34	20 △	

平年値は過去10年平均

その他の漁業

	1月漁獲量 (トン)			累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
<b>刺網漁業</b>						
延隻数	839	1,247 ▼	1,419 ▼	839	1,419 ▼	
マダラ	66	25 △△	36 △	66	36 △	
ウマヅラハギ	14	13 →	12 △	14	12 △	
アカガレイ	6	9 ▼	13 ▼▼	6	13 ▼▼	
フナギ	5	71 ▼▼	41 ▼▼	5	41 ▼▼	
メダイ	4	6 ▼	6 ▼	4	6 ▼	
アンコウ	4	4 →	9 ▼▼	4	9 ▼▼	
ナマコ類	4	1 △△△	1 △△△	4	1 △△△	
ミスダコ	1	4 ▼▼	4 ▼▼	1	4 ▼▼	
マダコ	1	1 →	2 ▼	1	2 ▼	
サガエ	1	1 ▼	1 ▼▼	1	1 ▼▼	
その他	8	30 ▼▼	38 ▼▼	8	38 ▼▼	
合計	115	163 ▼	164 ▼	115	164 ▼	
1隻当たり	0.14	0.13 →	0.12 →	0.14	0.12 →	
<b>釣り</b>						
延隻数	213	634 ▼▼	510 ▼▼	213	510 ▼▼	
フナギ	1	18 ▼▼	4 ▼▼	1	4 ▼▼	
メダイ	1	0.3 △△△	1 △	1	1 △	
ウスハル	0.3	1.2 ▼▼	1 ▼▼	0.3	1.1 ▼▼	
ヤリカ	0.2	0.1 △	0.2 →	0.2	0.2 →	
その他	2	17 ▼▼	19 ▼▼	2	19 ▼▼	
合計	4	36 ▼▼	25 ▼▼	4	25 ▼▼	
1隻当たり	0.02	0.06 ▼▼	0.05 ▼▼	0.02	0.05 ▼▼	
<b>イカ釣り(小型)</b>						
延隻数	4	1 △△△	31 ▼▼	4	31 ▼▼	
スルメカ	0.5	0.1 △△△	12 ▼▼	1	12 ▼▼	
1隻当たり	0.13	0.08 △	0.40 ▼▼	0.13	0.40 ▼▼	

※表 (比率) の見方

▼▼ ~ 50%      △ 120~199%  
 ▼ 51~ 83%      △△ 200~299%  
 → 84~119%      △△△ 300~

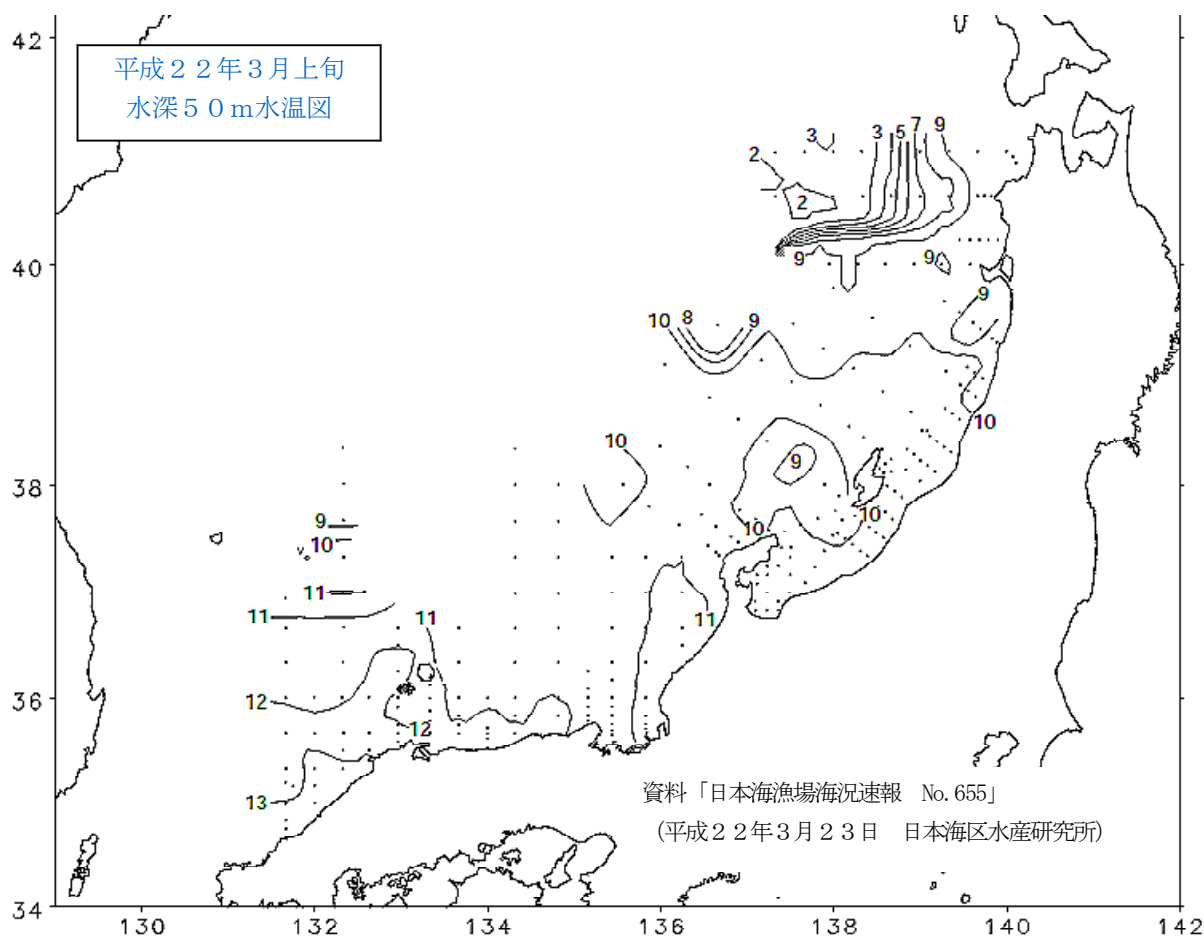
## 石川県水産総合センター漁海況情報 第167号

電話：0768-62-1324 <http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.htm>

- 本県周辺海域の水深50m水温は、加賀沖・能登半島外浦沖・富山湾のいずれの海域も“平年並み”から“やや低め”。
- 定置網ではブリ・マダラが平年をかなり上回り、スルメイカが平年並み。
- 底びき網ではハタハタ・ズワイガニが平年をやや上回り、アカガレイ・ニギスが平年並み。
- まき網ではブリ・ガンドが平年をかなり上回った。

## 1 水温の状況 — 3月定線観測結果 —

- (1) 本県周辺の水深50m水温は9～11℃台で、加賀沖・能登半島外浦沖・富山湾のいずれの海域も“平年並み”から“やや低め”(0～1℃低め)の水温分布を示しています。
- (2) 表面水温は10～11℃台で、加賀沖・能登半島外浦沖では“平年並み”から“やや低め”(0～1℃低め)、富山湾では“平年並み”の水温分布を示しています。
- (3) 能登半島西沖の冷水域は、平年に比べて沖側に分布しています。
- (4) 佐渡島沖の冷水域は、平年に比べて禄剛埼にやや近づいて分布しています。



## 2 漁獲の動向 — 2月の漁獲量から —

### ○ 定置網

主要10港合計は**834トン**で、**平年（過去10年平均）をやや上回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはブリの177トンで、宇出津港・七尾地区主体に平年をかなり上回りました。寒ブリの漁期である11月から2月までの累計は257トンで、平年をやや下回る水準でした（平年比71%）。

マダラは149トンで平年をかなり上回りました。宇出津港・七尾地区主体に過去10年間で最も多い漁獲量となりました。

スルメイカは139トンで平年並みでした。

マアジは115トンで平年をやや上回りました。

### ○ 底びき網

主要10港合計は**614トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはハタハタの255トンで、平年をやや上回りました。

アカガレイは102トン、ニギスは71トンで、いずれも平年並みでした。

ズワイガニ（雄）は48トンで平年をやや上回りました。11月の解禁から2月までの累計は301トンで、平年並みでした（平年比113%）。

### ○ まき網

主要10港合計は**455トン**で、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはブリの275トンで、平年をかなり上回りました。

ガンドは71トンで平年をかなり上回りました。

マサバは50トン、マアジは3トンで、いずれも平年をかなり下回りました。

### ○ 刺網

主要10港合計は**323トン**で、**平年をやや上回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはマダラの146トンで、先月に続き宇出津港主体に平年をかなり上回りました。

フクラギは105トンで、輪島港主体に平年並みでした。

メダイは8トンで平年をやや下回りました。

### ○ 釣り

釣りの主要10港合計は**8トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはウスメバル（やなぎばちめ）の3トンで、平年並みでした。

小型いか釣り（スルメイカ）の主要10港合計は**6トン**で、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。

# 漁獲量統計 (橋立港、金沢港、富来港、輪島港、蛸島港、鶴飼港、松波港、宇出津港、七尾地区)

## 定置網漁業

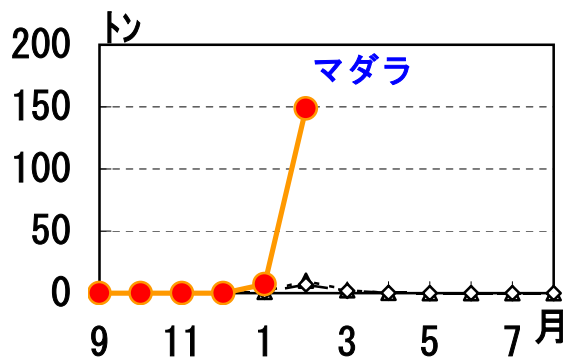
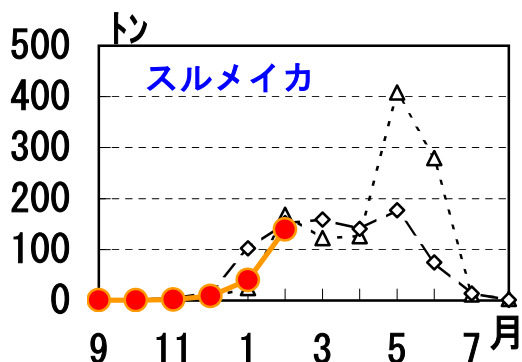
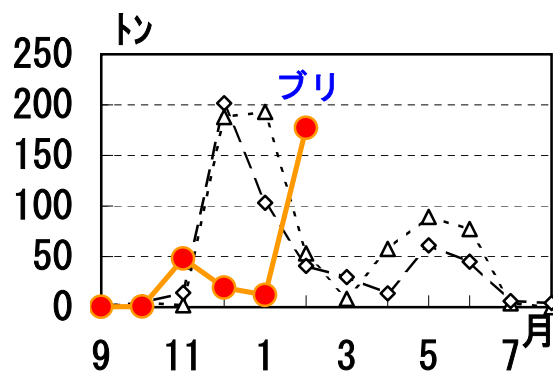
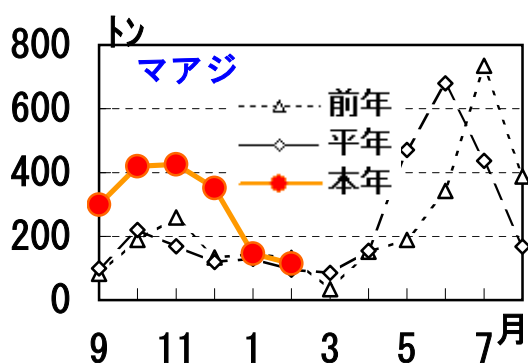
	2月漁獲量 (トン)			累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延統数	1,207	1,225 →	1,313 →	8,032	8,902 →	
ブリ	177	53 △△△	41 △△△	258	365 ▼	
マダラ	149	10 △△△	7 △△△	156	8 △△△	
スルメイカ	139	168 ▼	152 →	192	278 ▼	
マアジ	115	133 →	95 △	1,756	833 △△	
ウマヅラハギ	49	27 △	34 △	260	290 →	
ヤリイカ	18	25 ▼	16 →	41	38 →	
ウルメイワシ	15	25 ▼	73 ▼▼	186	140 △	
メジマゴロ	12	15 ▼	5 △△	41	72 ▼	
マサバ	6	107 ▼▼	40 ▼▼	188	230 ▼	
フクラギ	5	7 ▼	23 ▼▼	809	647 △	
アンコウ	4	4 →	4 →	10	10 →	
カタチイワシ	4	151 ▼▼	74 ▼▼	153	390 ▼▼	
ガント	2	0 △△△	9 ▼▼	56	57 →	
サワ	2	3 ▼	2 △	389	246 △	
クロマゴロ	2	2 →	1 △△△	5	3 △	
その他	134	93 △	99 △	1,429	2,075 ▼	
合計	834	823 →	676 △	5,927	5,682 →	
1隻当たり	0.69	0.67 →	0.52 △	0.74	0.64 →	

平年値は過去10年平均  
単位：トン

## 他府県漁獲状況 (2月：定置網)

	スルメイカ	アジ類	ブリ、ガント	サワ	カハギ類	フクラギ	マゴロ、メジ類	ヤリイカ
舞鶴	1.5	33.5	14.8	30.1	4.0	3.7	6.6	0.8
氷見	192.1	17.8	30.9	4.3	30.2	16.2	10.4	9.3

各府県水試調べによる (速報値)

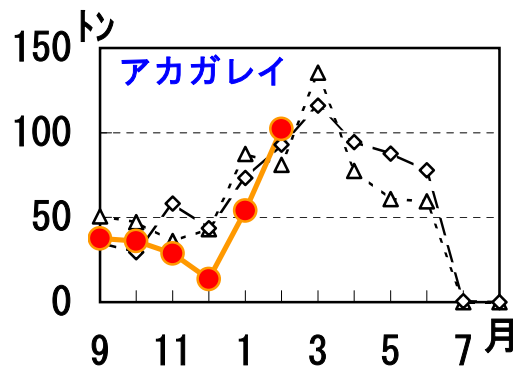
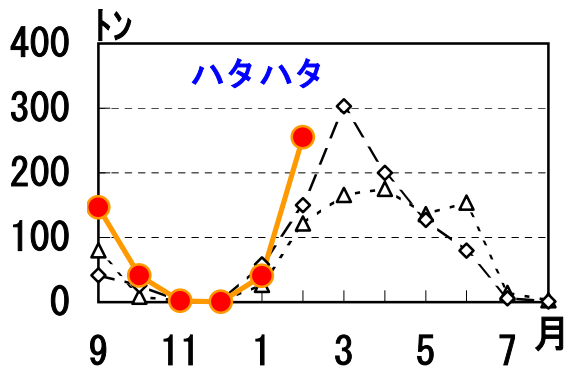
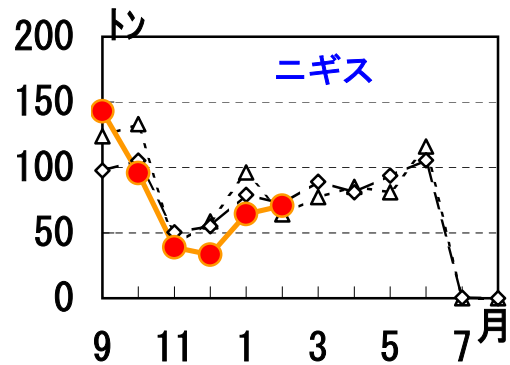
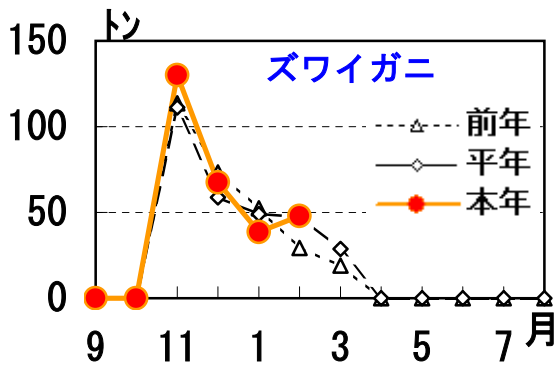


定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

底びき網漁業

	2月漁獲量 (トン)				累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)		
延隻数	857	846 →	1,091 ▼	6,373	7,235 →		
ハタハタ	255	122 △△	150 △	485	279 △		
アカガレイ	102	81 △	93 →	272	333 ▼		
ニギス	71	64 →	73 →	446	460 →		
ズワイガニ	48	29 △	35 △	284	241 →		
マダラ	16	8 △	8 △	129	54 △△		
ガスビ	13	18 ▼	16 ▼	67	81 ▼		
アマビ	11	19 ▼	15 ▼	276	249 →		
ミスガニ	9	8 →	12 ▼	16	26 ▼		
アンコウ	7	10 ▼	24 ▼▼	83	197 ▼▼		
ヒレグロ	6	4 △	8 ▼	30	41 ▼		
ホタルイカ	5	15 ▼▼	28 ▼▼	9	39 ▼▼		
ソウハチ	4	5 →	10 ▼▼	30	43 ▼		
マガレイ	3	2 △	4 ▼	32	54 ▼		
ヤナギムシガレイ	3	2 △	6 ▼▼	40	62 ▼		
ウマヅラハギ	3	1 △△	3 ▼	9	24 ▼▼		
ムシガレイ	3	3 →	4 ▼	44	56 ▼		
カニ類	2	2 →	3 →	15	15 →		
マダイ	2	1 △△△	1 △	15	22 ▼		
その他	53	52 →	82 ▼	648	792 ▼		
合計	614	446 △	576 →	2,929	3,067 →		
1隻当たり	0.72	0.53 △	0.53 △	0.46	0.42 →		

平年値は過去10年平均



底びき網における主要魚種別漁獲量の経月変化

まき網漁業

	2月漁獲量 (トン)			累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延隻数	24	24 →	50 ▼▼	37	96 ▼▼	
ブリ	275	0 --	36 △△△	361	38 △△△	
ガンド	71	0 --	9 △△△	72	14 △△△	
マサバ	50	100 ▼	448 ▼▼	203	1,029 ▼▼	
マダイ	31	0 △△△	0 △△△	31	0 △△△	
マヅ	3	463 ▼▼	499 ▼▼	196	754 ▼▼	
その他	58	478 ▼▼	544 ▼▼	258	873 ▼▼	
合計	455	578 ▼	1,037 ▼▼	893	1,954 ▼▼	
1隻当たり	19	24 ▼	21 →	24	20 →	

平年値は過去10年平均

その他の漁業

	2月漁獲量 (トン)			累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
<b>刺網漁業</b>						
延隻数	1,520	1,352 →	1,745 →	2,359	3,164 ▼	
マダラ	146	36 △△△	28 △△△	213	63 △△△	
フナギ	105	100 →	92 →	110	133 ▼	
マダイ	8	5 △	12 ▼	12	18 ▼	
ガンド	7	2 △△△	4 △	7	18 ▼▼	
アカガレイ	6	10 ▼	15 ▼▼	12	28 ▼▼	
ウマヅラハギ	4	5 ▼	5 →	18	17 →	
ハツメ	2	0 △△△	6 ▼▼	2	9 ▼▼	
マヅ	2	3 ▼	2 →	2	4 ▼	
アンコウ	2	2 →	5 ▼▼	6	14 ▼▼	
マガレイ	2	4 ▼▼	4 ▼	2	4 ▼▼	
その他	39	33 →	36 →	54	64 →	
合計	323	202 △	209 △	438	373 →	
1隻当たり	0.21	0.15 △	0.12 △	0.19	0.12 △	
<b>釣り</b>						
延隻数	311	441 ▼	438 ▼	524	948 ▼	
ウスマル	3	2 →	3 →	3	4 ▼	
フナギ	0.4	1.9 ▼▼	1 ▼▼	1	5 ▼▼	
マダイ	0.3	0.1 △△△	0.1 △△	1.2	0.7 △	
トラフグ	0.2	0.2 △	0.4 ▼	0.3	1.0 ▼▼	
その他	4	5 ▼	7 ▼	6	25 ▼▼	
合計	8	10 ▼	11 ▼	12	36 ▼▼	
1隻当たり	0.03	0.02 →	0.03 →	0.02	0.04 ▼	
<b>イカ釣り(小型)</b>						
延隻数	17	0 --	49 ▼▼	21	80 ▼▼	
スルメイ	5.9	0.0 --	15 ▼▼	6	28 ▼▼	
1隻当たり	0.35	---	0.31 →	0.30	0.35 →	

※表 (比率) の見方

▼▼ ~ 50%      △ 120~199%  
 ▼ 51~ 83%      △△ 200~299%  
 → 84~119%      △△△ 300~